SONY

3-070-505-**03** (1)

ここだけ読んでも使えます

再生

録画・予約

編集

他機をつないで行う操作

設定と調整

その他

DVDレコーダー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。
はじめにお読みください。
操作の前に別冊の「接続と準備」をご覧ください。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「接続と準備」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

RDR-A1

必ずお読みください

大切な録画の場合は

必ず事前にためし録りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。

録画内容の補償はできません

本機やディスクなどを使用中、万一これらの不具合により録画・録音されなかった場合の録画内容の補償については、ご容赦ください。

著作権について

- あなたが本機で録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- 本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社およびその他の著作権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用およびその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。
- 本機は、複製防止機能（コピーガード）を搭載しており、著作権者等によって複製を制限する旨の信号が記録されているソフトおよび放送番組は録画することができません。
- 本機は、無許諾のディスク（海賊版等）の再生を制限する機能を搭載しており、このようなディスクを再生することはできません。

録画防止機能について

別売りのチューナーで番組をご視聴の場合、番組に録画防止機能（コピーガード）がついている場合があります。この場合、番組によっては録画できないものがありますので、ご注意ください。

録画について

- 本機で録画したDVD-RW（VRモード）は、通常のDVD-VIDEOプレーヤーでは再生できません。RW対応プレーヤーで再生可能です。
- 大切な録画の場合には、DVD-RWディスク（VRモード）でかならず事前にためし録りをして、正常に録画・録音されるか確認してください。
- 万一、本機やDVD-RW、DVD-Rディスクの不都合、または停電や結露などの外部要因などによって録画できなかった場合、録画内容の補償やそれに附随する損害については、当社は一切の責任を負えませんのでご了承ください。

この商品の価格には、「私的録画補償金」が含まれております。補償金は、著作権法で権利保護のため権利者に支払われることが定められています。

私的録画補償金の問い合わせ先
〒107-0052
東京都港区赤坂5丁目3番6号赤坂メディアビル
社団法人　私的録画補償金管理協会
TEL　03-3560-3107（代）
FAX　03-5570-2560

なお、あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

残像現象（画像の焼きつき）のご注意

ディスクのメニューや本機のメニュー画面などの静止画をテレビ画面に表示したまま長時間放置しないでください。画面に残像現象（画面の焼きつき）を起こす場合があります。特にプロジェクションテレビでは残像現象（画像の焼きつき）が起こりやすいのでご注意ください。

使用上のご注意

設置場所について

次のような場所には置かないでください。
- ぐらついた台の上や不安定な所。
- じゅうたんや布団の上。
- 湿気の多い所、風通しの悪い所。
- ほこりの多い所。
- 直射日光が当る所、湿度が高い所。
- 極端に寒い所。
- チューナーやテレビ、ビデオデッキから近い所。（チューナーやテレビ、ビデオデッキといっしょに使用するとき、近くに置くと、雑音が入ったり、映像が乱れたりすることがあります。特に室内アンテナのときに起こりやすいので屋外アンテナの使用をおすすめします。）

設置場所を変えるときは

ディスクを入れたまま本機を動かさないでください。ディスクを入れたまま動かすと、ディスクを傷めることがあります。

音量を調整するときは

ディスクはレコードと比べ、非常に雑音が少なくなっています。レコードをかけるときのように音声の入っていない部分の雑音を聞きながら音量を設定すると、思わぬ大きな音が出て、スピーカーを破損するおそれがあります。演奏を始める前には、音量を必ず小さくしておきましょう。

結露について

部屋の暖房を入れた直後など、内部のレンズに水滴がつくことがあります。これを結露といいます。このときは、正常に動作しないことがあります。本機を使わないときは、ディスクを取り出しておいてください。結露が生じたときは、ディスクを取り出して、電源を入れたまま約30分放置し、再び電源を入れ直してからお使いください。もし何時間たっても正常に動作しないときは、ソニーサービス窓口にご相談ください。

本体のお手入れのしかた

キャビネットやパネル面の汚れは、中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。シンナーやベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください。

ステレオで聞くときにエチケット

ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さめな音でも周囲にはよく通るものです。窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

クリーニングディスクについて

市販のCD/DVDレンズ用のクリーニングディスクは、本機では使わないでください。故障するおそれがあります。

ディスクの取り扱い上のご注意

取り扱いかた

- 再生、録画面に手を触れないように持ちます。

保管のしかた

- 直射日光が当るところなど温度の高いところ、湿度の高いところには置かないでください。
- ケースに入れて保管してください。ケースに入れずに重ねたり、立てかけておくと変形の原因となります。

お手入れのしかた

- 指紋やほこりによるディスクの汚れは、映像の乱れや音質低下の原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- ふだんのお手入れは、付属のクリーニングクロスでディスクの中心から外の方向へ軽く拭きます。

- ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは、ディスクを傷めることがあいますので、使わないでください。

目次

ここだけ読んでも使えます

再生

録画・予約

編集

他機をつないで行う操作

設定と調整

その他

この取扱説明書では、リモコンのボタンを使った操作説明を主体にしています。

主な特長

本機は、DVDディスクの再生はもちろん、DVD-R、DVD-RWディスクを使った録画ができます。また、録画した番組などを編集して楽しむことができます。

再生

映画館の臨場感・迫力のサラウンド
DVD-VIDEO

ドルビーデジタル対応のオーディオ機器につなぐと、マルチチャンネルサラウンド音声を楽しむことができます。

かんたん再生（☛19ページ）
DVD-VIDEO DVD-RW DVD-R

DVDはテープのように巻戻しの必要がないため、見たい場面をすぐに頭出しできます。見たい場面の検索機能も充実しています。

ビジュアルメニュー（☛18ページ）
DVD-RW（VR）

ビジュアルメニューを使えば、録画したタイトルもすぐに探し出せます。録画したタイトルの映像の一部が一覧表示されるので、再生したいタイトルも一目で見つけて、再生できます。

録画

タイマー予約録画（☛42ページ）
DVD-RW DVD-R

予約画面で日時やチャンネルを設定する通常のタイマー予約の他に、新聞などのテレビ番組欄に記載されている番号を入力するGコード予約もできます。1カ月先までの8番組まで予約できます。

クイックタイマー（☛42ページ）
DVD-RW DVD-R

何時間後に録画を止めるか設定して録画できます。予約録画中でも、予約録画を止めて、そのままクイックタイマーを使えます。
急用で出かけるときや眠くなったとき、スポーツ中継の延長で開始が遅れた番組の予約録画を延長するときに便利です。

ディスク予約録画（☛45ページ）
DVD-RW（VR）

ディスクに予約情報を設定できます。自分だけの専用ディスクを作りたいときや同じ番組を1枚のディスクに録画するときに便利です。

ジャスト録画（☛89ページ）DVD-RW（VR）

ディスクの空き時間と予約録画に必要な時間を比較して、空き時間が足りない場合、自動的に録画レートレベルを計算、番組を最後まで録画できるようにします。
お買い上げ時の設定は「オフ」になっています。

シンクロ録画（☛52ページ）
DVD-RW DVD-R

番組予約機能がある機器（デジタルBSチューナーやデジタルCSチューナー、CATVチューナーなど）と連動して、予約録画できます。チューナーの録画予約設定に従って、自動的に録画を開始・終了します。

編集

大切な映像はそのままで（☞55ページ）
DVD-RW(VR)

本機では、実際に録画したオリジナルの映像（タイトル）には手を加えずに編集することができます。オリジナルから編集用のタイトル（プレイリスト）を作成し、編集します。プレイリストを再生すると、まるでオリジナルを編集したように映像が再生されます。

チャプターマーク（☞23ページ）
DVD-RW(VR)

お気に入りの場面でチャプターを区切れば、チャプターサーチ機能で見たい場面をすぐに探せます。

シーン消去・追加（☞58、63ページ）
DVD-RW(VR)

範囲を指定して場面を消去したり、オリジナルの場面をプレイリストに追加などして好みのプレイリストを作成できます。

互換性

ビデオモードなら他のDVDプレーヤーでも再生可能（☞10ページ）
DVD-RW(VIDEO) DVD-R

ビデオモードで録画したディスクは、他のDVDプレーヤーでも再生できます。
＊一部には再生できないプレーヤーもあります。

他機との接続

デジタルビデオカメラとつなぐ（☞83ページ） DVD-RW DVD-R

DV端子を持つデジタルビデオカメラで撮った映像を本機で見たり、編集、保存することができます。本機で録画した映像をデジタルビデオカメラに出力することもできます。

取扱説明書の使いかた

この取扱説明書では、リモコンのボタンを使った説明を主体としています。
リモコンと同じなまえの本体のボタンも同じように使えます。
この取扱説明書では、次の記号を使っています。

記号	意味
DVD-VIDEO	DVDビデオで使える機能
DVD-RW	DVD-RWで使える機能
DVD-RW(VR)	DVD-RWのVRモードで使える機能
DVD-RW(VIDEO)	DVD-RWのビデオモードで使える機能
DVD-R	DVD-Rで使える機能
VIDEO CD	ビデオCDで使える機能
CD	音楽用CDで使える機能

再生について

本機で再生できるディスクや再生できないディスクがあります。お手持ちのディスクを使用する前に必ずお読みください。

再生できるディスクについて

ディスクの種類	
DVDビデオ	DVD VIDEO
DVD-RW	DVD RW
DVD-R	DVD R R4.7
ビデオCD	COMPACT disc DIGITAL VIDEO / VIDEO CD
音楽用CD	COMPACT disc DIGITAL AUDIO

* DVD-VIDEO、DVD-RW、DVD-Rロゴは商標です。

地域番号（リージョンコード）について

DVDビデオのパッケージには地域番号（☞114ページ）が表示されています。
地域番号には「ALL」または「2」が含まれているときは、本機で再生可能です。

再生できないディスクについて

本機では次のディスクなどを再生することはできません。

- CD-ROM（PHOTO CDを含む）
- 音楽用CDフォーマット、VCDフォーマットで記録された以外のCD-RとCD-RW
- CD-EXTRAのデータ部分
- DVD-ROM
- DVDオーディオ
- スーパーオーディオCDのHD（ハイデンシティ）レイヤー

次のようなディスクも再生できません。

- 本機では再生できない地域番号（リージョンコード）のDVD（☞114ページ）
- NTSC以外のカラーテレビ方式（PAL、SECAM）対応のディスク（本機がNTSCカラーテレビ方式対応のため）
- 円形以外の特殊な形状（カード型、ハート型など）をしたディスク
- 紙やシールの張られたディスク
- セロハンテープやレンタルディスクのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした痕のあるディスク

ご注意

- CD-R/CD-RWドライブまたは他のDVD-R/DVD-RWレコーダーで記録されたディスクは、傷や汚れ、また記録状態や記録機の特性等が原因で再生できないことがあります。また、すべての記録終了時に終了情報を記録するファイナライズ作業をしていないディスクは再生できません。詳しくは、記録した機器の取扱説明書をお読みください。

DVDビデオ、ビデオCD再生操作について

DVDビデオ、ビデオCDはソフト制作者の意図により再生状態が決められていることがあります。本機ではソフト制作者が意図したディスク内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりに機能が働かない場合があります。再生するディスクに付属の説明書もかならずご覧ください。

録画について

本機では、録画用としてDVD-RW、DVD-Rディスクを使用します。DVD-RW、DVD-Rディスクはホコリや指紋、特に傷などがつかないように、取り扱いには十分に注意し、大切に保管してください。傷などがつくと録画できなくなる場合があります。

録画できるディスクについて

ディスクの種類	
DVD-RW	DVD RW
DVD-R	DVD R R4.7

* DVD-RW、DVD-Rロゴは商標です。

ご注意

- 本機で録画したディスクは、すべてのプレーヤーでの再生を保証する機能ではありません。再生できないプレーヤーもあります。
  一部のプレーヤーでは、DVD-RディスクまたはDVD-RW（ビデオモード）を再生しようとしたとき以下のような動作を起こすことがあります。
  – ディスクを受けつけない
  – 再生画面にマクロブロック（モザイク状の画像）が多く発生する
  – 音声・映像がとぎれる
  – 再生が途中で停止する

VRモードとビデオモードについて

本機で録画用として使用するディスクの記録フォーマットには、以下の2種類があります。

ビデオモード
市販のDVDビデオディスクと互換性があり、本機で録画した映像を他のDVDプレーヤーで再生することができます。

VRモード
DVD-RWディスクの基本フォーマットで、VRはVideo Recording（ビデオレコーディング）の略です。録画や編集を繰り返し行うことができます。VRモードで録画したディスクは、他のDVD-RW対応プレーヤーで再生できます。**本機では、VRモードのディスクをビデオモードに変更できます。ただし、記録フォーマットを変えるにはディスクの初期化を行うため、変更時にVRモードで録画した内容はすべて消去されるのでご注意ください。**

ディスク	記録フォーマット	可能な機能
DVD-RW（Ver 1.0）	VRモード	再生、録画、編集（プレイリスト/オリジナル）
DVD-RW（Ver 1.1～）	VRモード	再生、録画、編集（プレイリスト/オリジナル）
	ビデオモード	再生、録画
DVD-R（Ver 2.0～）	ビデオモード	再生、録画

* 他のプレーヤーで再生するには、ディスクをファイナライズする必要があります。

次のページにつづく

VRモードとビデオモードについて（つづき）

タイトルとチャプター

DVDでは、ディスクをタイトルという単位で分け、さらにそれをチャプターという単位に分けています。タイトルは通常映画1作品やアルバム1枚分に相当し、チャプターはタイトル中の映像や曲の区切りになります。

- ビデオモードで録画したとき
  1回の録画が1タイトルとなります。録画中、3分ごとに自動でチャプターが区切られます。チャプターを区切る間隔は変更できます（☞98ページ）。
- VRモードで録画したとき
  1回の録画が1タイトル（1チャプター）となります。
  また、録画や再生中にお好みの場面でチャプターを区切る（チャプターマーク）こともできます（☞23ページ）。

ご注意

- ビデオモードでは、タイトル消去、ディスク名変更、タイトル名変更以外の編集を行うことはできません。
- Ver 1.0のDVD-RWディスクはビデオモードの録画を行うことができません。Ver 1.1以降のディスクを使用してください。

他機での再生について（ファイナライズ）

本機で録画したDVD-RWやDVD-Rディスクをファイナライズすると、他のDVDプレーヤーで再生することができます。ファイナライズを行わないと、本機以外のDVDプレーヤーで再生できません。
ファイナライズの方法については、「ディスクをファイナライズする/ 解除する」（☞101ページ）をご覧ください。

ビデオモードで録画したディスクのとき

すべての録画を終えてからファイナライズを行ってください。ビデオモードのディスクをファイナライズすると、一切の録画、編集操作ができなくなります。ファイナライズを行うと、DVDプレーヤーのトップメニューボタンで動作するタイトルメニューが自動的に作成されます（☞101ページ）。
再生可能な他機：一般的なDVDプレーヤー（当社製品ではDVP-S313/S717D/S9000ES/F15/F21/F5*/FX1*/NS300/NS500P/NS900V、DVPK-15/S300、DAV-S500/S800、*DVD-Rのみ再生対応、2001年10月現在）

VRモードで録画したディスクのとき

他のDVD-RW対応プレーヤーで再生する場合に、ファイナライズを行います。VRモードのディスクはファイナライズしたあとも本機で録画、編集操作を行うことができます。再生する他機によってはファイナライズしなくても再生できる場合があります。
再生可能な他機：DVD-RW対応のDVDプレーヤー（当社製品ではDVP-NS900V、2001年10月現在）

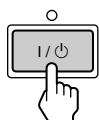
ご注意

- ファイナライズを行っても、ディスクの状態や再生するDVDプレイヤーでのピックアップの状態によっては、再生できない場合があります。

ディスクを再生する

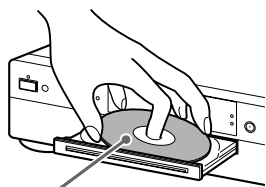
DVD-VIDEO　DVD-RW　DVD-R　VIDEO CD　CD

1 **テレビの電源を入れ、本機をつないだ入力（「ビデオ」など）に切り換える。**

2 **I/⏻（電源）スイッチを押す。**

4 **≙（開/閉）ボタンを押してディスクトレイを閉じる。**

表示窓の「LOAD」表示が消えるまで待ちます。

3 **≙（開/閉）ボタンを押してディスクトレイを開け、ディスクを置く。**

再生したい面を下にして置きます。

5 **▷（再生）ボタンを押す。**

ボタンを押さなくても、自動的に再生が始まるディスクもあります。

ディスクによっては、テレビ画面にメニューが表示されることがあります。そのときは表示されたメニュー画面（選択画面）にしたがって、操作をして再生します。

再生を止めるには

■（停止）ボタンを押します。

テレビ番組を録画する

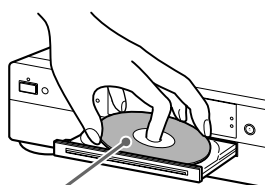
DVD-RW DVD-R

ディスクの種類によって、録画の操作やディスクを入れたときの動作が異なります。DVD-RWディスクのVRモードとビデオモード、DVD-Rディスクについては、☞37ページをご覧ください。

1 **テレビの電源を入れ、本機をつないだ入力（「ビデオ」など）に切り換える。**

2 **I/⏻（電源）スイッチを押す。**

3 **≙（開/閉）ボタンを押してディスクトレイを開け、録画用のディスクを置きます。**

録画したい面を下にして置きます。

録画したい面を下に

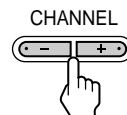
4 **≙（開/閉）ボタンを押してディスクトレイを閉じる。**

表示窓の「LOAD」表示が消えるまで待ちます。

一度も録画していないDVD-RWディスクを入れた場合、自動的にVRモードで初期化しますので、しばらくお待ちください。

5 CHANNEL **＋/–ボタンを押して、録画するチャンネルを選ぶ。**

6 REC● **（録画）ボタンを押す。**

REC
●

DVD-RW**の場合**

録画が始まります。

DVD-R**の場合**

録画待機状態になります。テレビ画面に「録画ボタンを押してください」と表示されたら、もう一度REC●（録画）ボタンを押します。録画が始まります。

録画を止めるには

■（停止）ボタンを押します。

録画モードを変えるには

録画モードで、録画時間や録画時の画質を切り換えることができます（☞38ページ）。

他のDVDプレーヤーで再生したいときは

- DVD-RW**のとき**

  録画の前に必ずディスクの記録フォーマット（VRモードまたはビデオモード）を設定してください（☞100ページ）。

  DVD-RWに対応していないDVDプレーヤーで再生するときは、ビデオモードに設定します。初期化するため、途中で記録フォーマットを変更すると、それまでディスクに記録した内容はすべて消去されます。

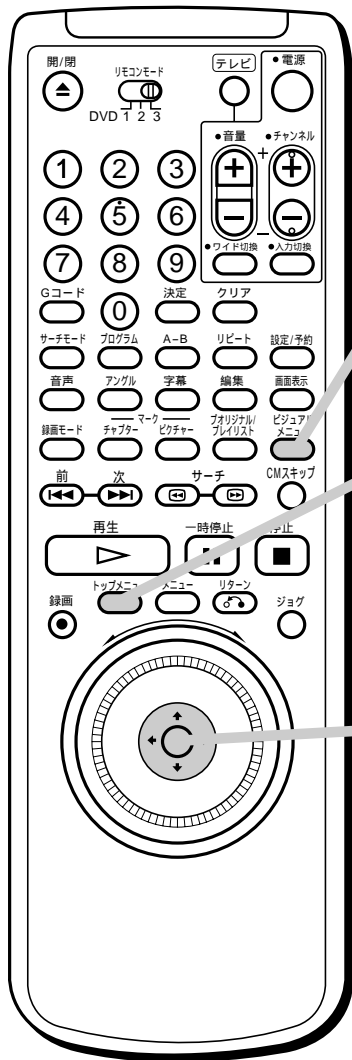
  すべての録画が終わったあと、ファイナライズします（☞101ページ）。

- DVD-R**のとき**

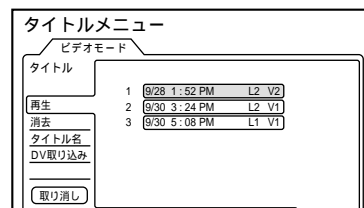
  すべての録画が終わったあと、ファイナライズします（☞101ページ）。

録画したDVDを再生する

DVD-RW **DVD-R**

VRモードで録画したDVDを再生するときは、テレビ画面に一覧表示されたタイトルの1シーンから選んで再生することができます。
ビデオモードで録画したDVDを再生するときは、メニューに表示されるタイトルの一覧から選んで再生できます。

1 VR**モードの**DVD-RW**のとき**
ビジュアルメニューボタンを押す。
ビジュアルメニュー画面が表示されます。

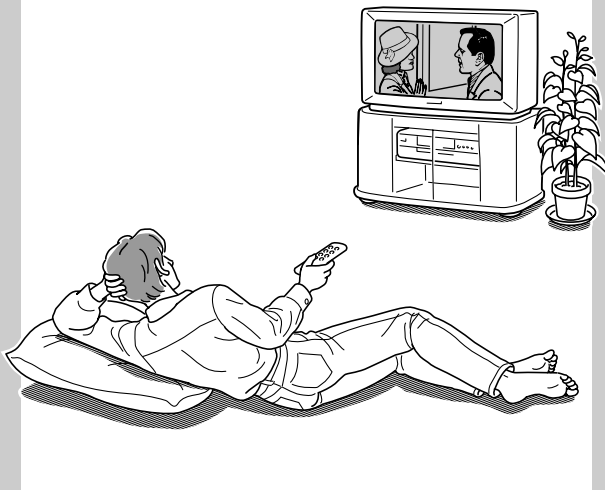
画面表示

ビデオモードのDVD-RW**または**DVD-R**のとき**
トップメニューボタンを押す。
タイトルメニュー画面が表示されます。

2 **←/↑/↓/→で再生するタイトルを選び、真ん中を押しこんで決定する。**
選んだタイトルから再生が始まります。

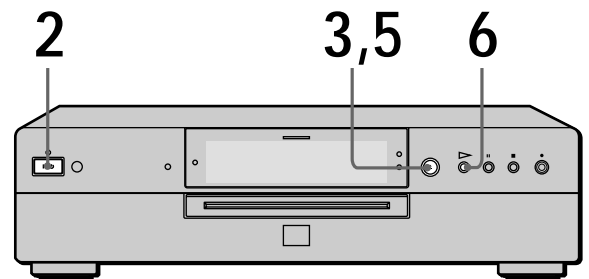
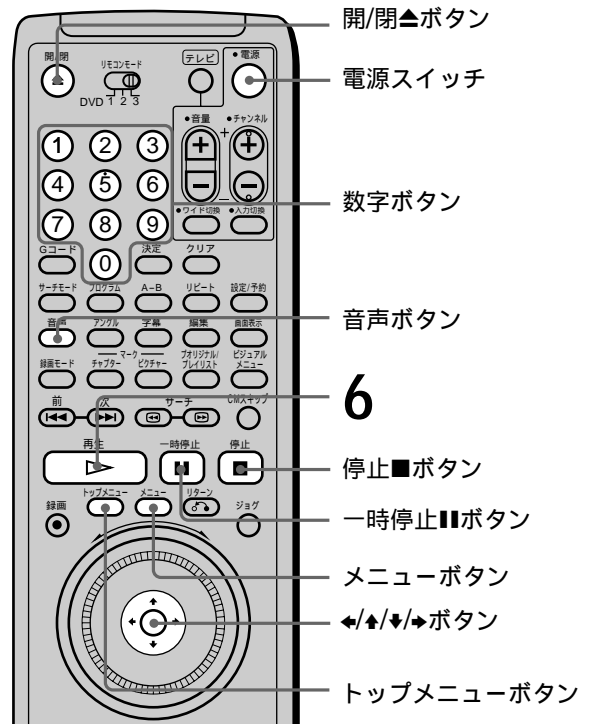
再生を止めるには

停止■ボタンを押します。

再生

ここでは、再生するときに使えるいろいろな機能について説明します。
スロー・2倍速などの変速再生ができるほか、録画した各番組を頭出ししたり、録画した番組のとばしたい部分（CMなど）を早送りしたりできます。
また、再生の順番を決めたり、繰り返し再生したりできます。音声やアングルを切り換えたり、画質を調整するなどの役立つ機能もあります。

ディスクを再生する

DVD-VIDEO DVD-RW DVD-R VIDEO CD CD

再生するディスクに付属の説明書も必ずご覧ください。ディスクによっては、禁止している操作もあります。

1 **テレビの電源を入れ、本機をつないだ入力（「ビデオ」など）に切り換える。**

アンプを使うときは
アンプの電源を入れ、本機をつないだ入力に切り換えます。

2 **本体のI/⏻（電源）スイッチを押す。**

3 **本体の≙（開/閉）ボタンを押して、ディスクトレイを開ける。**

4 **ディスクを置く。**
再生したい面を下にして置きます。

5 **≙（開/閉）ボタンを押して、ディスクトレイを閉める。**
表示窓の「LOAD」が消えるまで待ちます。

6 **再生▷ボタンを押す。**
再生が始まります。
テレビまたはアンプの音量を調整します。
録画したあとに再生すると、そのタイトルから再生がはじまります。

手順6の後に

ディスクによっては、テレビ画面にメニューが表示されることがあります。そのときは表示されたメニュー画面（選択画面）にしたがって、操作をして再生します。

再生を止めるには

停止■ボタンを押します。

再生を一時停止するには

一時停止❚❚ボタンを押します。

ディスクを取り出すには

開/閉⏏ボタンを押します。

電源を切るには

電源スイッチを押します。

DVDビデオのディスクのメニューを使うには DVD-VIDEO

DVDには、DVD独自のメニューが記録されているものがあります。
複数のタイトル（映像や曲）が記録されているDVDを再生するときは、トップメニューボタンを使って、好きなタイトルを選べます。ディスクの内容をメニューで選択できるDVDを再生するときは、再生したい項目や字幕の言語、音声の言語などをメニューボタンで選べます。

1 メニューボタンまたはトップメニューボタンを押す。
メニューが表示されます。
メニューの内容はディスクにより異なります。
2 選びたい項目を←/↑/↓/→または数字ボタンで選ぶ。
3 真ん中を押しこんで決定する。

CDのDTS音声再生時のご注意 CD

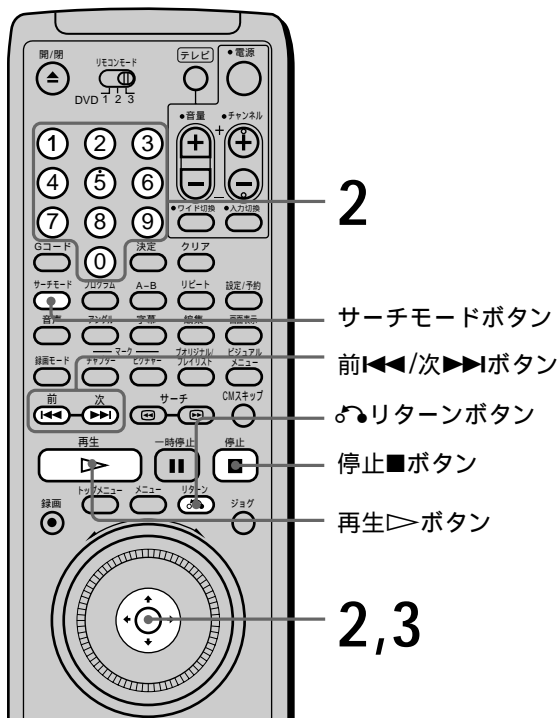
- DTSで記録されたCDを再生するとアナログ出力からは極端に大きなノイズが出ます。本機のアナログ出力をアンプにつないでいるときは、お手持ちのシステムが破損しないよう細心の注意を払う必要があります。
DTS Digital Surround™の再生をお楽しみいただくには、本機のデジタル出力に5.1チャンネルの外部DTS Digital Surround™デコーダーを接続する必要があります。
- CDのDTS音声を再生するときは、音声ボタンを繰り返し押して、音声を「ステレオ」に設定してください（☞28ページ）。
- DTSデコーダーを内蔵していないオーディオ機器につないでいるときにCDのDTS音声を再生すると、本体設定で「音声出力」の「DTS出力」を「オフ」に設定していても（☞94ページ）、デジタル音声出力光端子およびデジタル音声出力同軸端子から異音が出ます。

DVDのDTS音声再生時のご注意 DVD-VIDEO

- DTSデコーダーを内蔵していないオーディオ機器につないでいるときは、本体設定で「音声出力」の「DTS出力」を「オン」に設定しないでください（☞94ページ）。異音が出て耳に悪影響をおよぼしたり、スピーカーを破損することがあります。
- DVDのDTS音声を再生するときは、本体設定で「音声出力」の「DTS出力」を「オン」に設定します（☞94ページ）。このとき、アナログ音声出力からは音が出ません。

次のページにつづく

プレイバックコントロール機能を使う（PBC再生）VIDEO CD

PBC（Playback Control）機能を使って、対話型の操作や検索などができます。
PBC再生とは、テレビ画面に表示される選択用のメニューにしたがって、再生を進めていくことです。

1 PBC対応ビデオCDを再生する。
選択用のメニュー画面が表示されます。

2 メニュー画面で行いたい（再生したい）項目の番号を↑/↓または数字ボタンで選ぶ。

3 真ん中を押しこんで決定する。

4 テレビ画面に表示される選択用のメニュー画面などにしたがって、操作する。
操作の方法はディスクによって異なることがありますので、ディスク付属の説明書もあわせてご覧ください。

1つ前の画面に戻るには

リターンボタンを押します。

ちょっと一言

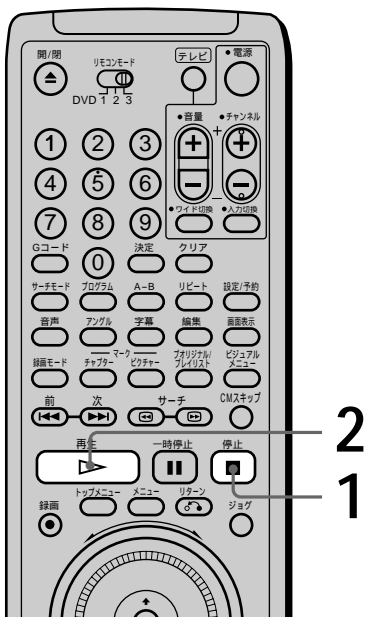
- PBC機能を使わないで再生するときは、次の2つの方法があります。
  1つは、停止■ボタンを押して再生を止めてから、サーチモードボタンを押し、その後数字ボタンで数字を入力して、再生▷ボタンを押します。
  表示窓の「PBC」表示が消え、通常の再生が始まります。
  もう1つは、停止■ボタンを押して再生を止めたあと、前⏮または次⏭ボタンを押します。
  PBC再生に戻すには、停止■ボタンを押して再生を止めたあと、もう一度停止■ボタンを押して、その後で再生▷ボタンを押します。

ご注意

- ディスクによっては手順**3**で決定することを「選択ボタンを押す」と表示するものがあります。そのときは、再生▷ボタンを押してください。

再生を止めたところから再生する（リジューム再生）

DVD-VIDEO **DVD-RW** **DVD-R** **VIDEO CD** **CD**

再生を止めたあと、そのつづきから再生できます。ディスクトレイを開けない限り、本機の電源を切ってもリジューム再生することができます。

1 再生中、停止■ボタンを押して、再生を止める。

テレビ画面に「リジューム」と表示されます。「リジューム」が表示されないときはリジューム再生はできません。

2 再生▷ボタンを押す。

手順**1**で再生を止めたところから、再生が始まります。

ちょっと一言

- ディスクを最初から再生したいときは、停止■ボタンを押して再生を止めてから、もう一度停止■ボタンを押して「リジュームオフ」を表示させ、その後再生▷ボタンを押します。

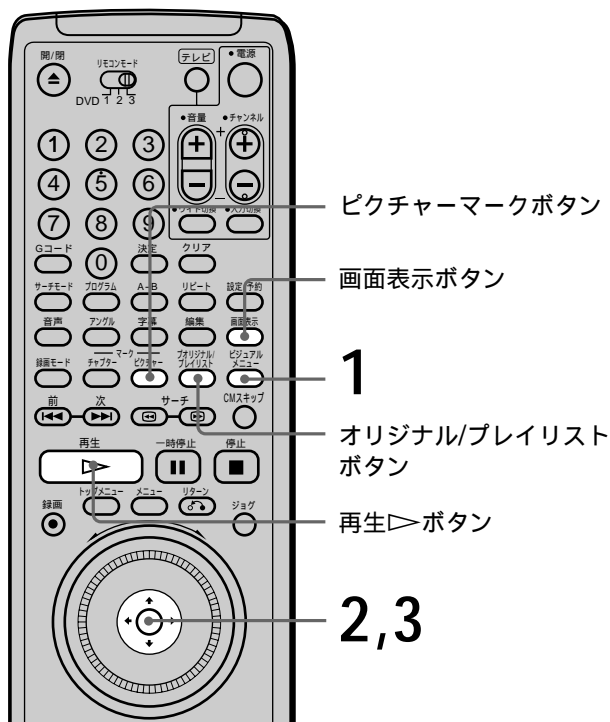
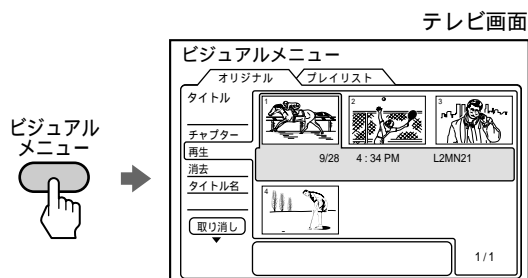
ご注意

- ディスクによっては、停止したところから再生しないものがあります。
- 再生を止めたところによっては、リジューム再生の始まりがずれることがあります。
- 次の場合、リジューム再生できません。
  - ー ディスクを取り出したとき
  - ー 録画をしたとき
  - ー オリジナルとプレイリストを切り換えたとき
  - ー 消去などの編集操作をしたとき
  - ー 本体設定を変更したとき

録画したDVDを再生する

映像から選んで再生する

（ビジュアルメニュー） DVD-RW(VR)

VRモードで録画または編集したディスクを再生するとき、画面（ビジュアルメニュー）に一覧表示された画像から選んで再生することができます。タイトルの最初の画像が表示されます。
ビジュアルメニューに表示される画像は好みの場面に変更することができます。
ビデオモードで再生するときは、「タイトルから選んで再生する」（☛19ページ）をご覧ください。

1 **ビジュアルメニューボタンを押す。**
ビジュアルメニュー画面が表示されます。

2 **再生したいタイトルの映像を←/↑/↓/→で選ぶ。**
映像を選択し画面表示ボタンを押すと、そのタイトルの情報が表示されます。

3 **真ん中を押しこんで決定する。**
選んだタイトルの再生が始まります。

プレイリストを再生するには

手順**2**の前で、オリジナル/プレイリストボタンを押して、プレイリストのビジュアルメニュー画面を表示してください。プレイリストについては、☛55ページをご覧ください。

ビジュアルメニューの画像を変更する

ビジュアルメニューに表示される各タイトルの画像を好みの場面に変更します。

1 再生▷ボタンを押す。
変更したいオリジナルまたはプレイリストを再生します。

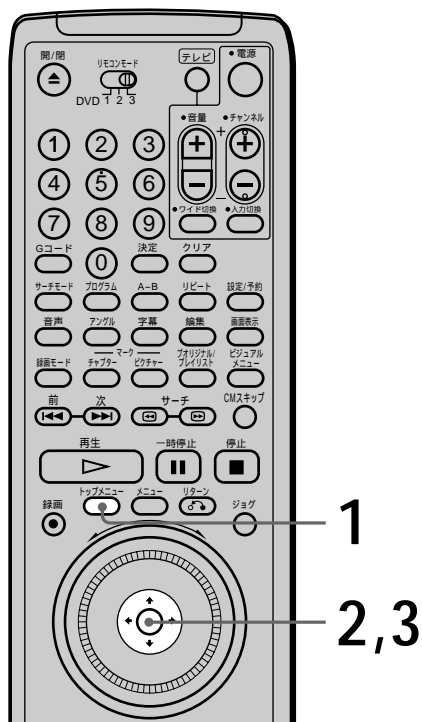
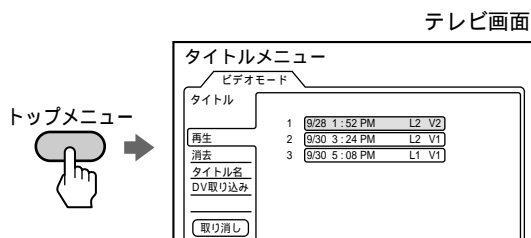
2 好みの場面で、ピクチャーマークボタンを押す。
テレビ画面に PCT が表示されます。
ビジュアルメニューに表示される画像が入れ換わります。

ちょっと一言

- 手順**1**のビジュアルメニューボタンのかわりに、本体のVISUAL MENUボタンでも操作できます。

タイトルから選んで再生する

DVD-RW（VIDEO） **DVD-R**

DVD-Rディスクまたはビデオモードで録画したDVD-RWディスクを再生するとき、タイトルメニューから好きなタイトルを選んで再生できます。

1 **トップメニューボタンを押す。**
タイトルメニュー画面が表示されます。

2 **再生したいタイトルを↑/↓で選ぶ。**

3 **真ん中を押しこんで決定する。**
選んだタイトルの再生が始まります。

ご注意

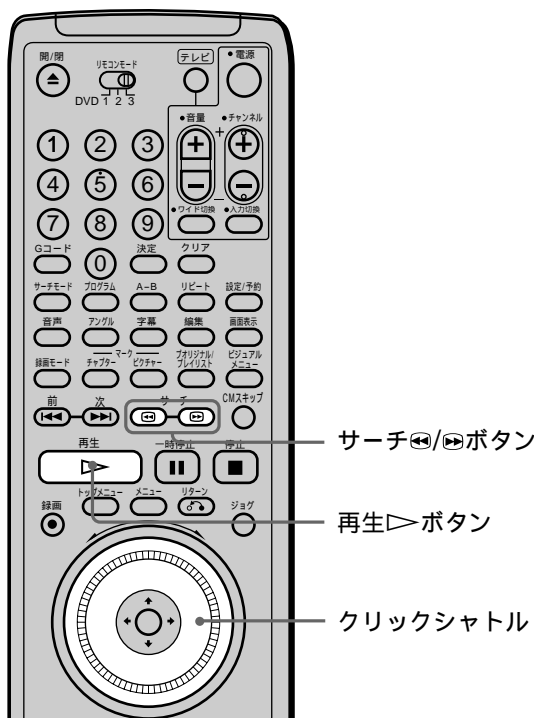
- ファイナライズ（☞101ページ）を行うと、新たなメニュー画面が自動的に作成されるため、ファイナライズ前と後ではメニュー画面が異なります。

見たい・聞きたいところを探す

いろいろな速さで画像を見たり、1コマずつ送って再生することができます。

早送り/早戻し/スロー再生する

（スキャン）

DVD-VIDEO **DVD-RW** **DVD-R** **VIDEO CD** **CD**

再生中にサーチ⏪/⏩ボタンを押す。

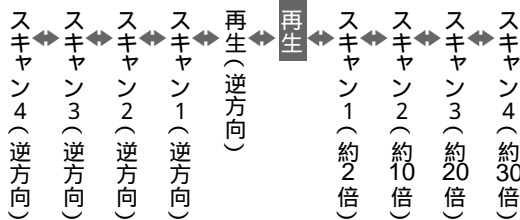
画像の速さ	操作
早送り再生	サーチ⏩ボタンを押す。押してる間だけ早送り再生されます。
早戻し再生	サーチ⏪ボタンを押す。押してる間だけ早戻し再生されます。

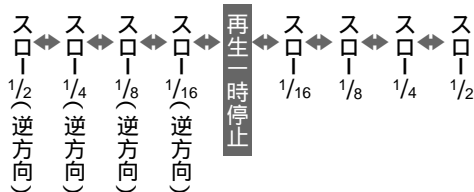
見たい・聞きたいところを探す（つづき）

クリックシャトルで速さを変えるには

クリックシャトルを回すと、使用するディスクの種類や記録フォーマットによって、スローや2倍速などいろいろな速さに変えられます。

- **DVD-RW（VR）**

再生しているとき（早送り/早戻し再生）

＊順方向でも逆方向でも、数字が同じならば速度も同じ

一時停止しているとき（スロー再生）

＊スロー1/2がいちばん速い

- **DVD-VIDEO** **DVD-RW（VIDEO）** **DVD-R**

  早送り/早戻し再生がスキャン3までとなり、その速度は約30倍です。スロー再生はVRモードと同じです。

- **VIDEO CD**

  早送り/早戻し再生がスキャン2までとなり、逆方向の再生はできません。スロー再生は順方向のみ行えます。

- **CD**

  早送り/早戻し再生がスキャン2までとなり、その逆方向の再生はできません。スロー再生はできません。

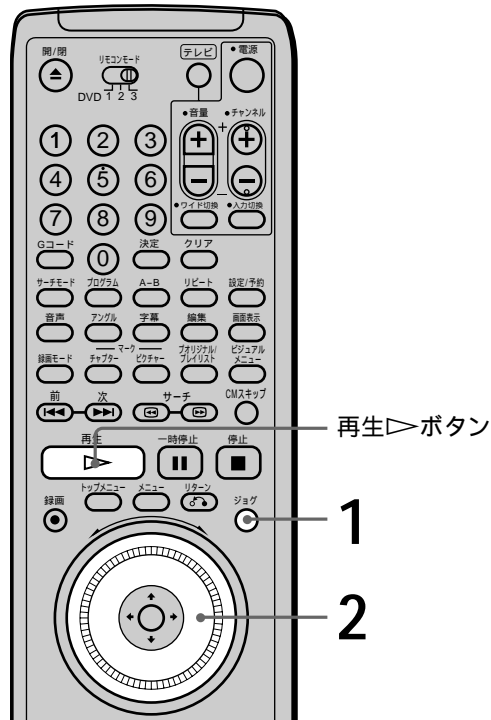
ふつうの再生に戻すには

再生▷ボタンを押すか、クリックシャトルを回して再生の位置に戻します。

ご注意

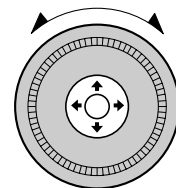
- 停止中、録画中、録画一時停止中は、クリックシャトルは働きません。
- CDの順方向スキャン中には、約0.5秒おきに音声が出ます。

コマ送り再生する

DVD-VIDEO **DVD-RW** **DVD-R** **VIDEO CD**

1　再生中または再生一時停止中にジョグボタンを押す。

ジョグボタンが点灯します（ジョグモード）。

2　クリックシャトルを回す。

右に回すと正方向に、左に回すと逆方向に進みます。

ふつうの再生に戻すには

再生▷ボタンを押します。

ジョグモードを解除するには

ジョグボタンを押して、消灯させます。または、約20秒操作しないと自動的に解除されます。

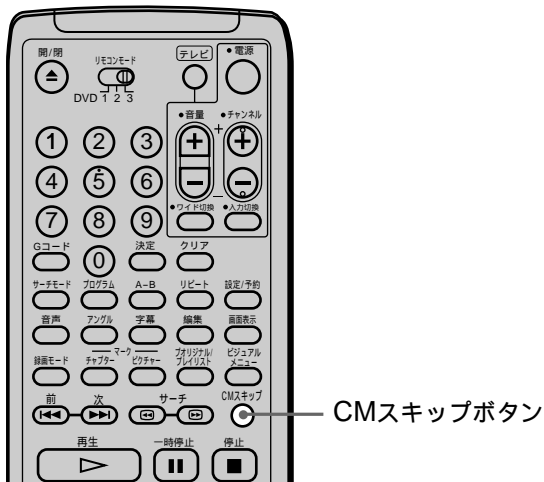
ご注意

- ビデオCDは、逆方向のコマ送りができません。

CMをとばして再生する

（CMスキップ）

DVD-VIDEO **DVD-RW** **DVD-R** **VIDEO CD**

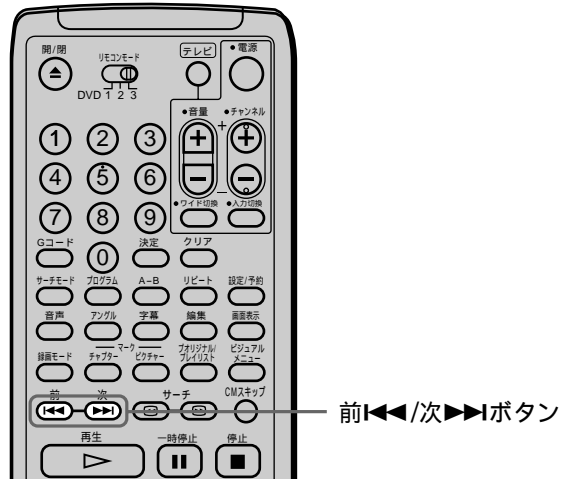
再生中にCMなど、とばしたい部分をスキップすることができます。約30秒単位でとばし、最大約4分（8回）までとばすことができます。録画したテレビ番組を見るときに便利です。

再生中に、とばしたい秒数になるまでCMスキップボタンを繰り返し押す。
設定した時間をとばして再生されます。

ちょっと一言

- CMは1本約15秒です。通常1回押しでCMを2本とばすことができます。

チャプターやタイトルを頭出しする

DVD-VIDEO **DVD-RW** **DVD-R** **VIDEO CD** **CD**

再生中に前後のチャプターやタイトルを頭出しできます。

- **チャプターを探すとき**
  再生中に、前|◀◀/次▶▶|ボタンを押す。
  前|◀◀ボタンを押すと、再生中のチャプターの先頭に戻ります。次▶▶|ボタンを押すと、次のチャプターの先頭に進みます。
- **タイトルを探すとき（VRモードのDVD-RWのみ）**
  再生中に、前|◀◀/次▶▶|ボタンを少しの間押したままにする。
  ボタンを押したままにするとさらに移動します。前|◀◀ボタンを押すと、再生中のタイトルの先頭に戻ります。次▶▶|ボタンを押すと、次のタイトルの先頭に進みます。

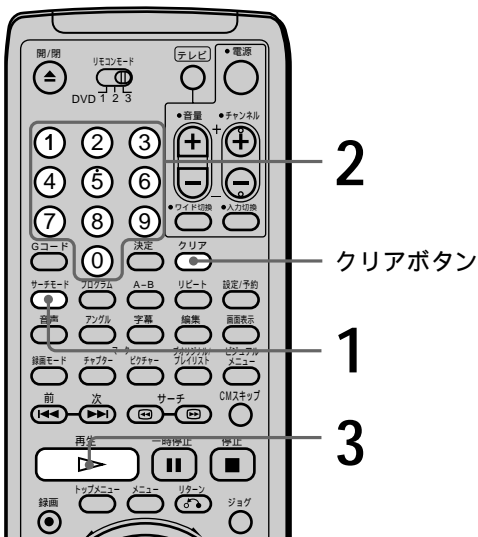
ちょっと一言

- VRモードで録画したDVD-RWディスクは、チャプターを手動で区切ることができます（☞23ページ）。
  ビデオモードで録画したDVD-RWディスクまたはDVD-Rディスクはチャプターを3分ごとなどの設定した間隔で自動的に区切ります（☞98ページ）。

次のページにつづく

タイトルやチャプター番号、タイムコードで頭出しする（サーチモード）

DVD-VIDEO DVD-RW DVD-R VIDEO CD CD

DVDのタイトルまたはチャプター、タイトルの経過時間、ビデオCDやCDのトラックまたはシーンで映像や曲を探すことができます。
タイトルやトラックなどには、ディスク上で番号がつけられています。その番号を選んで頭出しします。また、タイトルの経過時間をタイムコードで入力して場面や曲を探すこともできます。

1 サーチモードボタンを押す。

ボタンを押すたびに、検索項目が変わります。

DVDのとき

タイトル → チャプター → タイム → （表示オフ）

ビデオCD/CDのとき

トラック → タイム（ビデオCDのみ）→（表示オフ）

2 数字ボタンでタイトルやチャプター、トラックなどの番号や、経過時間（タイム）を入力する。

タイトルやチャプター、トラックなどの番号を入力するとき

例）4を入力するとき、④を押します。20を入力するとき、②、⓪の順で押します。

タイムコードを入力するとき

フレームサーチ オン：0.00.00.00（時間.分.秒.フレーム）

フレームサーチ オフ：0.00.00（時間.分.秒）

例）10分45秒を入力するとき、①⓪④⑤の順に押します。1時間30分3秒を入力するとき、①③⓪⓪③の順に押します。

間違えたときは

クリアボタンを押して、入れ直します。

3 再生▷ボタンを押す。

選んだ場所から再生します。

ちょっと一言

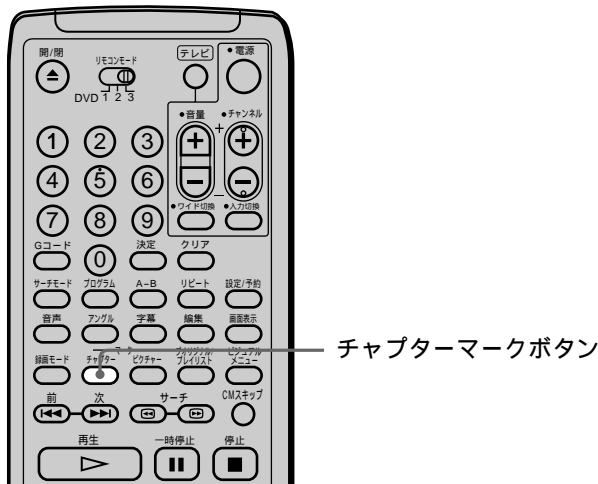
- 「本体設定」の「オプション」で「フレームサーチ」を「オン」にすると、タイムコードでフレームを入力してサーチできます（☛97ページ）。フレームサーチをしたときは、フレーム位置で再生一時停止になります。

ご注意

- タイトルやチャプター、トラックの番号はディスク上に記録されている番号と同じように表示されます。
- DVDビデオやビデオモードで録画されたDVD-RW、DVD-Rは、停止中にタイムサーチできません。
- ビデオCDとCDはフレームサーチできません。
- ビデオCDのPBC再生中には、サーチモードは使えません。

チャプターを区切る

（チャプターマーク） DVD-RW(VR)

再生中のオリジナルやプレイリストのタイトルにチャプターの区切りを入れます。チャプタースキップやチャプターサーチができるようになります（☞21ページ）。
ビデオモードで録画した場合、3分ごと（または、設定した時間ごと☞98ページ）に自動的にチャプターが区切られます。この操作は、VRモードのみの機能です。

再生中にチャプターを区切りたい場面で、チャプターマークボタンを押す。
テレビ画面に CHP が表示されます。

チャプターの区切りを消去するには

オリジナルのタイトルのときは☞74ページ、プレイリストのときは☞66ページをご覧ください。

ちょっと一言

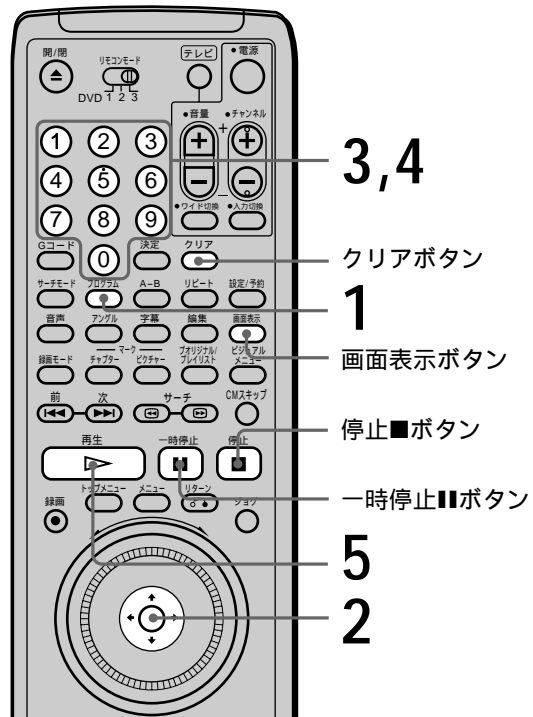
- 録画中でもチャプターマークボタンを押せば、チャプターを区切ることができます。
- プレイリストのタイトルでチャプターを区切るには、オリジナル/プレイリストボタンを押して、プレイリストのタイトルを再生し、チャプターマークボタンを押します。

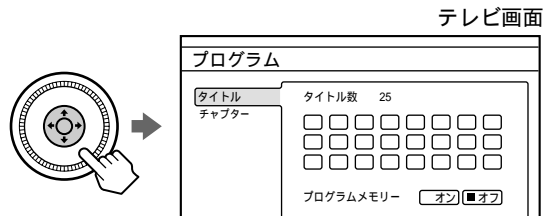
好きな順に再生する

（プログラム再生）

DVD-VIDEO DVD-RW(VIDEO) DVD-R VIDEO CD CD

再生

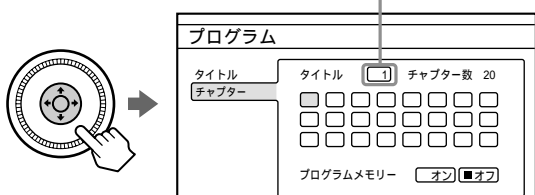
タイトルやトラック、チャプターを好きな順に再生できます。最大24枚のディスクのプログラム情報を記憶できます。
VRモードではプログラム再生できません。
ビデオCDの場合は、トラックのみプログラムできます。

1 プログラムボタンを押す。
プログラム画面が表示されます。

次のページにつづく

好きな順に再生する（つづき）

2 **↑/↓で「タイトル」または「チャプター」を選び（ビデオCD/CDの場合は「トラック」）、→を押す。**

「タイトル」を選ぶと、タイトル単位でプログラムできます。「チャプター」を選ぶと、チャプターのみプログラムできます。

このタイトル番号内のチャプターをプログラムできる*

プログラム
タイトル
チャプター
タイトル 1 チャプター数 20
プログラムメモリー オン ■オフ

チャプターをプログラムするには、数字ボタンでタイトル番号を入力します。

3 **プログラム再生したいタイトル/トラック/チャプターを数字ボタンで入力し、真ん中を押しこんで決定する。**

2桁の番号を入力するとき

数字ボタンを続けて押します。

例）10を入力するとき、①、⓪の順に押します。

間違えたときは

クリアボタンを押して、もう一度入力し直します。

4 **手順3を繰り返して、プログラム再生したいタイトル/トラック/チャプターを入力する。**

設定する順番に数字ボタンを押します。

5 **再生▷ボタンを押す。**

プログラム再生が始まります。

プログラムを記憶するには（プログラムメモリー）

手順4の後で、↓を繰り返し押してプログラムメモリーを選び、←/→で「オン」を選ぶと、ディスクを取り出しても、最大24枚のDVDのプログラムを記憶することができます。プログラムを記憶して、一度取り出したディスクを再生すると、自動的にプログラム再生を始めます。24枚を超えると、古いディスクのメモリーから自動的に消去されます。

通常の再生に戻すには

プログラム再生中にクリアボタンを押します。

プログラム再生を停止するには

プログラム再生中に停止■ボタンを押します。

プログラムを確認するには

プログラムボタンを押します。

プログラムの内容を1つずつ消去するには

プログラムボタンでプログラム画面を表示させて、←/↑/↓/→で消去したいプログラム番号を選び、クリアボタンを押します。

プログラムを追加するには

プログラムボタンでプログラム画面を表示させて、←/↑/↓/→で追加したい位置を選び、追加するタイトル/チャプターの番号を数字ボタンで入力します。

プログラムをすべて消去するには

停止中に、クリアボタンを押します。

プログラムメモリーを「オン」に設定したディスクのプログラムメモリーは消去されません。

ちょっと一言

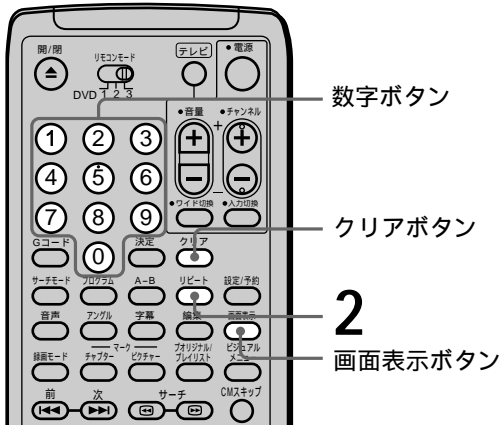
- プログラムの設定で、数字ボタンでタイトルやチャプター番号を入れる代わりに一時停止❚❚ボタンを押して決定すると、次にプログラムされているタイトルやチャプターの始めで一時停止するようにプログラムします。ただし、プログラムの最初と最後には一時停止を設定することはできません。
- プログラム再生中に、画面表示ボタンを押すと「プログラム」が表示されます。

ご注意

- ビデオCDのPBC再生時には、プログラム再生できません。
- ファイナライズしていないビデオモードのディスクは、プログラムメモリーを使用できません。

繰り返し再生する
（リピート再生）

DVD-VIDEO **DVD-RW** **DVD-R** **VIDEO CD** **CD**

再生中のタイトル/チャプター/トラックを繰り返し再生できます。
VRモードで録画したDVD-RWディスクの場合、ディスクのすべてのタイトルをリピート再生（リピートオール）することができます。

1 **リピート再生したいチャプターやタイトルを再生する。**

2 **リピートボタンを押してリピートの種類を選ぶ。**
ボタンを押すたびに、テレビ画面に表示されるリピートの種類が変わります。

DVD**のとき**

リピート チャプター
再生中のチャプターが再生し終わると、そのチャプターの先頭からリピート再生します。
↓
リピート タイトル
再生中のタイトルが再生し終わると、そのタイトルの先頭からリピート再生します。
↓
リピート オール（VR**モードのみ）**
ディスク内のすべてのタイトルを再生し終わると、最初のタイトルからリピート再生します。
↓
リピート オフ
リピート再生しません。

ビデオCD/CD**のとき**

リピート トラック
再生中の曲（トラック）が再生し終わると、その曲の先頭からリピート再生します。
↓
リピート オール
ディスク内のすべての曲（トラック）を再生し終わると、最初の曲からリピート再生します。
↓
リピート オフ
リピート再生しません。

通常の再生に戻すには

クリアボタンを押して、「リピート オフ」を表示させます。リピート再生の設定が解除されます。

ちょっと一言

- リピート再生中に、画面表示ボタンを押すと「リピート」が表示されます。
- プログラム再生中にリピートボタンを押すと、プログラム再生を繰り返します。

ご注意

- ビデオCDのPBC再生中には、リピート再生できません。
- リピート再生中に、アングルを切り換えるとリピート再生は解除され、通常の再生に戻ります。

再生

再生したい部分だけを繰り返す（A-Bリピート再生）

DVD-VIDEO **DVD-RW** **DVD-R** **VIDEO CD** **CD**

再生したい部分を指定して、リピート再生できます。語学学習や歌詞を覚えるときに便利です。

1 **再生中に繰り返す部分の始点（A点）でA-Bボタンを押す。**
テレビ画面に「リピート メモリー」が表示されます。
始点（A点）が設定されます。

2 **繰り返す部分の終点（B点）でもう1度A-Bボタンを押す。**
「リピート A-B」が表示され、指定した部分を繰り返して再生します。

通常の再生に戻すには

クリアボタンを押します。「リピート オフ」が表示され、A-Bリピート再生の設定が解除されます。

ちょっと一言

- VRモードでは、タイトル間をまたがってA-Bリピート再生できます。ビデオモードでは、タイトルをまたいだA-Bリピート再生はできません。
- 手順**2**で終点（B点）を設定せずに再生▷ボタンを押すと、手順**1**で設定した始点に戻って再生することができます。

ディスクの情報や残り時間を見る

DVD-VIDEO **DVD-RW** **DVD-R** **VIDEO CD** **CD**

タイトルやチャプター、トラックの経過時間や残り時間、録画モードやディスクの空き時間などのディスク情報を見ることができます。

画面表示ボタンを押す。
テレビ画面にディスクの情報が表示されます。ボタンを押すたびに、画面表示が変わります。

DVDビデオまたはビデオモードのDVD-RW、DVD-Rを再生しているとき

ビデオCD/CDを再生しているとき

VRモードのDVD-RWを再生しているとき

VRモードのDVD-RWを録画しているとき

ビデオモードのDVD-RWまたはDVD-Rを録画しているとき

VRモードのDVD-RWを停止しているとき

DVDビデオを停止しているとき

ビデオモードのDVD-RWまたはDVD-Rを停止しているとき

ビデオCD/CDを停止しているとき

再生

次のページにつづく

ディスクの情報や残り時間を見る（つづき）

画面表示を消すには

画面表示が消えるまで、画面表示ボタンを押します。

ちょっと一言

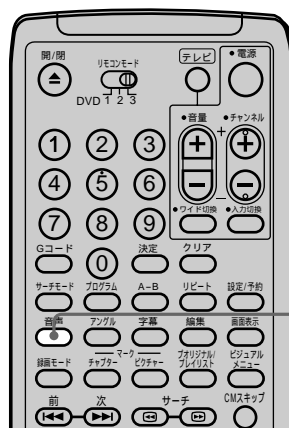
- フィルム素材の映像が記録されているDVDビデオを再生中に画面表示させると、「#」が表示されます。フィルム素材について詳しくは、☛32ページをご覧ください。
- 「1回だけ録画可能」のコピー制御信号が含まれている映像を録画したVRモードのディスクを再生中に画面表示させると、「！」が表示されます。コピー制御信号について詳しくは、☛39ページをご覧ください。
- 「1回だけ録画可能」または「録画禁止」のコピー制御信号が含まれている映像を入力したときに画面表示させると、「1回録画可」または「録画禁止」と表示されます。コピー制御信号について詳しくは、☛39ページをご覧ください。

ご注意

- 使用中のディスクや動作状態によっては、表示されない情報があります。

音声を切り換える

DVD-VIDEO **DVD-RW** **DVD-R** **VIDEO CD** **CD**

DVDの再生中に音声の言語や音声記録方式を選ぶことができます。また、CDやビデオCD再生中は、左右どちらかのチャンネルの音を左右両方のスピーカーから出すことができます。
カラオケのビデオCDなどで、伴奏だけ聞くこともできます。

再生中に音声ボタンを押す。

ボタンを押すたびに、音声が次のように切り換わります。

- **DVDビデオのとき**
  選べる言語はディスクによって異なります。同じ言語が2個以上表示されたときは、音声記録方式（チャンネル数など）が異なります。
- **二重音声の番組や二重音声を記録したDVD-RW（VRモード）のとき**
  — 主：主音声
  — 副：副音声
  — 主＋副：主音声＋副音声
- **ビデオCD/CDのとき**
  お買い上げ時の設定は、下線の項目です。
  — <u>ステレオ</u>：通常のチャンネル
  — 1/L：左チャンネルの音（モノラル）
  — 2/R：右チャンネルの音（モノラル）

ちょっと一言

- DVDビデオでいつも使いたい音声の種類を設定することができます。詳しくは、「表示言語や音声言語の設定（言語設定）」（☛95ページ）をご覧ください。
- 複数の音声が記録されているDVDビデオで、音声の切り換えが音声ボタンでできない場合、DVDメニューから設定できることがあります。

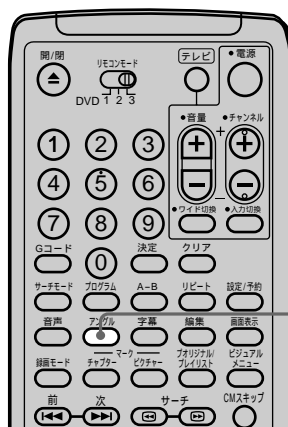
ご注意

- 複数の音声が記録されていないディスクでは、音声の切り換えはできません。
- DVDビデオを再生中、自動的に音声が切り換わることがあります。
- ファイナライズしていないビデオモードのディスクまたは、VRモードのディスクが本機に入っていて録画モードをMNのレベル32に設定しているとき（DV入力時は除く）、受信している番組の二カ国語放送などの二重音声を切り換えることができません。二重音声の音声を切り換えたいときは、本体設定の「二カ国語時記録音声」（☛93ページ）をご覧ください。
- デジタル接続のみで音声出力しているときは、本機でVRモードのディスク再生時に音声を切り換えることができません。

アングルを切り換える

（マルチアングル）

DVD-VIDEO

複数のアングルがディスクに記録されているとき、好きなアングルに切り換えることができます。
たとえば、動いてる電車のシーンの再生中に、電車の正面から見ていた景色を、右の窓からの景色に切り換えて見ることができます。アングルを変えられるときは、テレビ画面に 🎥（アングルマーク）が表示されます。

再生中にアングルボタンを押す。
ボタンを押すたびに、アングルが切り換わります。

ちょっと一言

- アングルを変えられるとき、本体の表示窓のANGLEが点灯し、本体でも確認することができます。

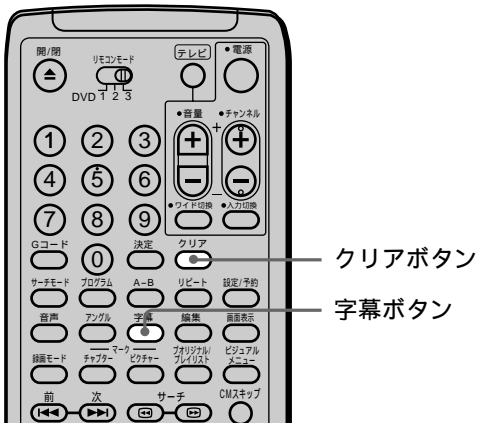
ご注意

- ディスクによっては、複数のアングルが記録されていても、切り換えを禁止している場合があります。
- 一時停止中にアングルを切り換えると、一時停止は解除されます。

再生

字幕を表示する

DVD-VIDEO

字幕が記録されているディスクは、再生中に字幕を表示したり消したりすることができます。複数の言語で字幕が記録されているときは、字幕を切り換えて、語学の学習に役立てたりできます。

再生中に字幕ボタンを押す。
ボタンを押すたびに、字幕の言語が切り換わります。

字幕を消すには

字幕番号などが画面に表示されているときにクリアボタンを押すか、字幕ボタンを繰り返し押して「字幕：オフ」を選びます。

ちょっと一言

- 複数の字幕が記録されているディスクで字幕の切り換えが字幕ボタンでできない場合、DVDメニューから設定できることがあります。
- DVDビデオでいつも使いたい字幕の種類を設定することができます。詳しくは、「表示言語や音声言語の設定（言語設定）」（☛95ページ）をご覧ください。

ご注意

- ディスクによっては、複数の字幕が記録されていても、字幕を表示したり消したりすることや、切り換えを禁止している場合があります。

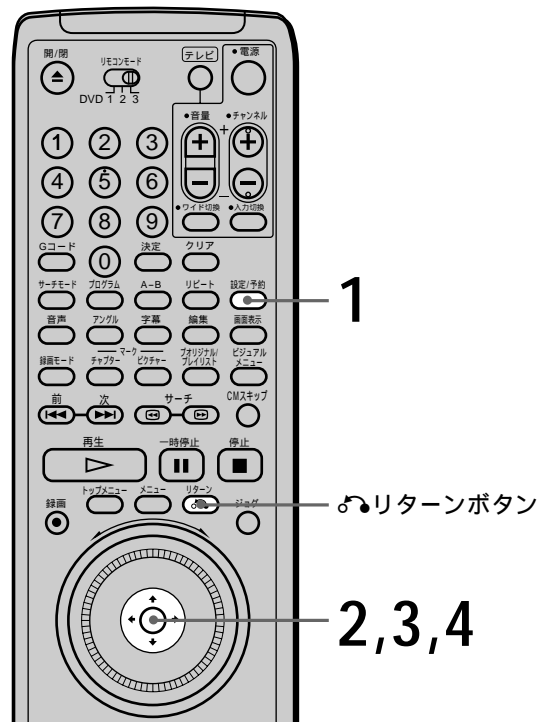
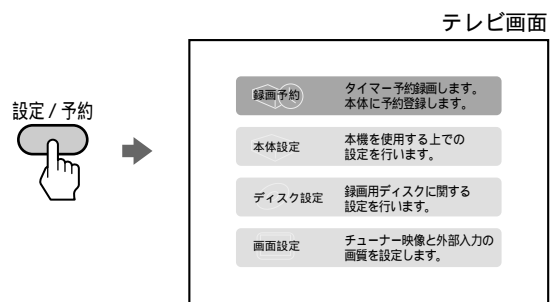
画質を調整する

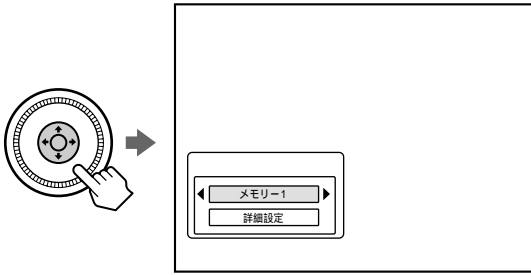
（ビデオイコライザー）

映像信号を調整し、より良い画質にすることができます。ご覧になっている映像の内容に合わせて画質を設定してください。好みの設定内容を記録時と再生時それぞれの「メモリー」に記憶し、いつでも呼び出して使うこともできます。

再生の画質を調整する

DVD-VIDEO **DVD-RW** **DVD-R** **VIDEO CD**

この設定は、ディスクの再生中に行ってください。

1 **再生中に設定/予約ボタンを押す。**
設定画面が表示されます。

2 ↑/↓で「画質設定」を選び、真ん中を押しこんで決定する。

再生画質の選択項目の画面が表示されます。

3 ←/→で画質を選ぶ。

- テレビ（CRT）：ブラウン管タイプテレビに映像出力するときに選びます。
- プロフェッショナル：効果を抑えた基本画質で出力します。高画質モニターに映像出力するときなどに選びます。
- メモリー1/2/3：前もって設定された画質（☞「再生画質を項目ごとに調整して記憶させるには（メモリー設定）」をご覧ください）

4 真ん中を押しこんで決定する。

選んだ画質が設定されます。
設定画面が表示されます。

1つ前の画面に戻るには

リターンボタンを押します。

設定画面を消すには

設定/予約ボタンを押します。

再生画質を項目ごとに調整して記憶させるには（メモリー設定）

1 手順**3**で「メモリー1/2/3」を選ぶ。

2 ↓で「詳細設定」を選び、真ん中を押しこんで決定する。

3 調整したい項目を↑/↓で選び、真ん中を押しこんで決定する。
選んだ項目が表示されます。

4 ←/→で調整する。

- プログレッシブ補間：プログレッシブ映像出力時のプログレッシブスキャン画像の効果
  コンポーネント出力をプログレッシブに設定したときのみ調整することができます。
- フィルム処理：フィルム素材におけるDVD再生動作
  — 自動：ビデオ素材とフィルム素材の違いを本機が検出し、自動的に素材にあわせた変換方法で映像を変換する
  — オン：フィルム素材用の変換方法で映像を変換する
  — オフ：ビデオ素材用の変換方法で映像を変換する
  ビデオ素材とフィルム素材については次にある説明をご覧ください。
- YNR：輝度（Y）信号のノイズリダクション
- CNR：色（C）信号のノイズリダクション
- QNR：量子化ノイズリダクション
- シャープネスHigh：高域周波数に対しての画像鮮明度
- シャープネスMid：中域周波数に対しての画像鮮明度
- ディテール：画像の輪郭強調
- 白レベル：白色のレベル
- 黒レベル：黒色のレベル
- 黒セットアップ：黒色の浮き補正
- 色あい：緑色と赤色のバランス
- 色の濃さ：色の濃さ
- クロマディレイ：映像の輝度（Y）信号と色（C）信号のずれ

5 他の項目を調整するときは、調整したい項目を↑/↓で選び、←/→で調整する。

6 すべての設定が終わったら、真ん中を押しこんで決定する。

次のページにつづく

ビデオ素材とフィルム素材のプログレッシブ方式への変換方法について

本機では、以下の方法でビデオ素材とフィルム素材それぞれをプログレッシブ方式の映像へ変換しています。

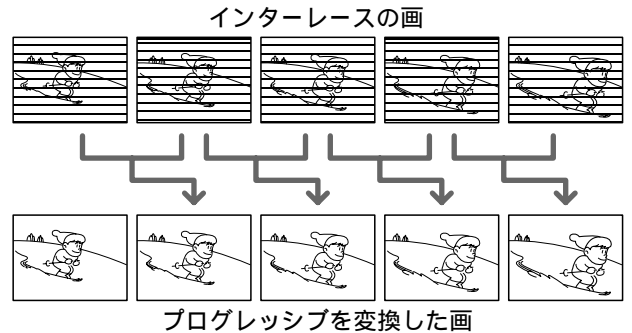
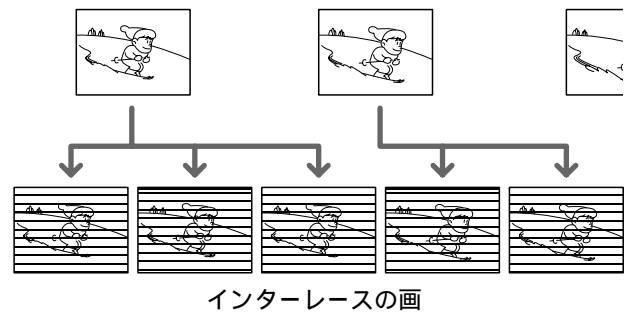
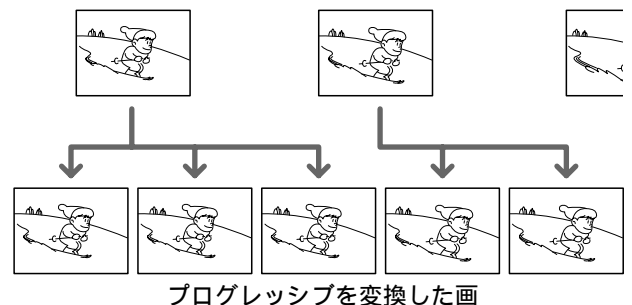
ビデオ素材の変換方法

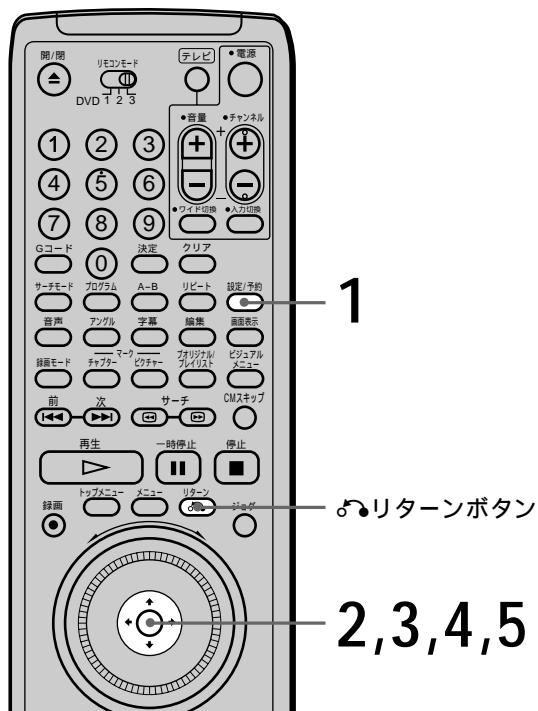
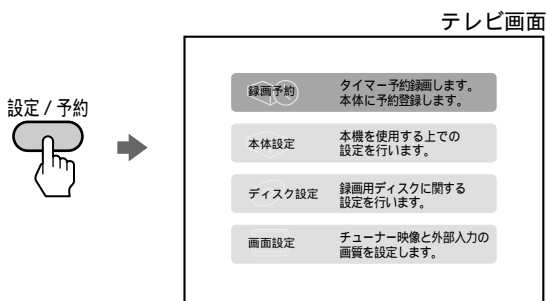
ビデオ素材は、フィールドという走査線を1つずつ飛ばした間欠画像を2枚組み合わせて、30フレーム（60フィールド）の画像で1秒の映像を構成しています（インターレース方式）。

インターレース方式の映像は1秒あたり30フレーム（60フィールド）で構成されていますが、1コマ1コマを上記のフィールド画像で構成すると、走査線が目立つ映像になってしまいます。
また、フィールド画像は走査線を1つずつ飛ばした間欠画像のため、画像そのものの情報量が少なくなってしまいます。そのため映像は密度のない、荒いものとなってしまいます。

プログレッシブ方式の映像は、1秒あたり60フレームで構成されています。本機では映像の動きを検出して、フィールドやフレーム間での補間方法を動きにあわせて判別し、プログレッシブ方式に変換しています。
例えば、動きのない画像の場合には、前フィールドの画像情報を使って補間します。動きのある映像の場合は、画像の動きを検出して、その動く量に応じて同じフィールドの画像情報を使用し、なめらかな映像になるように補間しています。
このような処理を行うことで、インターレース方式と比較して、高品質なプログレッシブ方式の映像をお楽しみいただけます。

フィルム素材の変換方法

フィルム素材は、24コマの画像で1秒の映像を構成してます。通常のテレビでフィルム素材を再生するときは、24コマの画像を、走査線を1つずつ飛ばした間欠（フィールド）画像に分解して表示するため、フィルム素材の持つ本来の情報量を生かすことができませんでした。

この問題を解決するために、本機では1秒あたり24コマの画像を、3フレームと2フレームずつ交互に割り当てることで、1秒60フレームの画像に変換しています。

この処理を行うことで、フィルム素材本来の原画により近い映像を再現するだけでなく、プログレッシブ方式ならではの密度感の高い、高品質な映像をお楽しみいただけます。

録画の画質を調整する DVD-RW DVD-R

この設定は、ディスクの停止中に行ってください。

1 **停止中に設定/予約ボタンを押す。**
設定画面が表示されます。

2 **↑/↓で「画質設定」を選び、真ん中を押しこんで決定する。**
録画画質の選択項目の画面が表示されます。

3 **↑/↓で「ビデオイコライザー」または「録画時NR設定」を選び、真ん中を押しこんで決定する。**
それぞれの選択項目の画面が表示されます。

4 **ビデオイコライザーを選んだとき**
←/→で画質を選ぶ。
画像を調整します。
- テレビ番組：テレビ番組を録画するとき
- ビデオ：接続したビデオ機器より録画するとき
- メモリー1/2/3：前もって設定された画質（☞「録画画質を項目ごとに調整して記憶させるには（メモリー設定）」をご覧ください）

録画時NR設定を選んだとき
↑/↓で「録画時YNR」か「録画時CNR」を選び、←/→で画質を調整する。
録画中のノイズリダクションを設定します。
- 録画時YNR：録画時の輝度（Y）信号のノイズリダクション
- 録画時CNR：録画時の色（C）信号のノイズリダクション

録画する映像の再生画質を確認するには
録画時NR設定の画面から、再生時の画質項目を←/→で選び、↓でプレビューを選んで決定します。
録画する映像を再生するときの画質で確認できます。
もう一度決定すると、前の画面に戻ります。

5 **真ん中を押しこんで決定する。**
選んだ画質が設定されます。

1つ前の画面に戻るには

リターンボタンを押します。

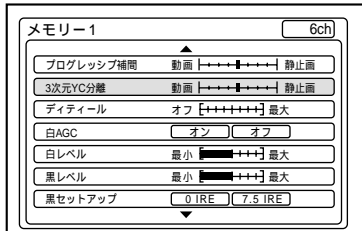
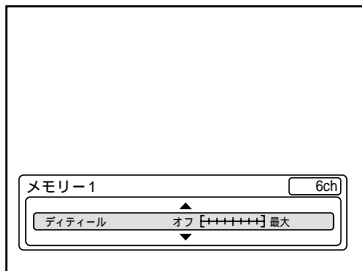
設定画面を消すには

設定/予約ボタンを押します。

再生

次のページにつづく

録画画質を項目ごとに調整して記憶させるには（メモリー設定）

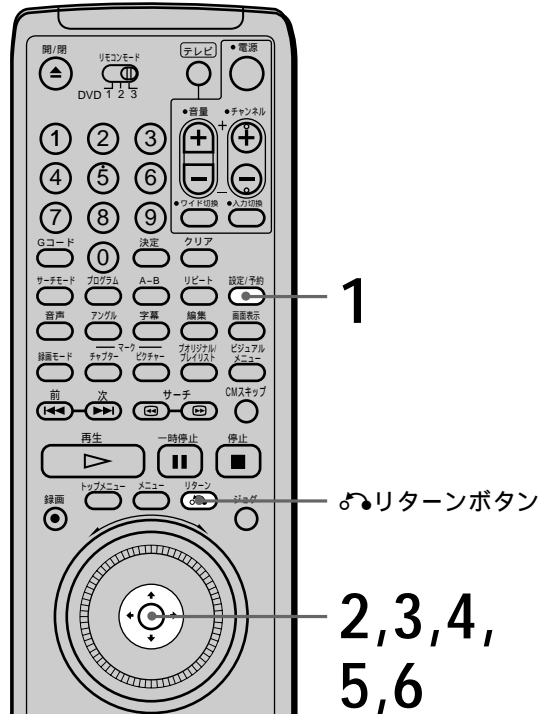
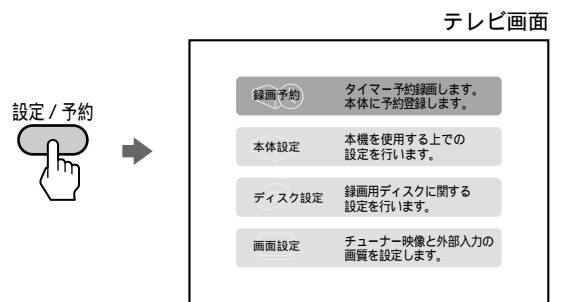
1 手順**4**で「メモリー1/2/3」を選ぶ。
2 ↓で詳細設定を選び、真ん中を押しこんで決定する。

3 調整したい項目を↑/↓で選び、真ん中を押しこんで決定する。
選んだ項目が表示されます。
4 ←/→で調整する。

- プログレッシブ補間：プログレッシブ映像出力時のプログレッシブスキャン画像の効果（コンポーネント映像出力端子をプログレッシブに設定したときのみ調整することができます。）
- 3次元YC分離：入力信号の3次元YC分離を動画向き、静止画向きに調整
- ディテール：画像の輪郭強調の調整
- 白AGC：白レベル自動調整
- 白レベル：白色のレベル
- 黒レベル：黒色のレベル
- 黒セットアップ：黒色の浮きの補正
- 色あい：緑色と赤色のバランス
- 色の濃さ：色の濃さ

5 他の項目を調整するときは、調整したい項目を↑/↓で選び、←/→で調整する。
6 すべての設定が終わったら、真ん中を押しこんで決定する。

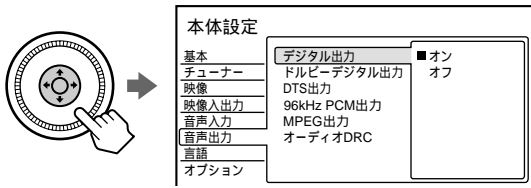
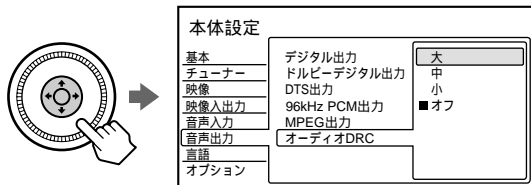
ちょっと一言
- チューナー入力や外部入力それぞれの録画の画質を設定することができます。

音の強弱の幅を調整する（オーディオDRC）

DVD-VIDEO

音量を下げて聞くときに、音の強弱の幅（ダイナミックレンジ）を調節して小さい音までよく聞こえるようにします。テレビの会話などが聞きづらいときや深夜に映画を見るときに便利です。

1 **設定/予約ボタンを押す。**
設定画面が表示されます。

2 **↑/↓で「本体設定」を選び、真ん中を押しこんで決定する。**
本体設定画面が表示されます。

3 ↑/↓で「音声出力」を選び、真ん中を押しこんで決定する。

音声出力の設定項目が表示されます。

4 ↑/↓で「オーディオDRC」を選び、真ん中を押しこんで決定する。

5 ↑/↓でオーディオDRCのレベルを選ぶ。

- 大：効果を最大にする
- 中：効果が得られる
- 小：効果を最小にする
- オフ：オーディオDRCの効果をなくす

6 真ん中を押しこんで決定する。

1つ前の画面に戻るには

リターンボタンを押します。

設定画面を消すには

設定/予約ボタンを押します。

ちょっと一言

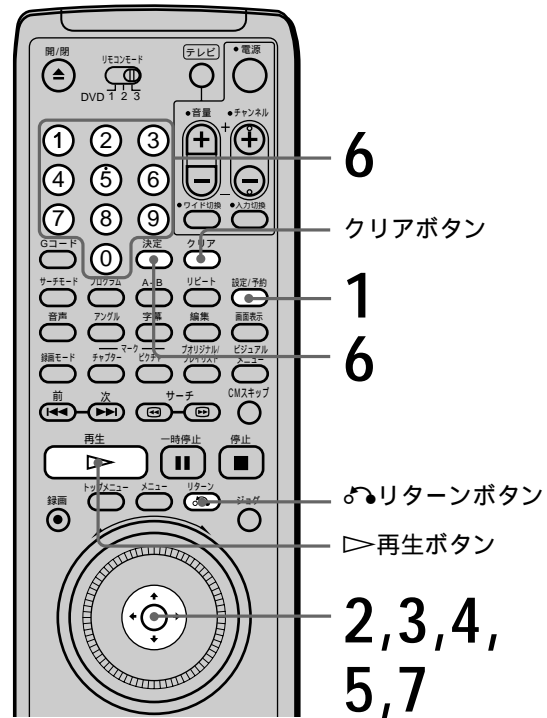
- この機能は、DRC機能のあるDVDビデオにのみ効果があります。

ご注意

- ディスクによっては、効果がわかりにくいことがあります。

ディスクの再生を制限する（視聴年齢制限）

DVD-VIDEO

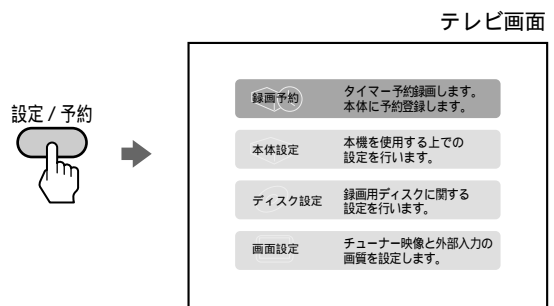
視聴年齢制限つきDVDの再生できるシーンを制限します。本機のレベルをディスクのレベルよりあらかじめ小さく設定しておくと、視聴を制限することができます。

1 停止中に設定/予約ボタンを押す。

設定画面が表示されます。

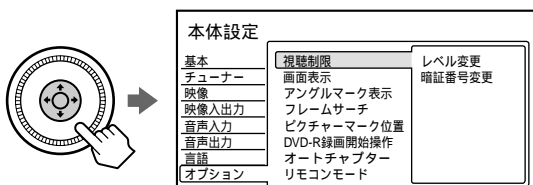
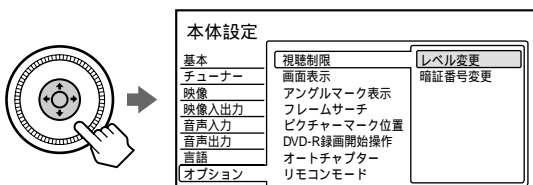
2 ↑/↓で「本体設定」を選び、真ん中を押しこんで決定する。

本体設定画面が表示されます。

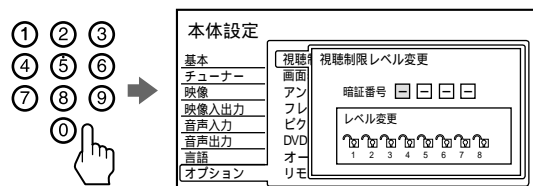
再生

次のページにつづく

ディスクの再生を制限する（つづき）

3 **↑/↓で「オプション」を選び、真ん中を押しこんで決定する。**

オプションの設定画面が表示されます。

4 **↑/↓で「視聴制限」を選び、真ん中を押しこんで決定する。**

5 **↑/↓で「レベル変更」を選び、真ん中を押しこんで決定する。**

暗証番号入力画面が表示されます。

6 **数字ボタンで4桁の暗証番号を入力し、決定ボタンを押す。**

- **暗証番号を間違えたとき**
  ←/→で選び、入力し直します。
- **暗証番号をはじめて入力するとき**
  入力した4桁の暗証番号が登録されます。
  登録した番号を控えておくと便利です。

7 **←/→で制限するレベルを選び、真ん中を押しこんで決定する。**

視聴年齢制限の設定が終了します。
レベルの数字が小さいほど制限が厳しくなります。

1つ前の画面に戻るには

リターンボタンを押します。

設定画面を消すには

設定/予約ボタンを押します。

暗証番号を変更するには

1. 手順**5**で「暗証番号変更」を選び、真ん中を押しこんで決定する。
   暗証番号入力画面が表示されます。
2. 数字ボタンで4桁の暗証番号を入力し、真ん中を押しこんで決定する。
3. 数字ボタンで新しい4桁の暗証番号を入力し、真ん中を押しこんで決定する。

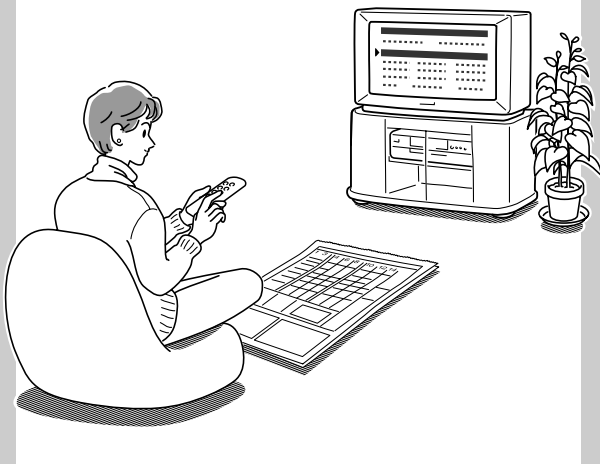
視聴年齢制限できるディスクを再生するとき

1. ディスクを入れて、再生▷ボタンを押す。
   視聴制限の暗証番号入力画面が表示されます。
2. 数字ボタンで4桁の暗証番号を入力し、真ん中を押しこんで決定する。
   再生が始まります。

ご注意

- 視聴年齢制限情報がないディスクは、本機で視聴制限をしても再生は制限されません。
- 暗証番号を忘れてしまったときは、本機のすべての設定をお買い上げ時の設定に戻して、設定し直してください（☛103ページ）。

録画・予約

ここでは、次のような録画と予約について説明します。
- テレビ番組などの録画
- 何時間後に録画を止めるかを決めるクイックタイマー
- テレビ画面を使う予約録画
- Gコードを使う予約録画
- ディスクに予約設定を記憶させる予約録画
- 別売りのチューナーとのシンクロ録画

録画・予約の前に必ずお読みください

ここでは、録画・予約を行うときに必要な情報について説明します。

録画するディスクの種類について

録画に使うディスクには、DVD-RWとDVD-Rがあります。DVD-RWディスクでは、VRモードかビデオモードで録画できます。
DVD-Rディスクでは、ビデオモードのみで録画できます。
それぞれ99タイトルまで作成できます。
VRモードまたはビデオモードの記録方式などについては、☞9ページをご覧ください。

DVD-RW/DVD-Rのビデオモードで録画するときのご注意

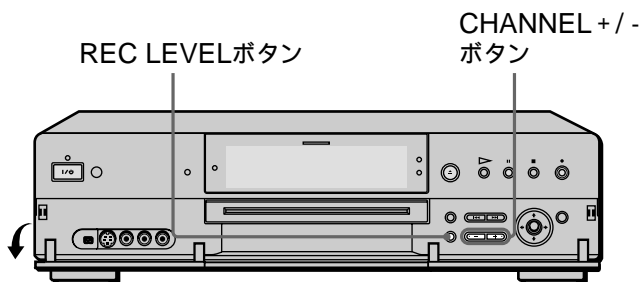
- DVD-RWのビデオモードで録画するときは、Ver 1.1以降のディスクを使用してください。
- ディスクの空き時間は録画するたびに減少します。ファイナライズをするまで残りの時間で追加録画することができますが、上書きすることはできません。
- DVD-RWディスクをビデオモードで録画するときは、ディスクを初期化して、あらかじめビデオモードに変更してください（☞100ページ）。
- 二カ国語放送の番組を録画する場合、あらかじめ音声の種類を設定してください（☞93ページ）。主音声または副音声のどちらかでしか記録できません。
- 録画中に停止■ボタンを押してもすぐには録画が止まらず、最大30秒録画が続くことがあります。

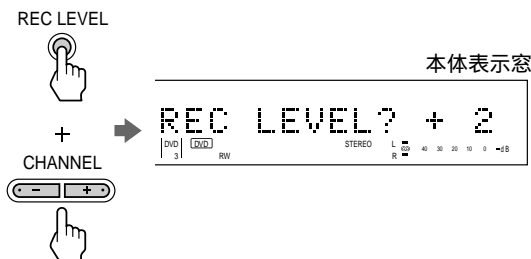
再生

録画・予約

次のページにつづく

音声レベルについて

録画や予約を始める前に、本体表示窓の音声レベルを確認してください。

REC LEVELボタンを押しながら、CHANNEL＋/−ボタンを押して、音声レベルを調整する。

音声レベルのピークが0dBを越えないように調整します。0dBを越えて右端が赤く点滅する場合は入力オーバーです。音声レベルを下げてください。

録画モードについて

録画モードを設定すると、ディスクへ録画できる時間や画質を設定できます。

DVD-RWのVRモードのとき

- SP（**標準モード**）
  ディスク1枚で約120分録画することができます。
- MN（**マニュアルモード**）
  録画レートレベルで、録画時間や画質を設定します。
  数値が大きい程、高画質で録画されます。
  数値が小さい程、長時間録画ができます。
  レベル6〜7、18〜19の間で画質が大きく変わります。

録画レート	録画時間
レベル1	360分
レベル2	345分
レベル3	330分
レベル4	315分
レベル5	300分
レベル6	285分
レベル7	270分
レベル8	255分
レベル9	240分
レベル10	230分
レベル11	220分
レベル12	210分
レベル13	200分
レベル14	190分
レベル15	180分
レベル16	170分
レベル17	160分

録画レート	録画時間
レベル18	150分
レベル19	140分
レベル20	130分
レベル21 SP（標準モード）に相当	120分
レベル22	110分
レベル23	105分
レベル24	100分
レベル25	95分
レベル26	90分
レベル27	85分
レベル28	80分
レベル29	75分
レベル30	70分
レベル31	65分
レベル32＊	61分

＊ レベル32に設定すると、音声がリニアPCMで記録されます（DV入力時は除く）。

DVD-RW/DVD-Rのビデオモードのとき

- V1
  V2より高画質で録画します。ディスク1枚で約60分録画することができます。
- V2
  ディスク1枚で約120分録画することができます。

ご注意

- VRモードとビデオモードを1枚のディスクに混在して録画することはできません。DVD-RWディスクでは、記録フォーマットを変えることができますが、それまでに録画された内容はすべて消去されます。
- 一部の録画レートレベルを除き、VBR（可変ビットレート）を使用するため、以下のようなときに画像によって録画時間が異なることがあります。ディスク1枚の録画時間は目安としてご覧ください。
  正確な録画時間は、録画終了後ディスク情報をご覧ください。
  – 受信状態の悪いテレビ放送など録画する画質が悪い場合
  – 編集したディスクで録画する場合
  – 静止画などの画像や、音声のみなどを録画し続けた場合
- ビデオモードとVRモードのMNのレベル32では（DV入力時を除く）2音声を記録できないため、本体設定の二カ国語時記録音声（☛93ページ）で録画する音声を設定します。この音声設定は、ディスクが本体に入っていると記録時のみでなく受信時の音声にも影響します。

録画できない映像について

- 「録画禁止」のコピー制御信号が含まれている映像は、録画することができません。
  例）DVDビデオ、CS放送のペイ・パー・ビューなど
- 録画中の映像の途中から「録画禁止」のコピー制御信号が入る場合、その時点で録画が一時停止されます。
  「録画禁止」信号がなくなると再び録画を開始します（「録画禁止」信号が入っている部分の映像は録画されません）。
  この様な場合は画面上に

録画禁止の映像がありました。 ディスクを取り出すと、この表示は消えます。

  と表示されます。一度ディスクを取り出して表示を消してください。
- 本機で「1回だけ録画可能」のコピー制御信号が含まれる映像を録画するには、DVD-RW Ver.1.1 CPRM対応のディスクを使用して、VRモードで録画してください。

ちょっと一言

- BSデジタル放送などの映像には「録画自由」「1回だけ録画可能」「録画禁止」の3種類のコピー制御信号が含まれています。
  本機では著作権保護を目的として、これらのコピー制御信号に対して以下の動作をします。

本機での録画の可否

	「録画自由」	「1回だけ録画可能」	「録画禁止」
DVD-RW Ver.1.0			
VRモード	○	×	×
DVD-RW Ver.1.1			
VRモード	○	×	×
ビデオモード	○	×	×
DVD-RW Ver.1.1 CPRM対応			
VRモード	○	○*	×
ビデオモード	○	×	×
DVD-R Ver.2.0			
ビデオモード	○	×	×

* ここで録画したタイトルを含むディスクは他のDVDプレイヤー（RW対応プレイヤーを含む）では再生できません。また、DVDレコーダーでも再生できないものがあります。

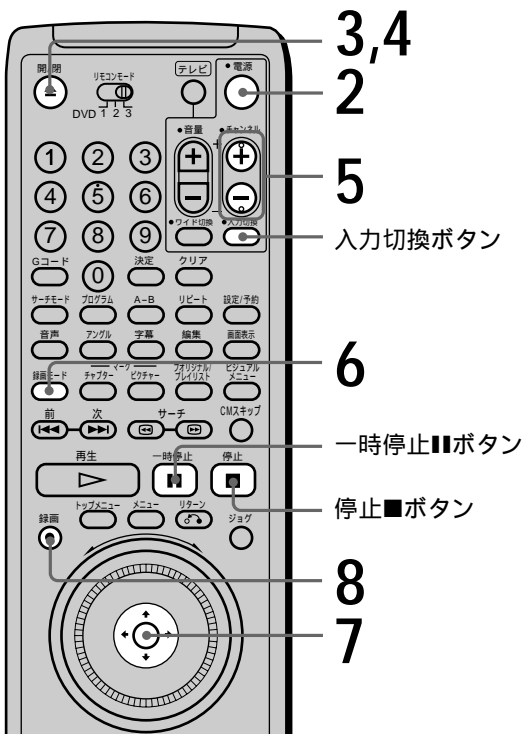
録画・予約

録画する

DVD-RW DVD-R

テレビで見ている番組を録画することができます。
録画の前に必ず「録画・予約の前に必ずお読みください」（☞37ページ）をお読みください。

録画を始める前に…

- ディスク情報（☞26ページ）で、ディスクに空き時間があるか確認してください。VRモードのときは、タイトルを消去すると空き時間を増やせます（☞71ページ）。
- 録画の音声レベル（☞38ページ）を確認してください。
- DVD-RWディスクはVRモードとビデオモードを混在して録画できないため、記録フォーマットを変えるときは、録画の前にディスクを初期化して（☞100ページ）変更してください。
- ビデオモードとVRモードのMNのレベル32では（DV入力時を除く）2音声を記録できません。二カ国語放送の番組を録画するときは、音声の種類（主音声か副音声）を設定してください（☞93ページ）。

1 **テレビの電源を入れ、本機をつないだ入力（「ビデオ」など）に切り換える。**

アンプを使うときは
アンプの電源を入れ、本機をつないだ入力に切り換えます。

2 **電源スイッチを押す。**

3 **開/閉⏏ボタンを押して、録画用のディスクを入れる。**

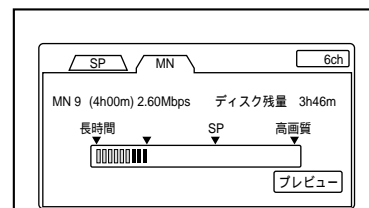
録画したい面を下にして置きます。

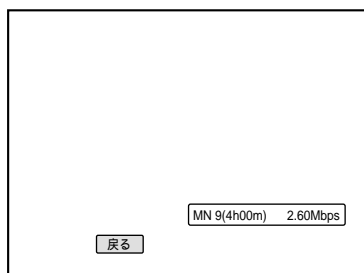
4 **開/閉⏏ボタンを押して、ディスクトレイを閉める。**

表示窓の「LOAD」が消えるまで待ちます。
一度も録画していないDVD-RWディスクを入れた場合、VRモードで自動的に初期化されます。

5 **チャンネル＋/－ボタンでチャンネルを選ぶ。**

6 **録画モードボタンで録画モードを選ぶ。**

VR**モードの**DVD-RW**の場合**
録画モードボタンを繰り返し押して、「SP」または「MN」を選んでください。「MN」を選んだときは、◆/◆で録画レートレベルを調整します。

ビデオモードのDVD-RW**および**DVD-R**の場合**
録画モードボタンを繰り返し押して「V1」または「V2」を選んでください。

どのような画質で録画されるか確認するときは、⬇で「プレビュー」を選び、決定します。

プレビューを終了するには、真ん中を押しこんで決定します。

7 **真ん中を押しこんで決定する。**

録画モードが設定されます。

8 **録画●ボタンを押す。**

DVD-RW**の場合**

テレビ画面に「録画」が表示され、録画を始めます。

DVD-R**の場合**

テレビ画面に「録画準備中です。」が表示されます。「録画ボタンを押してください。」が表示されたら、もう一度録画●ボタンを押してください。録画を始めます。

録画を停止するまで、またはディスクがいっぱいになるまで録画は続きます。

このあとテレビの電源を切っても、録画に影響はありません。

録画中に裏番組を見るには

テレビの入力を「テレビ」に切り換えて、テレビのチャンネルを選びます。録画に影響はありません。

録画を止めるには

停止■ボタンを押します。「しばらくお待ちください。」の表示が消えるまでお待ちください。

ビデオモードの場合、録画中に停止■ボタンを押してもすぐには録画が止まらず、最大30秒録画が続くことがあります。

録画を一時停止するには

一時停止❚❚ボタンを押します。もう一度ボタンを押すと一時停止は解除されます。

ちょっと一言

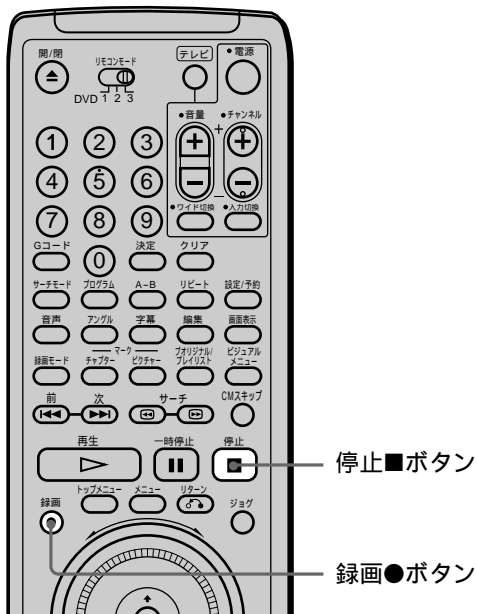
- 本機の入力端子につないだ機器から録画するときは、手順**5**で入力切換ボタンを押して「L1」、「L2」、「L3」、「DV」を選ぶこともできます。詳しくは、「他機をつないで行う操作」（☛80ページ）をご覧ください。
- DVD-Rディスクで録画を開始する操作は、本体設定の「DVD-R録画開始操作」（☛97ページ）で設定することができます。

ご注意

- DV入力の場合、録画モードをVRモードのMNのレベル1〜8に設定しても、レベル9で録画されます。

決めた時間だけ録画する（クイックタイマー）

DVD-RW DVD-R

録画中に、30分単位で録画を止めるまでの時間を決めることができます。急用で出かけるときや、眠くなったときに便利です。

録画中に録画●ボタンを繰り返し押して、録画を止めるまでの時間を選ぶ。
ボタンを押すたびに30分ずつ時間が増えます。時間は30分後（0h30m）から6時間（6h00m）後まで選べます。

0h00m → 0h30m → …… → 5h30m → 6h00m
（通常の録画）

指定した時間がたつと、自動的に録画が止まり電源が切れます。

クイックタイマーを解除するには

録画●ボタンを繰り返し押して、テレビ画面に「クイックタイマー0h00m」を表示します。停止■ボタンを押すまで録画が続きます。

録画を止めるまでの時間を変えるには

もう一度録画●ボタンを押してから、設定し直します。

途中で録画を止めるには

停止■ボタンを押します。

タイマーで予約する（本体予約）

DVD-RW DVD-R

1か月先までの番組や、毎日または毎週の番組を予約できます。Gコード予約（☞48ページ）と合わせ、8番組まで予約できます。

予約を始める前に…

- ディスク情報（☞26ページ）で、ディスクに空き時間があるか確認してください。VRモードのときは、タイトルを消去すると空き時間を増やせます（☞71ページ）。
- 録画の音声レベル（☞38ページ）を確認してください。
- DVD-RWディスクはVRモードとビデオモードを混在して録画できないため、記録フォーマットを変えるときは、録画の前にディスクを初期化して（☞100ページ）変更してください。
- ビデオモードとVRモードのMNのレベル32では（DV入力時を除く）2音声を記録できません。二カ国語放送の番組を録画するときは、音声の種類（主音声か副音声）を設定してください（☞93ページ）。

1 テレビの電源を入れ、本機をつないだ入力（「ビデオ」など）に切り換える。

アンプを使うときは

アンプの電源を入れ、本機をつないだ入力に切り換えます。

2 電源スイッチを押す。

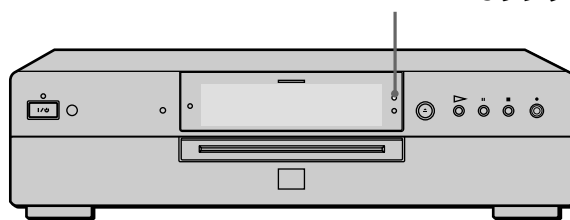
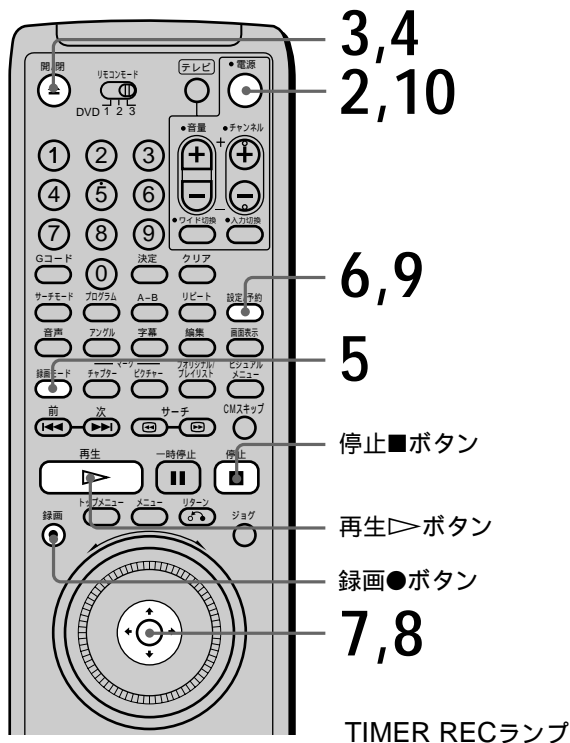
3 開/閉⏏ボタンを押して、録画用のディスクを入れる。

録画したい面を下にして置きます。

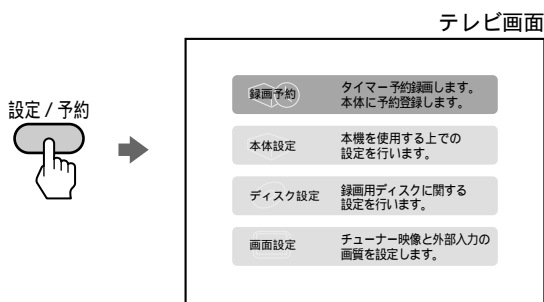
4 開/閉⏏ボタンを押して、ディスクトレイを閉める。

表示窓の「LOAD」が消えるまで待ちます。
一度も録画していないDVD-RWディスクを入れた場合、VRモードで自動的に初期化されます。

5 [ビデオモードのみ] 録画モードボタンを押して、録画モード（V1/V2）を選ぶ。

テレビ画面および本体表示窓に録画モードが表示されます。録画モードについては☞38ページをご覧ください。

- VRモードのときは
  手順**6**に進みます。

6 設定/予約ボタンを押す。

設定画面が表示されます。

7 ↑/↓で「録画予約」を選び、真ん中を押しこんで決定する。

本体予約画面が表示されます。

8 ←/↑/↓/→で日時とチャンネルを選ぶ。

予約設定（本体予約）
SP(2h00m) 現在のディスク残量 1h15m　確 認

	日付	開始	終了	CH	モード	確認結果
1▶	--/--	--:--	--:--	----	--	
2▷	--/--	--:--	--:--	----	--	
3▷	--/--	--:--	--:--	----	--	
4▷	--/--	--:--	--:--	----	--	
5▷	--/--	--:--	--:--	----	--	
6▷	--/--	--:--	--:--	----	--	
7▷	--/--	--:--	--:--	----	--	
8▷	--/--	--:--	--:--	----	--	

1. **↑/↓で予約を入れる行を選び、→を押す。**
2. **↑/↓で日付を選び、→を押す。**
   毎日または毎週同じ番組を予約するときは、↓を押して選びます。

   9/28（金）（今日）→ 毎日 → 月～土 → 月～金 → 毎土曜 →………→ 毎日曜 → 10/28（日）（1カ月先の日）→…… → 9/28（金）（今日）

   - **間違えたときは**
     ←を押して前の項目に戻ります。
   - **途中で止めるときは**
     設定/予約ボタンを押します。
3. **↑/↓で時刻を選び、→を押す。**
4. **↑/↓でチャンネルを選び、→を押す。**
   ↑を押すたびに以下のように切り換わります。

   VHF/UHFチャンネル（CH1、CH3、…）→ CATVチャンネル（C1、C3、…）→ BSチャンネル（BS1、BS3、…）→ L1 → L2 → L3 → DV

   - **本機の入力端子につないだ機器を予約するには**
     「L1」または「L2」、「L3」、「DV」を選びます。
5. **↑/↓で録画モード（SP/MN）を選び、→を押す。**
   [VRモードのとき]
   「MN」を選んだときは、↑/↓で「録画レートレベル」（☞38ページ）を設定します。
   録画モードについて詳しくは、「録画モードについて」（☞38ページ）をご覧ください。

   [ビデオモードのとき]
   SP/MNのどちらかを選んでください。
   ただし、手順**5**で選んだ録画モード（V1またはV2）で録画されます。
6. **真ん中を押しこんで決定する。**
   選んだ行に予約が入ります。
7. **続けて予約するときは、手順1～6を繰り返す。**

次のページにつづく

タイマーで予約する（つづき）

8 予約した番組がディスクに録画できるか確認するときは、↑を押して「確認」を選び、決定ボタンを押す。
録画可能かどうかが表示されます。詳しくは、次の「録画可能かどうか確認するには」をご覧ください。

9 設定/予約ボタンを押す。
本体予約画面が消えます。

10 電源スイッチを押し、電源を切る。
TIMER RECランプが点灯し、本機が予約待機になります。

予約録画中に録画を止めるには

TIMER RECランプが消えるまで、録画●ボタンを数秒間押します。ランプが消えたら停止■ボタンを押します。

予約録画を解除するには

録画の準備が始まって本機の電源が入る前に、電源スイッチを押してTIMER RECランプを消します。ディスクを取り出したり、再生▷ボタンを押しても本機に電源が入り、予約は解除されます。

予約録画を確認・変更・取り消すには

☞50ページをご覧ください。

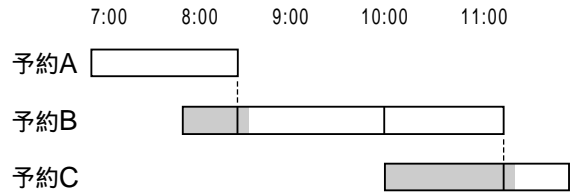
録画可能かどうか確認するには

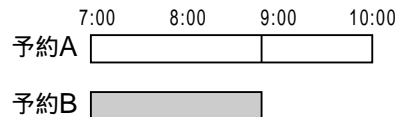
VRモードのとき、予約画面で設定した予約が録画できるかどうか確認ができます。
ビデオモードのときは確認できません。
確認結果の表示とその内容は以下のとおりです。
— 録画可能：録画できます
— 残量不足：ディスクの残量が足りないため、録画できません
— 予約重複：他の予約と重なっているため、録画できません
— **/**まで可：毎日や毎週で予約すると**/**まで録画できます（**/**には最大1ヶ月先までの日付が入ります）

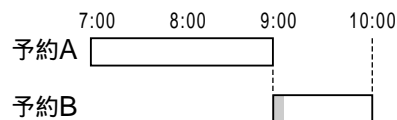
予約が重なったり連続したときは

先に始まる予約が優先されます。
▭で示した部分は録画しません。

予約の時間が重なっているとき

先に始まる予約が最後まで録画され、その後に重なっている次の予約が録画されます。

予約の開始時刻が同じとき

予約画面の上の行に設定された予約が優先されます。下の行の設定は予約録画されません。

予約の終了時刻と次の予約の開始時刻が同じとき

先に始まる予約の録画が終了した後、VRモードのときは約10秒後に、ビデオモードのときは最大30秒後に次の録画がはじまります。

ちょっと一言

- 次の日にまたがる番組は、開始する日付はそのままで終了時刻を合わせます。終了時刻は自動的に次の日付に設定されます。
- ディスクの空き時間不足で番組が録画しきれないとき、できるだけ多く録画できるように自動的に録画モードを切り換えることができます（ジャスト録画）（☞89ページ）。

ご注意

- 時計合わせが設定されていないと、予約録画を設定できません（☞別冊「接続と準備」の「手順9：時計を合わせる」）。
- ビデオモードのときは、録画モードボタンで選択した「V1」または「V2」モードで録画されます。
  予約設定の画面では録画モードの設定はできません。
- 録画の確認結果は、最大1か月先までしか計算しません。
- DV入力の場合、録画モードをVRモードのMNのレベル1〜8に設定できません。

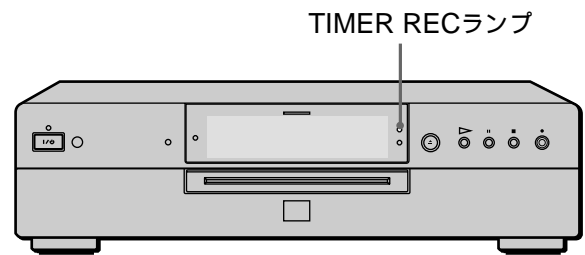
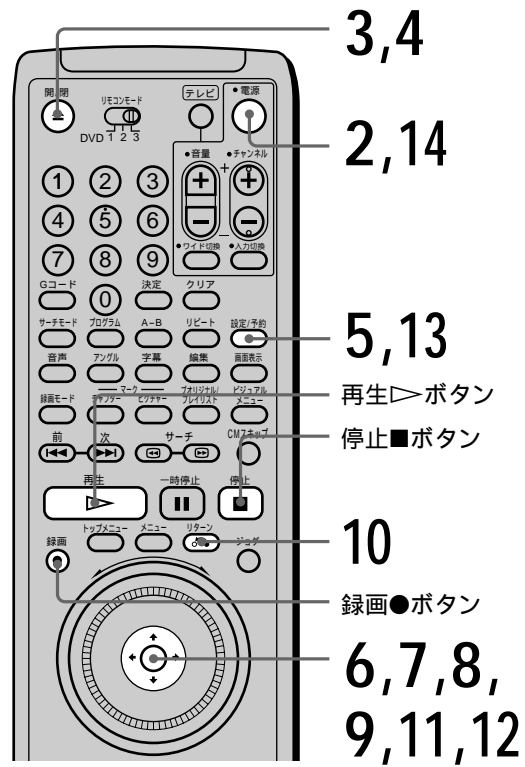
ディスク予約する

DVD-RW(VR)

本機にではなく、それぞれのディスクに予約を設定することができます。同じ番組を1枚のディスクに録画するときや、自分だけの専用ディスクとして予約録画するのに便利です。
ディスク1枚につき、Gコード予約（☞48ページ）と合わせて8番組まで予約できます。
1枚のディスクを本体予約とディスク予約に使用することはできないため、本体での予約録画に使用するディスクとは別に、ディスク予約用にVRモードのDVD-RWディスクを用意してください。
ビデオモードでディスク予約することはできません。

予約を始める前に…

- ディスク情報（☞26ページ）で、ディスクに空き時間があるか確認してください。VRモードのときは、タイトルを消去すると空き時間を増やせます（☞71ページ）。
- 録画の音声レベル（☞38ページ）を確認してください。
- DVD-RWディスクはVRモードとビデオモードを混在して録画できないため、記録フォーマットを変えるときは、録画の前にディスクを初期化して（☞100ページ）変更してください。
- ビデオモードとVRモードのMNのレベル32では（DV入力時を除く）2音声を記録できません。二カ国語放送の番組を録画するときは、音声の種類（主音声か副音声）を設定してください（☞93ページ）。

録画・予約

1 **テレビの電源を入れ、本機をつないだ入力（「ビデオ」など）に切り換える。**

アンプを使うときは
アンプの電源を入れ、本機をつないだ入力に切り換えます。

2 **電源スイッチを押す。**

3 **開/閉⏏ボタンを押して、録画用のディスクを入れる。**

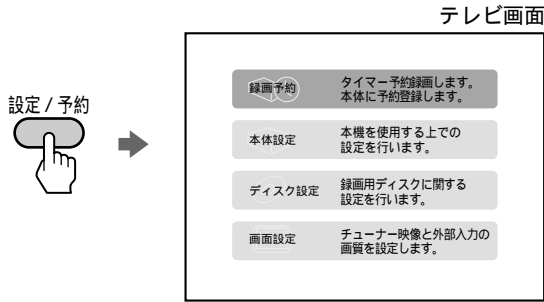
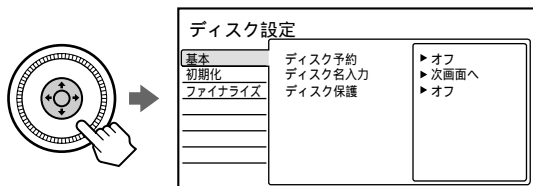
録画したい面を下にして置きます。

4 **開/閉⏏ボタンを押して、ディスクトレイを閉める。**

表示窓の「LOAD」が消えるまで待ちます。
一度も録画していないDVD-RWディスクを入れた場合、VRモードで自動的に初期化されます。

ディスク予約する（つづき）

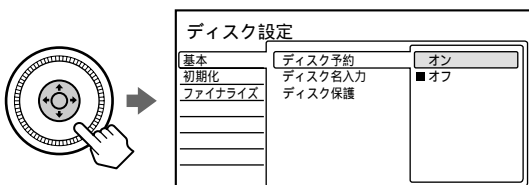
5 設定/予約ボタンを押す。

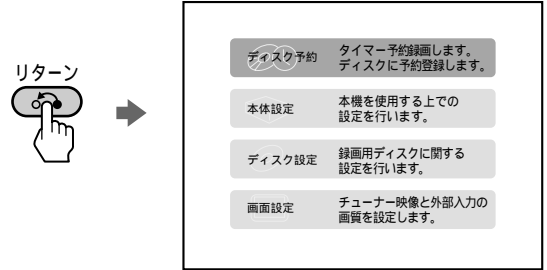
設定画面が表示されます。

6 ↑/↓で「ディスク設定」を選び、真ん中を押しこんで決定する。

ディスク設定画面が表示されます。

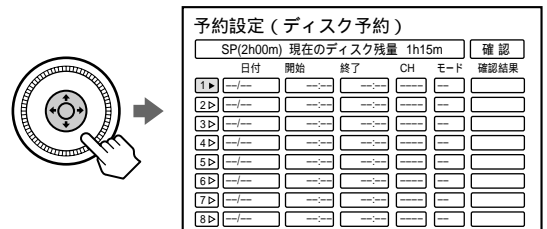
7 ↑/↓で「基本」を選び、真ん中を押しこんで決定する。

設定項目が表示されます。

8 ↑/↓で「ディスク予約」を選び、真ん中を押しこんで決定する。

9 ↑/↓で「オン」を選び、真ん中を押しこんで決定する。

10 リターンボタンを2回押す。

設定画面に戻ります。

11 ↑/↓で「ディスク予約」を選び、真ん中を押しこんで決定する。

ディスク予約画面が表示されます。

12 ←/↑/↓/→で日時とチャンネルを選ぶ。

1 ↑/↓で予約を入れる行を選び、→を押す。

2 ↑/↓で日付を選び、→を押す。

毎日または毎週同じ番組を予約するときは、↓を押して選びます。

9/28（金）（今日）→ 毎日 → 月～土 → 月～金 → 毎土曜 →………→ 毎日曜 → 10/28（日）（1カ月先の日）→…… → 9/28（金）（今日）

- **間違えたときは**
  ←を押して前の項目に戻ります。
- **途中でやめるときは**
  設定/予約ボタンを押します。

3 ↑/↓で時刻を選び、→を押す。

4 ↑/↓でチャンネルを選び、→を押す。

↑を押すたびに以下のように切り換わります。

VHF/UHFチャンネル（CH1、CH3、…）→ CATVチャンネル（C1、C3、…）→ BSチャンネル（BS1、BS3、…）→ L1 → L2 → L3 → DV

- **本機の入力端子につないだ機器を予約するには**
  「L1」または「L2」、「L3」、「DV」を選びます。

5 ↑/↓で録画モード（SP/MN）を選び、→を押す。

「MN」を選んだときは、↑/↓で「録画レートレベル」（☞38ページ）を設定します。録画モードについて詳しくは、「録画モードについて」（☞38ページ）をご覧ください。

6 真ん中を押しこんで決定する。

選んだ行に予約が入ります。

7 続けて予約するときは、手順1〜6を繰り返す。

8 予約した番組がディスクに録画できるか確認するときは、↑を押して「確認」を選び、真ん中を押しこんで決定する。

録画可能かどうかが表示されます。詳しくは、「録画可能かどうか確認する」（☞44ページ）をご覧ください。

13 設定/予約ボタンを押す。

ディスク予約画面が消えます。

14 電源スイッチを押し、電源を切る。

TIMER RECランプが点灯し、本機が予約待機になります。

予約録画中に録画を止めるには

TIMER RECランプが消えるまで、録画●ボタンを数秒間押します。ランプが消えたら停止■ボタンを押します。

予約録画を解除するには

録画の準備がはじまって本機の電源が入る前に、電源スイッチを押してTIMER RECランプを消します。ディスクを取り出したり、再生▷ボタンを押しても本機に電源が入り、予約は解除されます。

予約が重なったり連続したときは

先に始まる予約が優先されます。詳しくは☞44ページをご覧ください。

予約録画を確認・変更・取り消すには

☞50ページをご覧ください。

録画可能かどうか確認するには

☞44ページをご覧ください。

ちょっと一言

- ディスクに設定した予約がすべて終了したときにディスクを取り出すと、自動的にディスク予約は「オフ」になります。
- ディスク予約が「オフ」のとき、ディスク予約のあるディスクを入れると、自動的にディスク予約は「オン」になります。
- 次の日にまたがる番組は、開始する日付はそのままで終了時刻を合わせます。終了時刻は自動的に次の日に設定されます。

ご注意

- ディスク予約を「オフ」にすると、設定されたディスク予約はすべて消去されます。
- 時計合わせが設定されていないと、予約録画を設定できません（☞別冊「接続と準備」の「手順9：時計を合わせる」）。
- DV入力の場合、録画モードをVRモードのMNのレベル1〜8に設定できません。

Gコードで予約する

DVD-RW DVD-R

新聞や雑誌のテレビ欄に掲載されているGコードを使う予約録画です。予約したい番組の日時とチャンネルを自動的に設定できます。日時などを指定する予約と合わせて、8番組まで予約できます。
本体予約とディスク予約のいずれでも、Gコードを使った予約ができます。

予約を始める前に…

- ディスク情報（☞26ページ）で、ディスクに空き時間があるか確認してください。VRモードのときは、タイトルを消去すると空き時間を増やせます（☞71ページ）。
- 録画の音声レベル（☞38ページ）を確認してください。
- DVD-RWディスクはVRモードとビデオモードを混在して録画できないため、記録フォーマットを変えるときは、録画の前にディスクを初期化して（☞100ページ）変更してください。
- ビデオモードとVRモードのMNのレベル32では（DV入力時を除く）2音声を記録できません。二カ国語放送の番組を録画するときは、音声の種類（主音声か副音声）を設定してください（☞93ページ）。

3,4
2,11
7
クリアボタン
6
5,8
停止■ボタン
再生▷ボタン
録画●ボタン
9,10

TIMER RECランプ

1 **テレビの電源を入れ、本機をつないだ入力（「ビデオ」など）に切り換える。**

アンプを使うときは
アンプの電源を入れ、本機をつないだ入力に切り換えます。

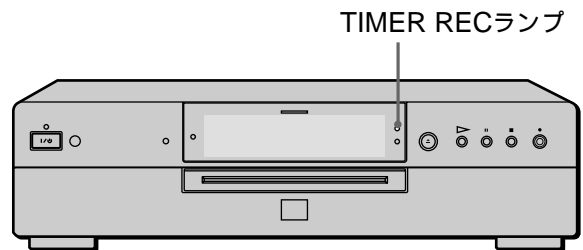
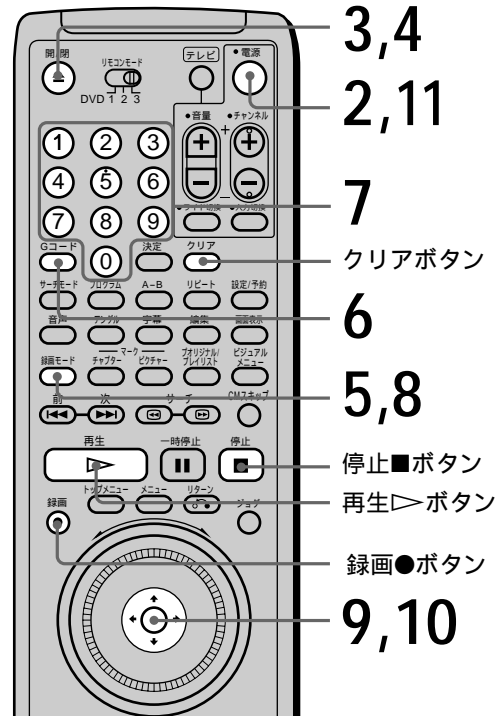
2 **電源スイッチを押す。**

3 **開/閉⏏ボタンを押して、録画用のディスクを入れる。**
録画したい面を下にして置きます。

4 **開/閉⏏ボタンを押して、ディスクトレイを閉める。**
表示窓の「LOAD」が消えるまで待ちます。
一度も録画していないDVD-RWディスクを入れた場合、VRモードで自動的に初期化されます。

5

[ビデオモードのみ]
録画モードボタンを押して、録画モード（V1/V2）を選ぶ。

テレビ画面および本体表示窓に録画モードが表示されます。録画モードについては☞38ページをご覧ください。

• VRモードのときは
手順**6**に進みます。

6

Gコードボタンを押す。

Gコード予約画面が表示されます。

7

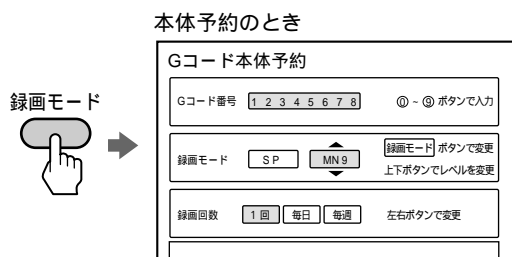
数字ボタンを押して、Gコードの番号を入れる。

• **間違えたときは**
クリアボタンを押すと1つ前の桁に戻ります。正しい番号を入れ直します。

• **途中で止めるときは**
Gコードボタンを押します。

8

[VRモードのときのみ]
録画モードボタンを押して録画モード（SP/MN）を選ぶ。

「MN」を選んだときは、↑/↓で「録画レートレベル」（☞38ページ）を設定します。
録画モードについて詳しくは、「録画モードについて」（☞38ページ）をご覧ください。

• ビデオモードのときは
手順**5**で選んだ録画モードになります。手順**9**に進みます。

9

←/→で録画回数（1回/毎日/毎週）を選ぶ。

10

真ん中を押しこんで決定する。

予約内容が表示されます。
約5秒後にGコード予約画面が消えます。

11

電源スイッチを押し、電源を切る。

TIMER RECランプが点灯し、本機が予約待機になります。

予約録画中に録画を止めるには

TIMER RECランプが消えるまで、録画●ボタンを数秒間押します。ランプが消えたら停止■ボタンを押します。

予約録画を解除するには

録画の準備がはじまって本機の電源が入る前に、電源スイッチを押してTIMER RECランプを消します。ディスクを取り出したり、再生▷ボタンを押しても本機に電源が入り、予約は解除されます。

予約録画を確認・変更・取り消すには

☞50ページをご覧ください。

録画可能かどうか確認するには

☞44ページをご覧ください。

予約が重なったり連続したときは

先に始まる予約が優先されます。詳しくは、☞44ページをご覧ください。

本機の入力端子につないだ機器をGコードで予約するには

「本機の入力端子につないだ機器をGコードで予約するには」（☞別冊「接続と準備」の「チャンネルを追加する・番号をテレビに合わせる」）にしたがって、つないだ機器のGコードを設定しておきます。

次のページにつづく

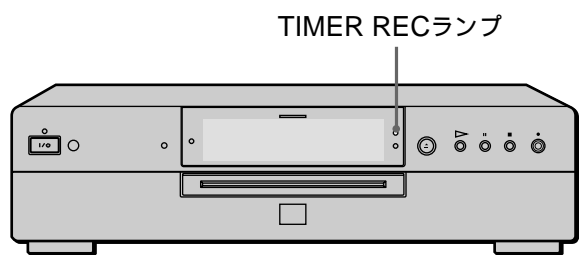
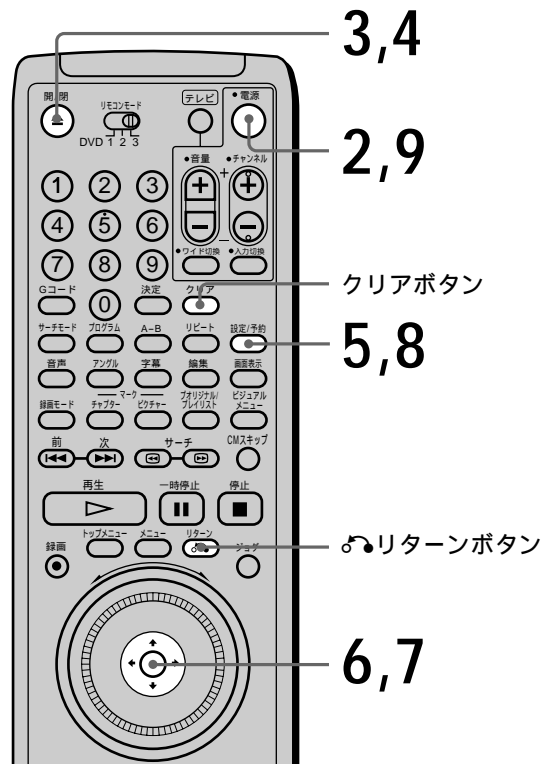
Gコードで予約する（つづき）

ご注意

- 時計合わせが設定されていないと、Gコード予約を設定できません（☞別冊「接続と準備」の「手順9：時計を合わせる」）。
- Gコード予約画面表示中、ボタン操作が5秒以上ない場合、自動的にGコード予約画面は消えます。
- ビデオモードのときは、録画モードボタンで選択した「V1」または「V2」モードで録画されます。Gコード予約画面では録画モードの選択はできません。
- DV入力の場合、録画モードをVRモードのMNのレベル1〜8に設定できません。

予約を確認・変更する・取り消す

DVD-RW DVD-R

テレビ画面を使って、本体予約やディスク予約で設定した予約の確認、変更、取り消しができます。

1 **テレビの電源を入れ、本機をつないだ入力（「ビデオ」など）に切り換える。**

アンプを使うときは

アンプの電源を入れ、本機をつないだ入力に切り換えます。

2 **電源スイッチを押す。**

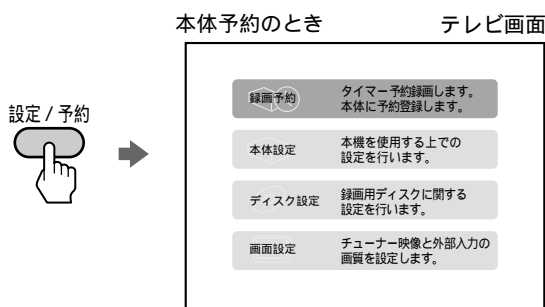
3 **開/閉⏏ボタンを押して、録画用のディスクを入れる。**

録画したい面を下にして置きます。

4 開/閉⏏ボタンを押して、ディスクトレイを閉める。

表示窓の「LOAD」が消えるまで待ちます。
一度も録画していないDVD-RWディスクを入れた場合、VRモードで自動的に初期化されます。

5 設定/予約ボタンを押す。

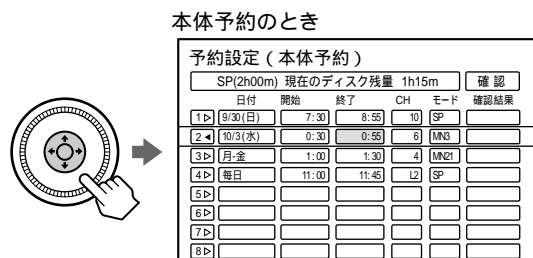
設定画面が表示されます。

6 ↑/↓で「録画予約」または「ディスク予約」を選び、真ん中を押しこんで決定する。

予約録画画面が表示されます。

本体予約のとき

予約設定（本体予約）

SP(2h00m) 現在のディスク残量 1h15m　確 認

	日付	開始	終了	CH	モード	確認結果
1 ▷	9/30(日)	7:30	8:55	10	SP	
2 ◀	10/3(水)	0:30	0:55	6	MN3	
3 ▷	月-金	1:00	1:30	4	MN21	
4 ▷	毎日	11:00	11:45	L2	SP	
5 ▷						
6 ▷						
7 ▷						
8 ▷						

7

- **予約を確認するには**
  予約の内容がテレビ画面に表示されています。

- **予約を変更するには**
  1 ↑/↓で変更する予約内容を選ぶ。

本体予約のとき

予約設定（本体予約）

現在のディスク空き時間　SP　2h00n　確 認

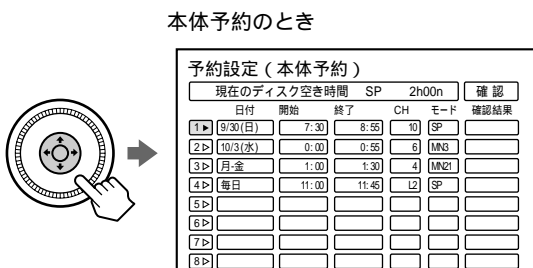
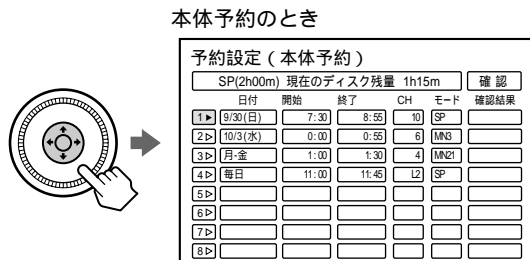
	日付	開始	終了	CH	モード	確認結果
1 ▶	9/30(日)	7:30	8:55	10	SP	
2 ▷	10/3(水)	0:00	0:55	6	MN3	
3 ▷	月-金	1:00	1:30	4	MN21	
4 ▷	毎日	11:00	11:45	L2	SP	
5 ▷						
6 ▷						
7 ▷						
8 ▷						

2 ←/→で変えたい項目を選び、↑/↓で変更する。

本体予約のとき

予約設定（本体予約）

SP(2h00m) 現在のディスク残量 1h15m　確 認

	日付	開始	終了	CH	モード	確認結果
1 ▶	9/30(日)	7:30	8:55	10	SP	
2 ▷	10/3(水)	0:00	0:55	6	MN3	
3 ▷	月-金	1:00	1:30	4	MN21	
4 ▷	毎日	11:00	11:45	L2	SP	
5 ▷						
6 ▷						
7 ▷						
8 ▷						

ビデオモードの録画モード変更は予約画面を終了した後、録画モードボタンを押して設定してください。

3 真ん中を押しこんで決定する。

- **予約を取り消すには**
  ↑/↓で取り消す内容を選び、クリアボタンを押す。
  続けて別の予約を変更または取り消すときは、手順**7**を繰り返します。
- 予約を変更した場合に、録画可能かどうか確認するには、☞44ページをご覧ください。

8 設定/予約ボタンを押す。

設定画面が消えます。

9 電源スイッチを押し、電源を切る。

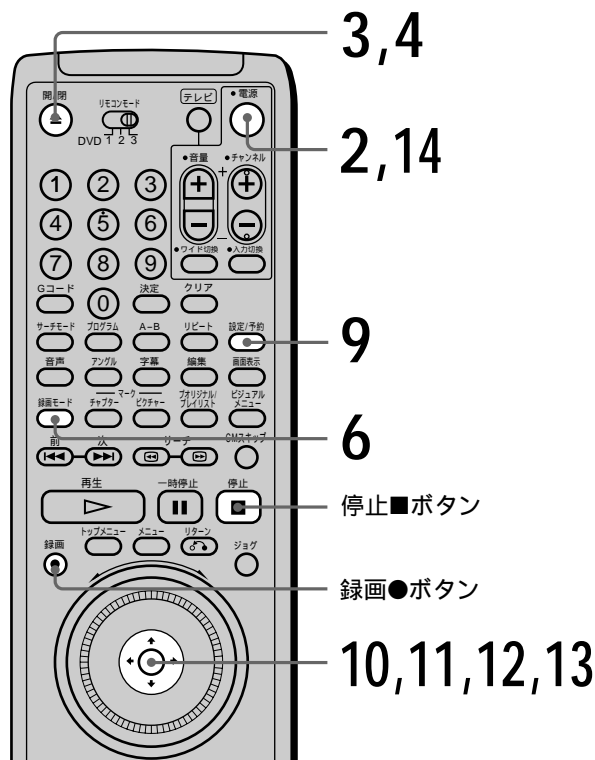
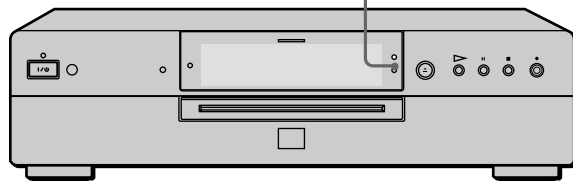
TIMER RECランプが点灯し、本機が予約待機になります。

別売りのチューナーから録画する（シンクロ録画）

DVD-RW DVD-R

別売りの番組予約機能の付いたチューナー（BSデジタルチューナー、デジタルCSチューナー、CATVチューナーなど）をつなぐと、チューナーの電源と連動させて予約録画ができます。別売りのチューナーは、必ず本機の入力2端子につないでください（☛別冊「接続と準備」の「デジタルBSやCSチューナーをつなぐ」または「手順**4**：BSアンテナをつなぐ」）。予約開始時刻にチューナーの電源が入ると、本機が感知し、自動的にビデオ入力「L2」の録画が始まります。

予約を始める前に…

- ディスク情報（☛26ページ）で、ディスクに空き時間があるか確認してください。VRモードのときは、タイトルを消去すると空き時間を増やせます（☛71ページ）。
- 録画の音声レベル（☛38ページ）を確認してください。
- DVD-RWディスクはVRモードとビデオモードを混在して録画できないため、記録フォーマットを変えるときは、録画の前にディスクを初期化して（☛100ページ）変更してください。
- ビデオモードとVRモードのMNのレベル32では（DV入力時を除く）2音声を記録できません。二カ国語放送の番組を録画するときは、音声の種類（主音声か副音声）を設定してください（☛93ページ）。

1 **テレビの電源を入れ、本機をつないだ入力（「ビデオ」など）に切り換える。**

アンプを使うときは

アンプの電源を入れ、本機をつないだ入力に切り換えます。

2 **電源スイッチを押す。**

3 **開/閉⏏ボタンを押して、録画用のディスクを入れる。**

録画したい面を下にして置きます。

4 **開/閉⏏ボタンを押して、ディスクテーブルを閉める。**

表示窓の「LOAD」が消えるまで待ちます。
一度も録画していないDVD-RWディスクを入れた場合、VRモードで自動的に初期化されます。

5 **外部入力の音声を選ぶ。**

二カ国語放送番組を録画する場合、外部音声として「二カ国語」を選びます（「録画時の音声に関する設定」☞93ページ）。

6 **録画モードボタンで録画モードを選ぶ。**

テレビ画面および本体表示窓に録画モードが表示されます。詳しくは、「録画モードについて」（☞38ページ）をご覧ください。

VR**モードの場合**

「SP」または「MN」を選びます。

「MN」を選んだときは、↑/↓で「録画レートレベル」（☞38ページ）を設定します。

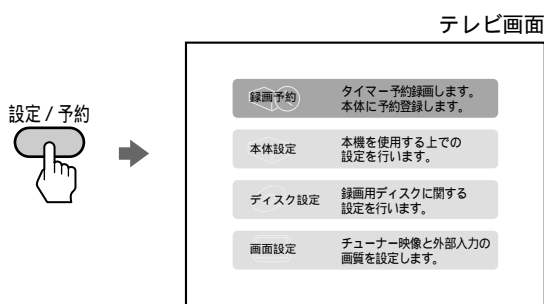
ビデオモードのとき

「V1」または「V2」を選びます。

7 **つないだチューナーで番組予約をする。**

8 **チューナーの電源を切る。**

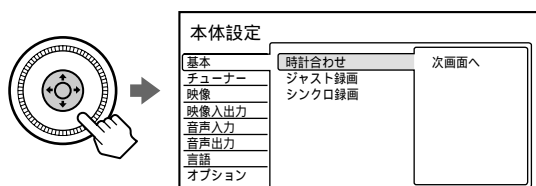
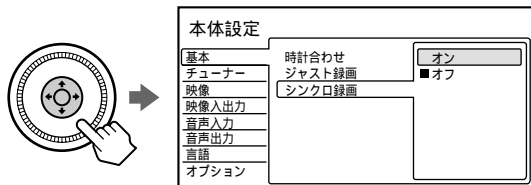
9 **設定/予約ボタンを押す。**

設定画面が表示されます。

10 **↑/↓で「本体設定」を選び、真ん中を押しこんで決定する。**

設定項目が表示されます。

11 **↑/↓で「基本」を選び、真ん中を押しこんで決定する。**

基本設定の選択項目が表示されます。

本体設定
基本
チューナー
映像
映像入出力
音声入力
音声出力
言語
オプション
時計合わせ
ジャスト録画
シンクロ録画
次画面へ

12 **↑/↓で「シンクロ録画」を選び、真ん中を押しこんで決定する。**

13 **↑/↓で「オン」を選び、真ん中を押しこんで決定する。**

14 **電源スイッチを押し、電源を切る。**

SYNCHRO RECランプが点灯し、本機はシンクロ録画予約待機になります。

チューナーの電源が入ると、録画が自動的にはじまり、チューナーの電源が切れると、録画は自動的に止まります。

シンクロ録画中に録画を止めるには

SYNCHRO RECランプが消えるまで、録画●ボタンを数秒間押します。ランプが消えたら停止■ボタンを押します。

シンクロ録画予約待機を解除するには

録画がはじまる前に、電源スイッチを押して本機の電源を入れ、本機のSYNCHRO RECランプを消灯させ、手順**13**で「シンクロ録画」を「オフ」にします。

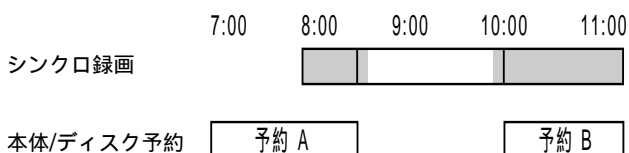
次のページにつづく

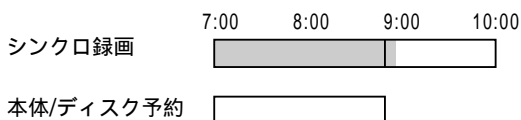
別売りのチューナーから録画する（つづき）

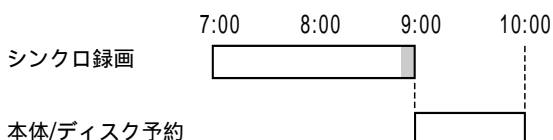
シンクロ録画と本機の予約が重なったときは

本体予約やディスク予約の設定が優先されます。
で示した部分は録画しません。

シンクロ録画の予約時間に本体予約やディスク予約が重なっているとき

本体予約やディスク予約が終わってからシンクロ録画が開始されます。またシンクロ録画中に本体予約やディスク予約が開始されると、予約開始時間の約2分前にシンクロ録画は停止されます。

予約開始が同じとき

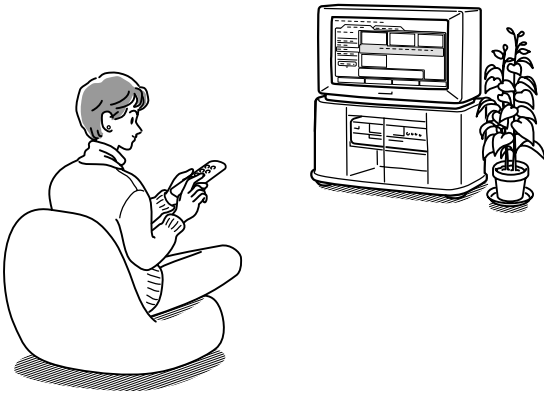
本体予約やディスク予約が終わってからシンクロ録画が開始されます。

シンクロ録画の終了時刻と本体予約やディスク予約の開始時刻が同じとき

本体予約やディスク予約が開始される約2分前にシンクロ録画は停止されます。

ご注意

- シンクロ録画中は、通常の録画やワンタッチ録画など、他の操作はできません。
- チューナーからの映像信号を確認してから電源が入るため、番組の冒頭部分が録画されないことがあります。
- 「録画禁止」のコピー制御信号が含まれている番組は録画できません。また、「1回だけ録画可能」のコピー制御信号が含まれている番組を録画するには、DVD-RW Ver.1.1 CPRM対応のディスクを使用して、VRモードで録画してください。
  詳しくは、「録画できない画像について」（☞39ページ）をご覧ください。
- ビデオマウス付チューナーをつないだ場合、本機のシンクロ録画を使うときは、ビデオマウスを使わないでください。
- シンクロ録画予約待機中は、ジャストクロックは働きません。
- 本機のSYNCHRO RECランプが点灯中に、つないだチューナーの電源を入れると、録画が始まります。
  シンクロ録画予約待機中にチューナーを使う場合は、シンクロ録画の設定を解除してください。

編集

ここでは、いろいろな編集のしかたについて説明します。
録画したオリジナルのタイトルからプレイリストを作成したり、録画したタイトルを消去してディスクの空き容量を増やしたりすることができます。

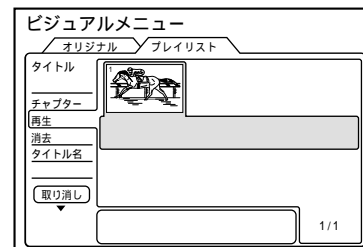
- VRモードの場合、プレイリストとオリジナルでのさまざまな編集ができます。
- ビデオモードの場合、タイトル名の変更やタイトルの消去ができます。

編集について

ここでは、編集するときに必要な情報について説明します。
VRモードとビデオモードでは、編集できる内容が異なります。

VRモードで編集する DVD-RW(VR)

（オリジナルとプレイリスト）

VRモードの編集には、プレイリストとオリジナルの2つの方法があります。

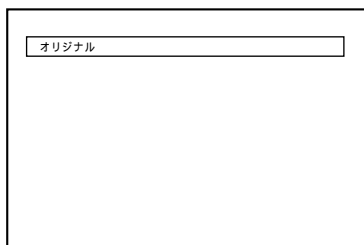
- **プレイリストとは**
  実際に録画した映像から編集して作るタイトルです。オリジナルのタイトルはそのままで、再生順をコントロールするための情報だけを記録します。そのため、プレイリストの映像を消去してもオリジナルの映像はなくなりませんし、少ないディスクスペースで編集を楽しむことができます。

プレイリストでは以下のような編集ができます。
－タイトルの作成（☞57ページ）
－タイトルのコピー（☞60ページ）
－シーンの追加（☞58ページ）
－タイトルに名前をつける（☞61ページ）
－タイトルの消去（☞62ページ）
－タイトル内のシーンの消去（☞63ページ）
－チャプターの消去（☞65ページ）
－チャプターの結合（☞66ページ）
－チャプターの移動（☞67ページ）
－タイトルの移動（☞68ページ）

次のページにつづく

- **オリジナルとは**
  実際に録画した映像です。オリジナルのタイトルを消去すると、ディスクの空き容量が増えます。オリジナルのタイトルを消去すると、その映像をもとに作ったプレイリストにも影響します。

オリジナルでは以下のような編集ができます。
ータイトルに名前をつける（☞69ページ）
ータイトルの保護（☞70ページ）
ータイトルの消去（☞71ページ）
ーすべてのタイトルを一度に消去（☞72ページ）
ータイトル内のシーンの消去（☞73ページ）
ーチャプターの消去（☞75ページ）
ーチャプターの結合（☞74ページ）

プレイリストとオリジナルを切り換えるには

オリジナル/プレイリストボタンを押します。
電源が入っている状態でオリジナル/プレイリストボタンを押すと、テレビ画面に「オリジナル」（オリジナルの操作状態）か「プレイリスト」（プレイリストの操作状態）が表示されます。

ビジュアルメニュー画面でオリジナル/プレイリストボタンを押すと、「オリジナル」と「プレイリスト」表示が切り換わります。「オリジナル」には、オリジナルタイトルが一覧で表示されます。「プレイリスト」には、プレイリストタイトルが一覧で表示されます。

ビデオモードで編集する

DVD-RW（VIDEO） **DVD-R**

ビデオモードでは、次の編集操作ができます。ただし、ファイナライズ（☞101ページ）を行ったディスクは編集できません。ビデオモードには、プレイリストはありません。

- タイトル名の変更（☞76ページ）
- タイトルの消去（☞77ページ）

プレイリストを作成する

プレイリストで編集するには、オリジナルタイトルからプレイリストを作成します。プレイリストは99タイトルまで作成することができます。

オリジナルのタイトルから作る

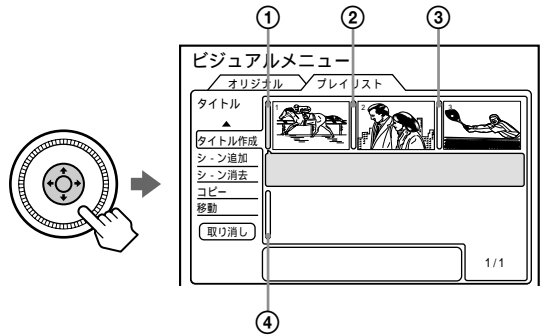
DVD-RW(VR)

オリジナルをタイトル単位で選び、新しいプレイリストを作成します。

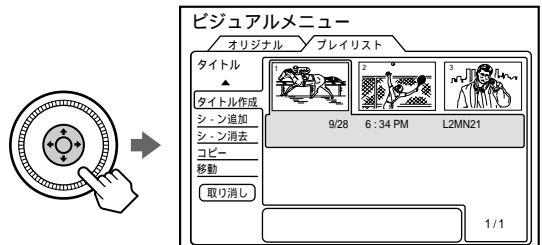
1 編集ボタンを押して、プレイリストの編集画面を表示させる。

オリジナルの編集画面が表示されたら、オリジナル/プレイリストボタンを押して、切り換えます。

テレビ画面

2 ←/↑/↓で「タイトル作成」を選び、真ん中を押しこんで決定する。

①「タイトル1」の前に新しいタイトルとして追加
②「タイトル1」と「タイトル2」の間に新しいタイトルとして追加
③「タイトル2」と「タイトル3」の間に新しいタイトルとして追加
④「タイトル3」の後に新しいタイトルとして追加

3 ←/↑/↓/→で追加したい位置を選び、真ん中を押しこんで決定する。

プレイリストが1つもない場合、位置を選ぶ必要はありません。そのまま決定します。

4 ←/↑/↓/→でオリジナルのタイトルを選び、真ん中を押しこんで決定する。

1つ前の画面に戻るには

リターンボタンを押します。

編集画面を消すには

ビジュアルメニューボタンを押します。

ちょっと一言

- 編集操作を取り消すことができます（☞78ページ）。

次のページにつづく

編集

プレイリストを作成する（つづき）

オリジナルの一部から作る（シーン追加）

DVD-RW（VR）

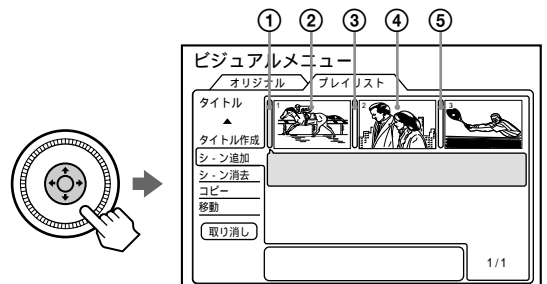
オリジナルから指定した範囲（A-B間）を選び、新しいプレイリストを作成します。
オリジナルの範囲は、連続するタイトルをまたいで指定することもできます。

1 編集ボタンを押して、プレイリストの編集画面を表示させる。

オリジナルの編集画面が表示されたら、オリジナル/プレイリストボタンを押して、切り換えます。

テレビ画面

2 ←/↑/↓で「シーン追加」を選び、真ん中を押しこんで決定する。

「シーン追加」の編集画面が表示されます。

①「タイトル1」の前に新しいタイトルとして追加
②「タイトル1」の最後に、新しいチャプターとして追加
③「タイトル1」と「タイトル2」の間に新しいチャプターとして追加
④「タイトル2」の最後に新しいチャプターとして追加
⑤「タイトル2」と「タイトル3」の間に新しいチャプターとして追加

3 ←/↑/↓/→で追加する位置を選び、真ん中を押しこんで決定する。

プレイリストが1つもない場合、位置を選ぶ必要はありません。そのまま決定します。

4 前⏮/次⏭ボタンで追加したいシーンのあるオリジナルのタイトルを選び、再生▷ボタンを押す。

選んだオリジナルのタイトルを再生します。

5 オリジナルのコピー開始場面を選び、決定ボタンを押す。

6 終了場面を選び、真ん中を押しこんで決定する。

「確定」が選ばれます。

開始場面や終了場面を変更するには、←/↑/↓/→で開始場面または終了場面を選び、手順**4**から繰り返します。

7 もう一度決定する。

同じタイトル内の別のシーンを追加するには、手順**4**から繰り返します。

1つ前の画面に戻るには

リターンボタンを押します。

編集画面を消すには

ビジュアルメニューボタンを押します。

ちょっと一言

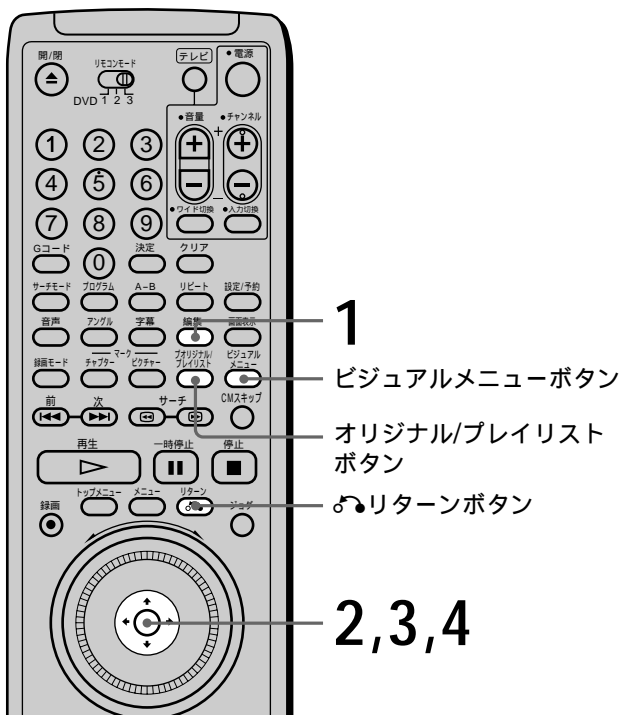
- 編集操作を取り消すことができます（☞78ページ）。

ご注意

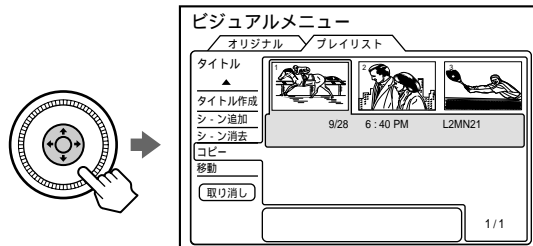
- 編集作業で消去や追加、移動した場面では、一瞬ポーズが入ったように見えることがあります。

次のページにつづく

既存のプレイリストをコピーして作る DVD-RW（VR）

プレイリストをタイトル単位でコピーして、新しいプレイリストを作成します。既存のプレイリストと少し違うものを作るときに利用すると便利です。

1 **編集ボタンを押して、プレイリストの編集画面を表示させる。**
オリジナルの編集画面が表示されたら、オリジナル/プレイリストボタンを押して、切り換えます。

テレビ画面

2 **←/↑/↓で「コピー」を選び、真ん中を押しこんで決定する。**

3 **←/↑/↓/→でコピーするプレイリストのタイトルを選び、真ん中を押しこんで決定する。**

①「タイトル1」の前に新しいタイトルとして追加
②「タイトル1」と「タイトル2」の間に新しいタイトルとして追加
③「タイトル2」と「タイトル3」の間に新しいタイトルとして追加

4 **←/↑/↓/→で作る位置を選び、真ん中を押しこんで決定する。**

1つ前の画面に戻るには

リターンボタンを押します。

編集画面を消すには

ビジュアルメニューボタンを押します。

ちょっと一言

• 編集操作を取り消すことができます（☞78ページ）。

プレイリストを編集する

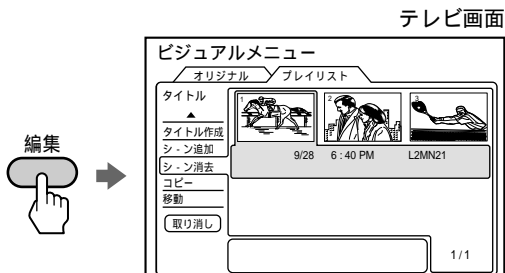
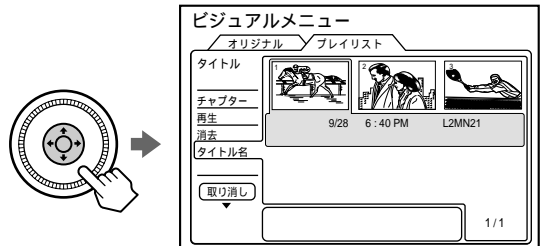
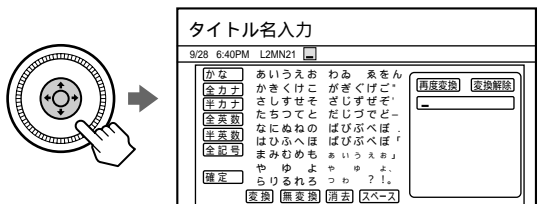
作成したプレイリストを編集します。
場面の追加や移動、消去を行っても、オリジナルのタイトルには影響しません。

タイトル名を入力・変更する

DVD-RW(VR)

プレイリストのタイトル名を入力・変更します。
本機で入力できる文字数は、最大全角32文字、半角64文字までです。

1 **編集ボタンを押して、プレイリストの編集画面を表示させる。**
オリジナルの編集画面が表示されたら、オリジナル/プレイリストボタンを押して、切り換えます。

テレビ画面

2 **←/↑/↓で「タイトル名」を選び、真ん中を押しこんで決定する。**

3 **←/↑/↓/→で名前を入力・変更したいタイトルを選び、真ん中を押しこんで決定する。**
タイトル名入力画面が表示されます。

4 **←/↑/↓/→で新しいタイトル名を入力・変更し、真ん中を押しこんで決定する。**
詳しくは、次の☞「文字の入力のしかた」をご覧ください。

1つ前の画面に戻るには

リターンボタンを押します。

編集画面を消すには

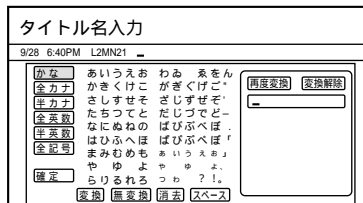
ビジュアルメニューボタンを押します。

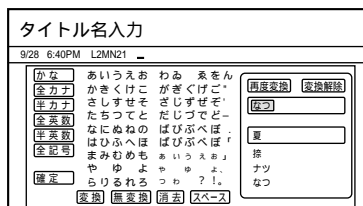
編集

次のページにつづく

文字の入力のしかた

ディスク名やタイトル名の入力、変更をするときの操作は次のとおりです。

1 ←/↑/↓/→で文字の種類を切り換える。
「かな」、「全カナ」、「半カナ」、「全英数」、「半英数」、「全記号」が選べます。

2 ←/↑/↓/→で文字や動作を選び、真ん中を押しこんで決定する。
文字を消去するときは「消去」、スペースを入力するときは「スペース」を選びます。
手順**1**で「かな」を選んだ場合、右側に入力した文字が表示されます。漢字変換するときは「変換」、漢字変換しないときは「無変換」を選びます。

- 漢字変換するとき
  ←/↑/↓/→で「変換」を選び、決定すると、対応する漢字のリストが表示されます。↑/↓で漢字を選び、決定します。

- 漢字変換がうまくできないとき
  漢字変換する文字の範囲を変えて、目的の漢字に変換します。
  ←/→で変換するひらがなの範囲を選択して、「再度変換」を選び、決定します。
- 漢字変換をやめるとき
  「変換解除」を選んで、決定します。

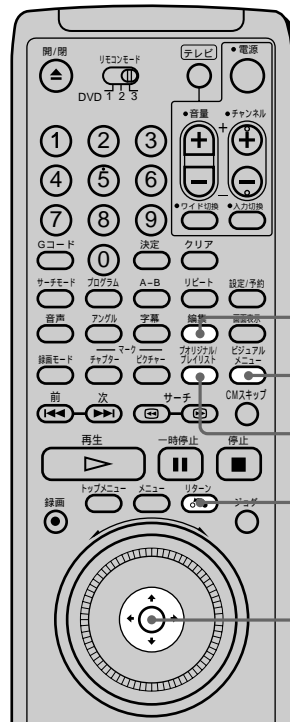
3 手順**1**〜**2**を繰り返し、入力する。

4 ←/↑/↓/→で「確定」を選び、真ん中を押しこんで決定する。

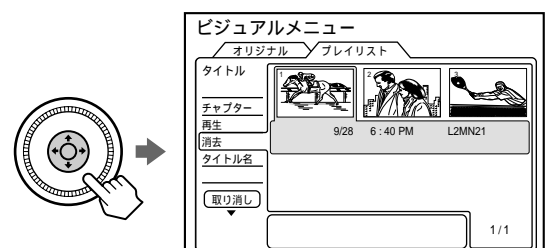
ちょっと一言

- 編集操作を取り消すことができます（☞78ページ）。

タイトルを消去する DVD-RW(VR)

プレイリストをタイトルごと消去します。オリジナルには影響ありません。

1 編集ボタンを押して、プレイリストの編集画面を表示させる。
オリジナルの編集画面が表示されたら、オリジナル/プレイリストボタンを押して、切り換えます。

テレビ画面

2 ←/↑/↓で「消去」を選び、真ん中を押しこんで決定する。

3 **←/↑/↓/→で消去するタイトルを選び、決定ボタンを押す。**

選択したタイトルが消去されます。

1つ前の画面に戻るには

リターンボタンを押します。

編集画面を消すには

ビジュアルメニューボタンを押します。

ちょっと一言

- 編集操作を取り消すことができます（☞78ページ）。

選んだ場面を消去する（シーン消去）

DVD-RW（VR）

プレイリストのタイトルから選んだ場面を消去します。

シーンを消去したところでチャプターが自動的に区切られます。

1 **編集ボタンを押して、プレイリストの編集画面を表示させる。**

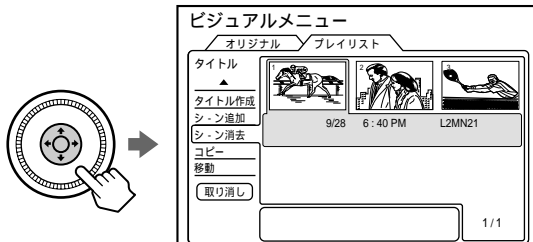
オリジナルの編集画面が表示されたら、オリジナル/プレイリストボタンを押して、切り換えます。

テレビ画面

編集

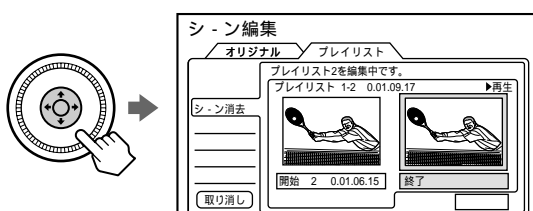
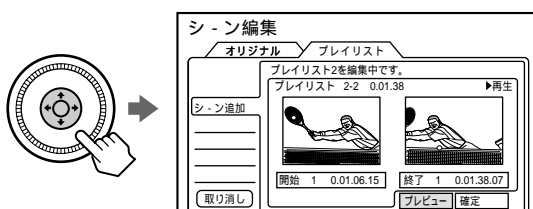
次のページにつづく

プレイリストを編集する（つづき）

2 **←/↑/↓で「シーン消去」を選び、真ん中を押しこんで決定する。**

3 **←/↑/↓/→で編集するタイトルを選び、真ん中を押しこんで決定する。**

4 **再生▷ボタンを押す。**

前⏮/次⏭ボタンやクリックシャトルで場面を探すことができます。

5 **消去開始場面で真ん中を押しこんで決定する。**

6 **消去終了場面で真ん中を押しこんで決定する。**

7 **←/→で「プレビュー」を選び、真ん中を押しこんで決定する。**

消去後の映像を確認します。消去指定範囲の前後約3秒間が再生されます。
開始場面や終了場面を変更するには、←/↑/↓/→で開始場面または終了場面を選び、手順**4**から繰り返します。

8 **←/→で「確定」を選び、真ん中を押しこんで決定する。**

選んだ場面を消去します。
同じタイトル内の別のシーンを消去するには、手順**4**から繰り返します。

1つ前の画面に戻るには

↩リターンボタンを押します。

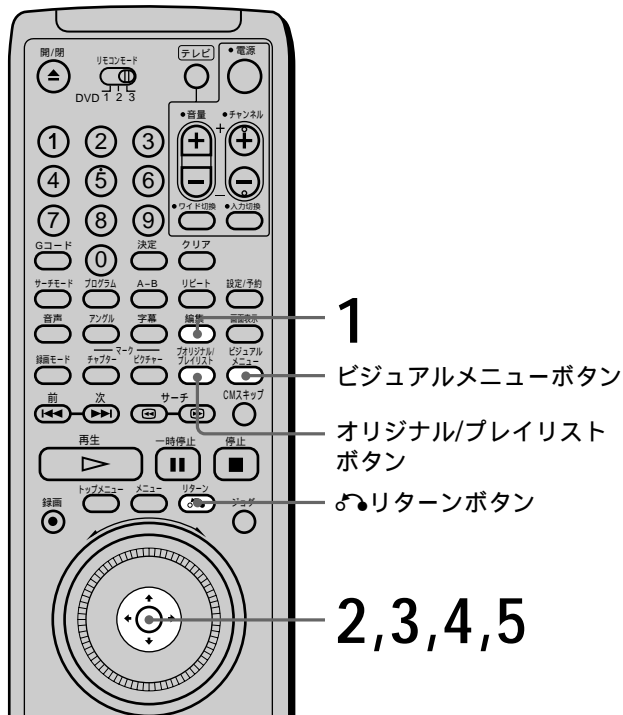
編集画面を消すには

ビジュアルメニューボタンを押します。

ちょっと一言

- 編集操作を取り消すことができます（☞78ページ）。

チャプターを消去する DVD-RW(VR)

プレイリストをチャプターごとに消去します。オリジナルのタイトルやチャプターには影響ありません。

1 **編集ボタンを押して、プレイリストの編集画面を表示させる。**
オリジナルの編集画面が表示されたら、オリジナル/プレイリストボタンを押して、切り換えます。

テレビ画面

2 **←/↑/↓で「チャプター」を選び、真ん中を押しこんで決定する。**

3 **←/↑/↓/→で消去するチャプターが入っているタイトルを選び、真ん中を押しこんで決定する。**

4 **←/↑/↓で「消去」を選び、真ん中を押しこんで決定する。**

5 **←/↑/↓/→で消去するチャプターを選び、真ん中を押しこんで決定する。**
選んだチャプターが消去されます。

1つ前の画面に戻るには

リターンボタンを押します。

編集画面を消すには

ビジュアルメニューボタンを押します。

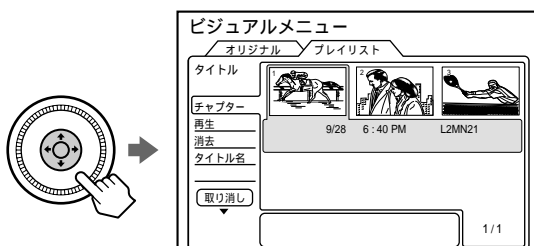
ちょっと一言

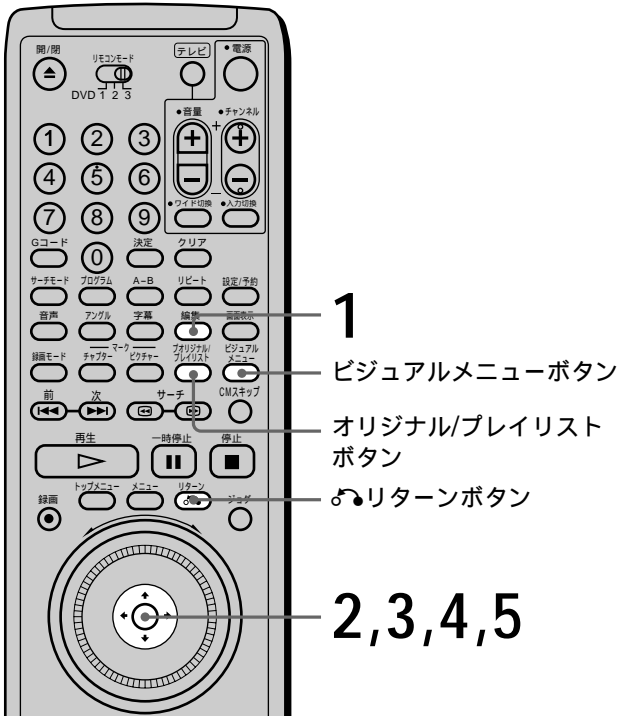
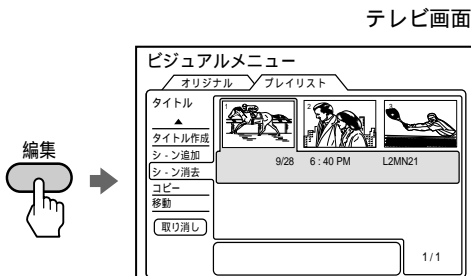
- 編集操作を取り消すことができます（78ページ）。

ご注意

- タイトルにチャプターがひとつしかない場合、チャプターを消去するとタイトルも消去されます。

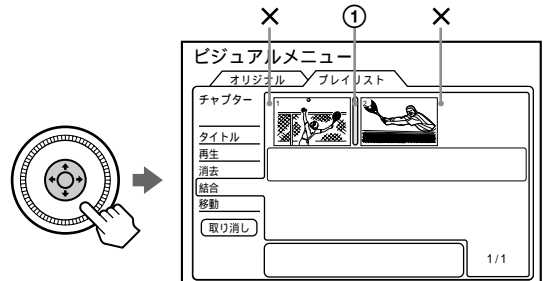
編集

次のページにつづく

2つのチャプターを1つのチャプターにする（結合） DVD-RW(VR)

2つのチャプターを結合して1つにします。

1 **編集ボタンを押して、プレイリストの編集画面を表示させる。**
オリジナルの編集画面が表示されたら、オリジナル/プレイリストボタンを押して、切り換えます。

テレビ画面

2 **←/↑/↓で「チャプター」を選び、真ん中を押しこんで決定する。**

3 **←/↑/↓/→で編集するタイトルを選び、真ん中を押しこんで決定する。**
選んだタイトルのチャプターが表示されます。

4 **←/↑/↓で「結合」を選び、真ん中を押しこんで決定する。**

①「チャプター1」と「チャプター2」を結合

5 **←/↑/↓/→で結合するチャプターとチャプターの間を選び、真ん中を押しこんで決定する。**
2つのチャプターが結合され、1つのチャプターになります。

1つ前の画面に戻るには

リターンボタンを押します。

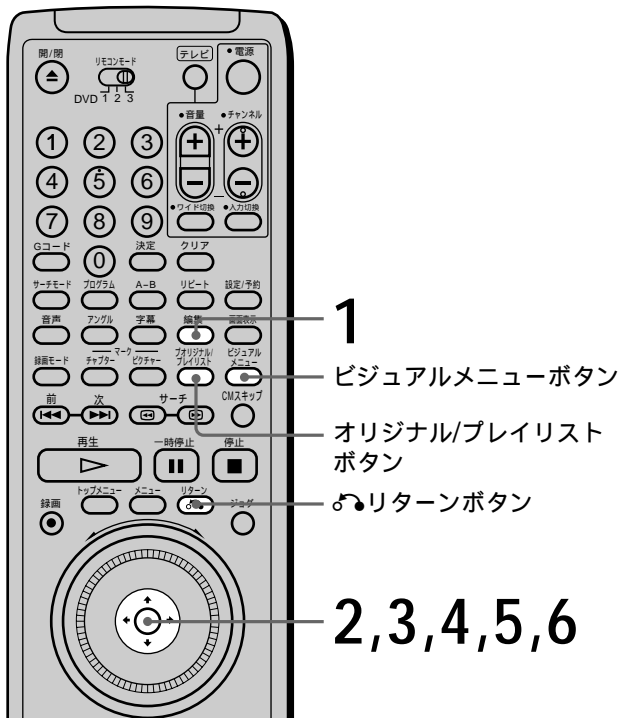
編集画面を消すには

ビジュアルメニューボタンを押します。

ちょっと一言

- 編集操作を取り消すことができます（☞78ページ）。

チャプターを移動する DVD-RW(VR)

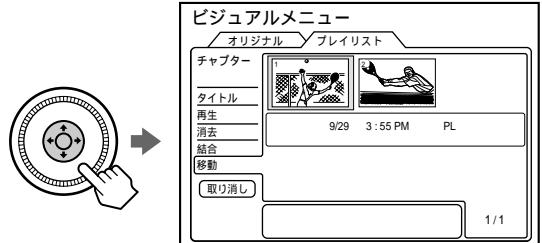
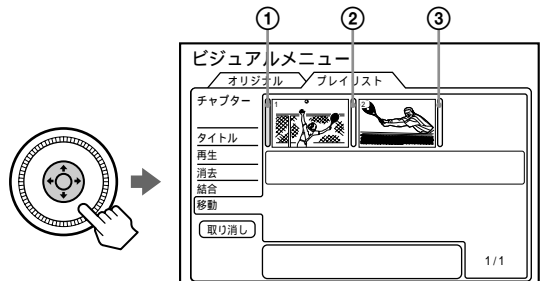
プレイリストのチャプターを移動します。

1 **編集ボタンを押して、プレイリストの編集画面を表示させる。**

オリジナルの編集画面が表示されたら、オリジナル/プレイリストボタンを押して、切り換えます。

2 **↑/↓で「チャプター」を選び、真ん中を押しこんで決定する。**

3 **←/↑/↓/→で編集するタイトルを選び、真ん中を押しこんで決定する。**

選んだタイトルのチャプターが表示されます。

4 **←/↑/↓で「移動」を選び、真ん中を押しこんで決定する。**

5 **←/↑/↓/→で移動したいチャプターを選び、真ん中を押しこんで決定する。**

①「チャプター1」の前へ移動
②「チャプター1」と「チャプター2」の間へ移動
③「チャプター2」の後へ移動

6 **←/↑/↓/→で移動先を選び、真ん中を押しこんで決定する。**

チャプターが移動されます。

1つ前の画面に戻るには

リターンボタンを押します。

編集画面を消すには

ビジュアルメニューボタンを押します。

ちょっと一言

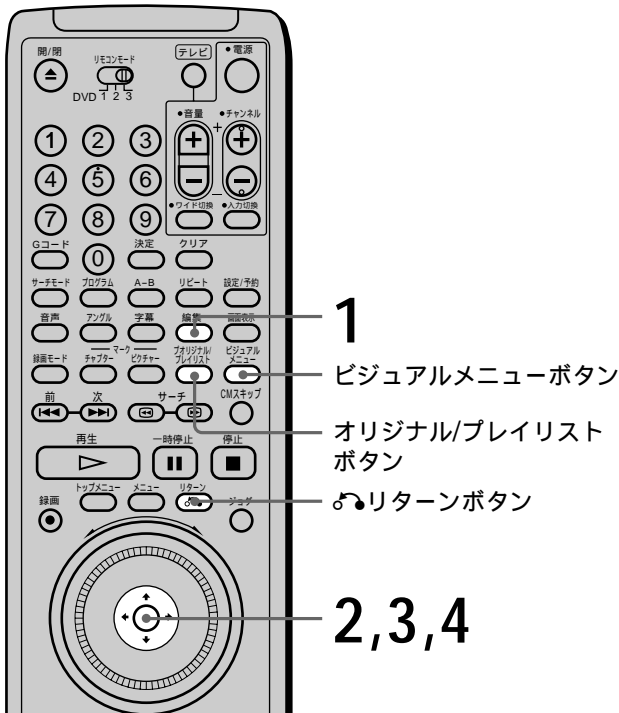
• 編集操作を取り消すことができます（☞78ページ）。

編集

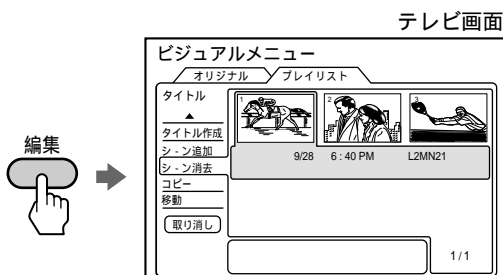
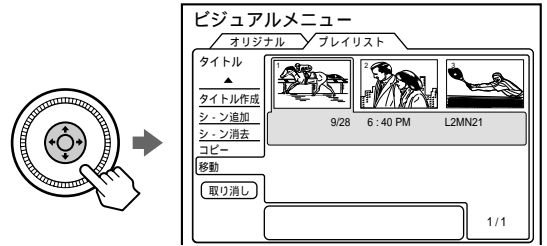
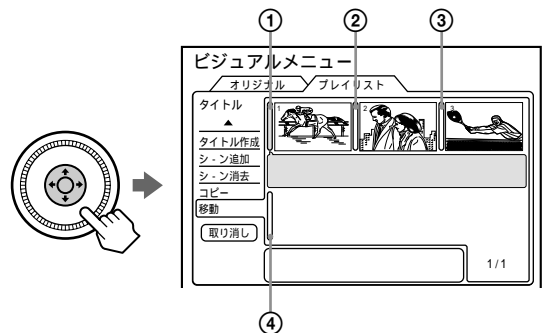
次のページにつづく

タイトルの並び順を変更する

（タイトル移動）DVD-RW（VR）

プレイリストのタイトルの並び順を変更します。

1 編集ボタンを押して、プレイリストの編集画面を表示させる。

オリジナルの編集画面が表示されたら、オリジナル/プレイリストボタンを押して、切り換えます。

テレビ画面

2 ←/↑/↓で「移動」を選び、真ん中を押しこんで決定する。

3 ←/↑/↓/→で移動するタイトルを選び、真ん中を押しこんで決定する。

①「タイトル1」の前に移動
②「タイトル1」と「タイトル2」の間に移動
③「タイトル2」と「タイトル3」の間に移動
④「タイトル3」の後に移動

4 ←/↑/↓/→で移動先を選び、真ん中を押しこんで決定する。

続けてタイトルを移動する場合、手順**3**から繰り返してください。

1つ前の画面に戻るには

リターンボタンを押します。

編集画面を消すには

ビジュアルメニューボタンを押します。

ちょっと一言

• 編集操作を取り消すことができます（☞78ページ）。

ご注意

• プレイリストを2つ以上作成していない場合、タイトルの移動はできません。

オリジナルを編集する

録画したオリジナルのタイトルを編集します。タイトルを消去してディスクの空き時間を確保したり、要らない場面を消したり、タイトルが誤って消去されないように保護したりすることができます。
オリジナルのタイトルを消去すると、そのタイトルをもとに作成したプレイリストにも影響がでます。ご注意ください。

タイトル名を入力・変更する

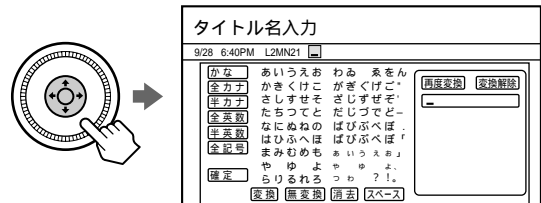
DVD-RW(VR)

タイトル情報画面（☞26ページ）に表示されるタイトル名をつけたり、変更したりすることができます。入力できる文字数は、最大全角32文字、半角64文字までです。

1 **編集ボタンを押して、オリジナルの編集画面を表示させる。**
プレイリストの編集画面が表示されたら、オリジナル/プレイリストボタンを押して、切り換えます。

テレビ画面

2 **←/↑/↓で「タイトル名」を選び、真ん中を押しこんで決定する。**

3 **←/↑/↓/→で名前を入力・変更したいタイトルを選び、真ん中を押しこんで決定する。**
タイトル名変更入力画面が表示されます。

4 **←/↑/↓/→でタイトル名を入力・変更し、真ん中を押しこんで決定する。**
詳しくは、「文字の入力のしかた」（☞62ページ）をご覧ください。

1つ前の画面に戻るには

リターンボタンを押します。

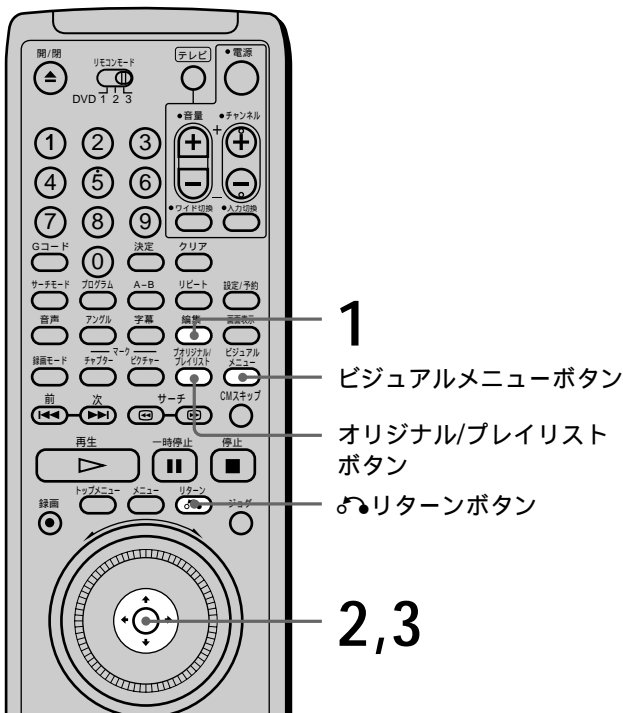
編集画面を消すには

ビジュアルメニューボタンを押します。

編集

次のページにつづく

タイトルの編集・消去を不可にする（保護） DVD-RW（VR）

オリジナルタイトルが誤って消去されたり、編集されたりしないように、タイトルを保護することができます。

1 **編集ボタンを押して、オリジナルの編集画面を表示させる。**
プレイリストの編集画面が表示されたら、オリジナル/プレイリストボタンを押して、切り換えます。

テレビ画面

2 **←/↑/↓で「保護」を選び、真ん中を押しこんで決定する。**

3 **←/↑/↓/→で保護するタイトルを選び、真ん中を押しこんで決定する。**
保護したタイトルに 🔒 が表示されます。

1つ前の画面に戻るには

リターンボタンを押します。

編集画面を消すには

ビジュアルメニューボタンを押します。

保護を解除するには

手順**2**～**3**を繰り返し、🔒 の表示を消します。

ディスクごと保護するには

☞99ページをご覧ください。

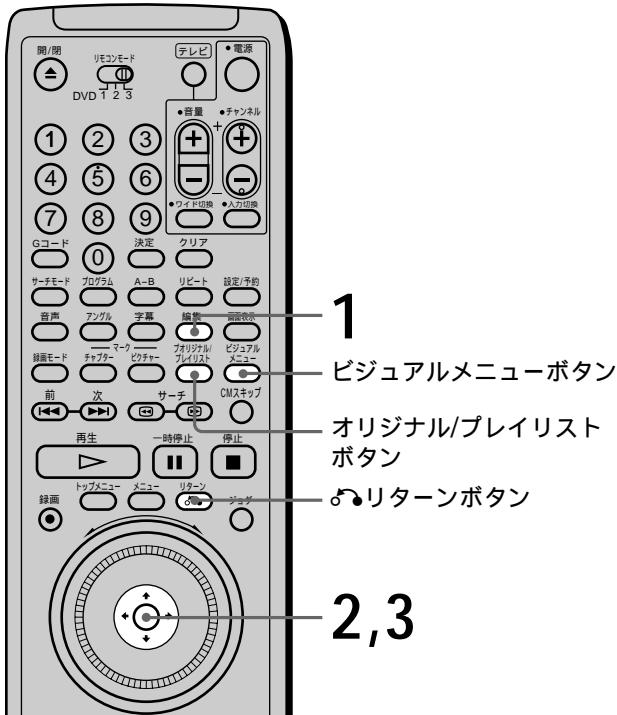
ちょっと一言

- 編集操作を取り消すことができます（☞78ページ）。

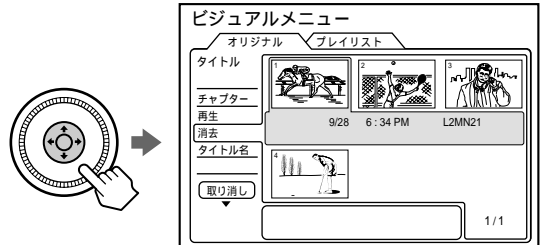
ご注意

- プレイリストを保護することはできません。
- タイトル保護を行うと、別のタイトルやプレイリストの編集の場合も含め編集操作を取り消すことができなくなります。

タイトルを消去する DVD-RW(VR)

オリジナルをタイトルごと消去します。ディスクがいっぱいになったら、不要なタイトルを消して、ディスクの空き時間を増やします。
オリジナルのタイトルを消去すると、プレイリストからのそのタイトルが消去されますのでご注意ください。

1 **編集ボタンを押して、オリジナルの編集画面を表示させる。**
プレイリストの編集画面が表示されたら、オリジナル/プレイリストボタンを押して、切り換えます。

テレビ画面

2 **←/↑/↓で「消去」を選び、真ん中を押しこんで決定する。**

3 **←/↑/↓/→で消去するタイトルを選び、決定ボタンを押す。**
選択したタイトルを消去します。

1つ前の画面に戻るには

リターンボタンを押します。

編集画面を消すには

ビジュアルメニューボタンを押します。

ちょっと一言

- 編集操作を取り消すことができます（78ページ）。

ご注意

- 保護されているタイトルは消去できません（70ページ）。

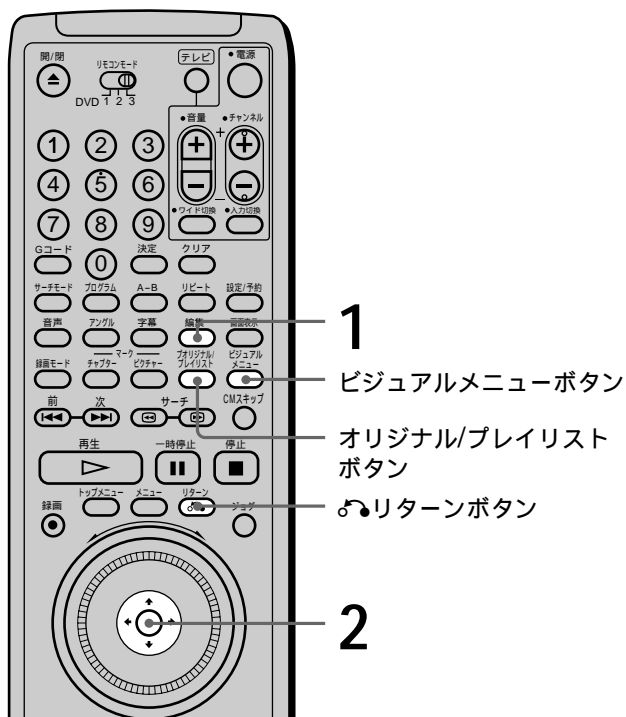
編集

次のページにつづく

すべてのタイトルを消去する（全消去）

DVD-RW（VR）

ディスク内にあるすべてのオリジナルタイトルを消去します。オリジナルがなくなるため、プレイリストのタイトルもすべて消去されますので、ご注意ください。
ただし、次のタイトルや情報は消去されません。
- タイトル保護されているタイトル
- ディスク予約の内容
- ディスク名

ディスク内のすべての内容を消去したいときは、ディスクの初期化を行ってください（☞100ページ）。

1 編集ボタンを押して、オリジナルの編集画面を表示させる。

プレイリストの編集画面が表示されたら、オリジナル/プレイリストボタンを押して、切り換えます。

テレビ画面

2 ←/↑/↓で「全消去」を選び、真ん中を押しこんで決定する。

オリジナルのすべてのタイトルが消去されます。

1つ前の画面に戻るには

リターンボタンを押します。

編集画面を消すには

ビジュアルメニューボタンを押します。

ちょっと一言

- 編集操作を取り消すことができます（☞78ページ）。

ご注意

- 保護されているタイトルは消去できません（☞70ページ）。

選んだ場面を消去する（シーン消去）

DVD-RW（VR）

オリジナルのタイトルから選んだ場面を消去します。消去した範囲は、「取り消し」を行った場合を除き、完全に消去されます。シーンを消去したところで、チャプターが自動的に区切られます。
消去するとディスクの空き時間が増えます。
オリジナルからシーンを消去すると、プレイリストからもそのシーンが消えますので、ご注意ください。

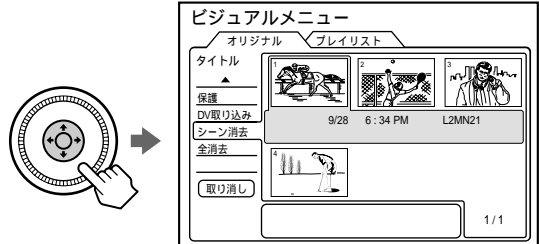
1 編集ボタンを押して、オリジナルの編集画面を表示させる。

プレイリストの編集画面が表示されたら、オリジナル/プレイリストボタンを押して、切り換えます。

テレビ画面

編集

ビジュアルメニュー
オリジナル　プレイリスト
タイトル
保護
DV取り込み
シーン消去
全消去
取り消し
9/28　6 : 34 PM　L2MN21
1/1

2 ←/↑/↓で「シーン消去」を選び、真ん中を押しこんで決定する。

3 ←/↑/↓/→で編集するタイトルを選び、真ん中を押しこんで決定する。

4 再生▷ボタンを押す。

前◀◀/次▶▶ボタンやクリックシャトルで場面を探すことができます。

5 消去開始場面で真ん中を押しこんで決定する。

6 消去終了場面で真ん中を押しこんで決定する。

編集

次のページにつづく

7 **←/→で「プレビュー」を選び、真ん中を押しこんで決定する。**

消去後の映像を確認します。消去指定範囲の前後約3秒間が再生されます。
開始場面や終了場面を変更するには、←/↑/↓/→で開始場面または終了場面を選び、手順**4**から繰り返します。

8 **←/→で「確定」を選び、真ん中を押しこんで決定する。**

同じタイトル内の別のシーンを消去するには、手順**4**から繰り返します。

1つ前の画面に戻るには

リターンボタンを押します。

編集画面を消すには

ビジュアルメニューボタンを押します。

ちょっと一言

• 編集操作を取り消すことができます（☞78ページ）。

ご注意

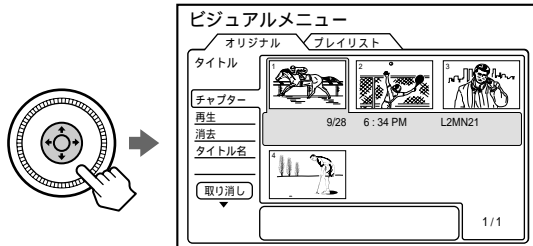
• 5秒未満のシーン消去はできないことがあります。

2つのチャプターを1つのチャプターにする（結合） DVD-RW（VR）

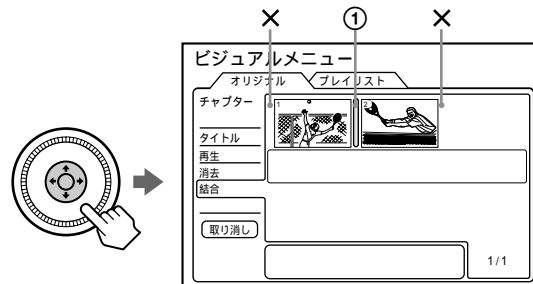
2つのチャプターを合わせて1つのチャプターにします。オリジナルのチャプターを結合しても、プレイリストのチャプターには影響しません。

1 **編集ボタンを押して、オリジナルの編集画面を表示させる。**

プレイリストの編集画面が表示されたら、オリジナル/プレイリストボタンを押して、切り換えます。

2 ←/↑/↓で「チャプター」を選び、真ん中を押しこんで決定する。

3 ←/↑/↓/→で編集するタイトルを選び、真ん中を押しこんで決定する。

選んだタイトルのチャプターが表示されます。

4 ←/↑/↓で「結合」を選び、真ん中を押しこんで決定する。

①「チャプター1」と「チャプター2」を結合

5 ←/↑/↓/→で結合したいチャプターとチャプターの間を選び、真ん中を押しこんで決定する。

2つのチャプターが結合され、1つのチャプターになります。

1つ前の画面に戻るには

リターンボタンを押します。

編集画面を消すには

ビジュアルメニューボタンを押します。

ちょっと一言

- 編集操作を取り消すことができます（☞78ページ）。

チャプターを消去する DVD-RW(VR)

チャプターごとに消去します。
オリジナルのチャプターを消去すると、プレイリストからもそのチャプターが消去されるのでご注意ください。

1 編集ボタンを押して、オリジナルの編集画面を表示させる。

プレイリストの編集画面が表示されたら、オリジナル/プレイリストボタンを押して、切り換えます。

テレビ画面

編集

次のページにつづく

オリジナルを編集する（つづき）

2 **←/↑/↓で「チャプター」を選び、真ん中を押しこんで決定する。**

3 **←/↑/↓/→で消去するチャプターが入っているタイトルを選び、真ん中を押しこんで決定する。**

4 **←/↑/↓で「消去」を選び、真ん中を押しこんで決定する。**

5 **←/↑/↓/→で消去するチャプターを選び、真ん中を押しこんで決定する。**

選んだチャプターが消去されます。

1つ前の画面に戻るには

リターンボタンを押します。

編集画面を消すには

ビジュアルメニューボタンを押します。

ちょっと一言

- 編集操作を取り消すことができます（78ページ）。

ご注意

- 5秒未満のチャプターは消去できないことがあります。

ビデオモードで編集する

ビデオモードで録画したタイトルは、ディスク名やタイトル名の変更、タイトルの消去ができます。
ただしファイナライズ（101ページ）後のディスクは編集できません。編集したいときは、ファイナライズの前に行ってください。

タイトル名を入力・変更する

DVD-RW（VIDEO） DVD-R

タイトル名をつけたり、変更したりすることができます。
ここでつけたタイトル名は、ディスク情報画面（26ページ）に表示されます。ファイナライズ後はメニューボタンまたはトップメニューボタン（19ページ）で表示することができます。
タイトル名として入力できる文字数は、最大全角12文字、半角24文字までです。

1 **編集ボタンを押す。**

編集画面が表示されます。

テレビ画面

タイトルメニュー

ビデオモード

タイトル

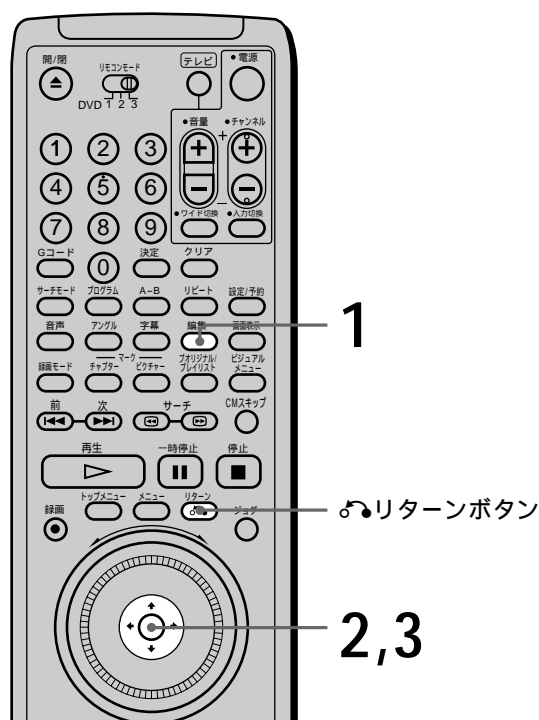
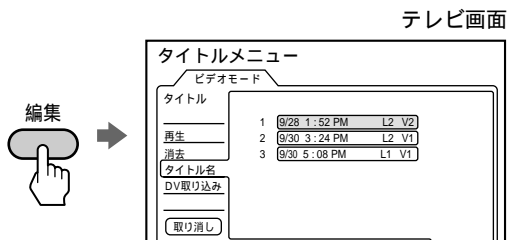
再生

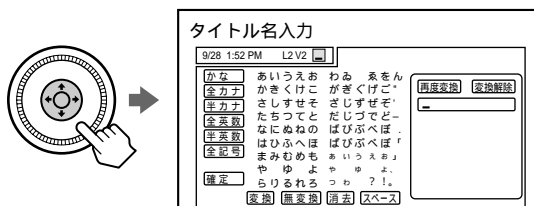
消去

タイトル名

DV取り込み

取り消し

編集

2 **←/↑/↓で「タイトル名変更」を選び、真ん中を押しこんで決定する。**

タイトル名変更入力画面が表示されます。

3 **←/↑/↓/→でタイトル名を入力・変更し、真ん中を押しこんで決定する。**

詳しくは、「文字の入力のしかた」（☞62ページ）をご覧ください。

1つ前の画面に戻るには

リターンボタンを押します。

編集画面を消すには

トップメニューボタンを押します。

ちょっと一言

- 編集操作を取り消すことができます（☞78ページ）。

タイトルを消去する

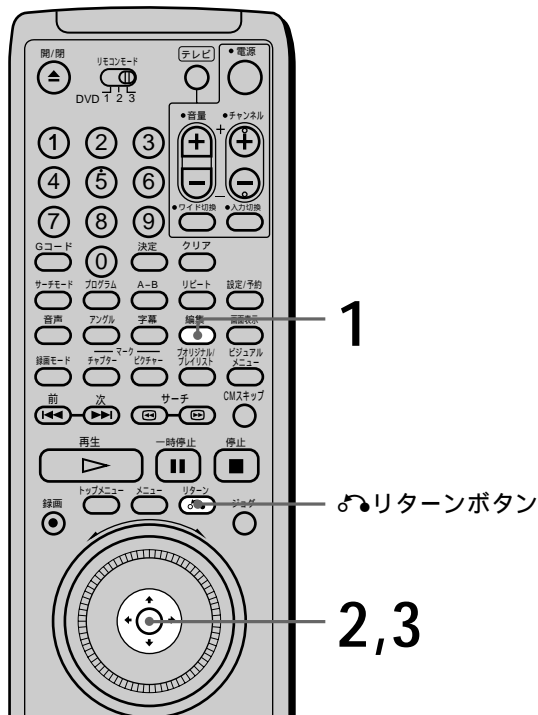
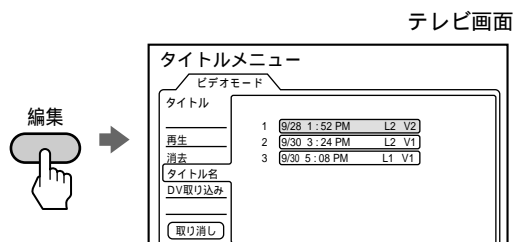
DVD-RW（VIDEO） **DVD-R**

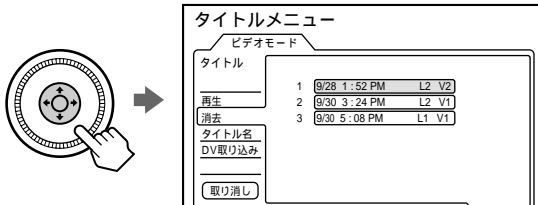
不要になったタイトルを消去します。
DVD-RWディスクのビデオモードで、最後に録画したタイトルを消去すると、ディスクに録画できる時間が増えます。最後に録画したタイトル以外や、DVD-Rディスクのタイトルを消去しても、録画できる時間は増えません。

1 **編集ボタンを押す。**

編集画面が表示されます。

編集

次のページにつづく

ビデオモードで編集する（つづき）

2 **←/↑/↓で「消去」を選び、真ん中を押しこんで決定する。**

3 **↑/↓で消去するタイトルを選び、真ん中を押しこんで決定する。**

選択したタイトルを消去します。

1つ前の画面に戻るには

リターンボタンを押します。

編集画面を消すには

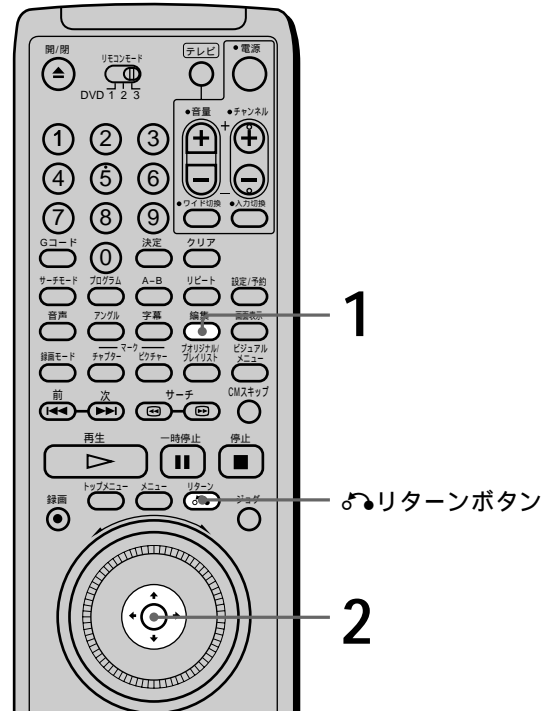
トップメニューボタンを押します。

ちょっと一言

- 編集操作を取り消すことができます（78ページ）。

編集操作を取り消す

DVD-RW DVD-R

編集操作を取り消し、1つ前の状態に戻します。「取り消し」がメニュー項目として表示されているときは、前回行った操作を取り消すことができます。最大3つまでの操作を戻すことができます。

1 **編集ボタンを押す。**

2 **↑/↓で「取り消し」を選び、真ん中を押しこんで決定する。**

元に戻る操作内容が下枠内に表示されます。

1つ前の画面に戻るには

↶リターンボタンを押します。

編集画面を消すには

VRモードのときはビジュアルメニューボタンを、ビデオモードのときはトップメニューボタンを押します。

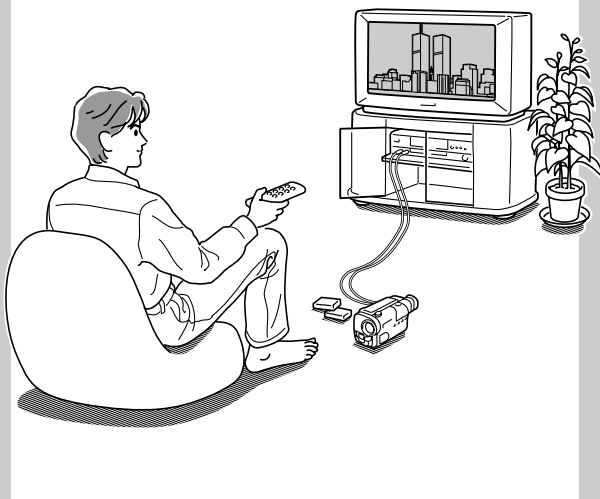
ちょっと一言

- VRモードの編集の場合、「取り消し」機能はオリジナルとプレイリストで共有しています。プレイリストで行った編集操作をオリジナル編集画面で取り消すことができます。

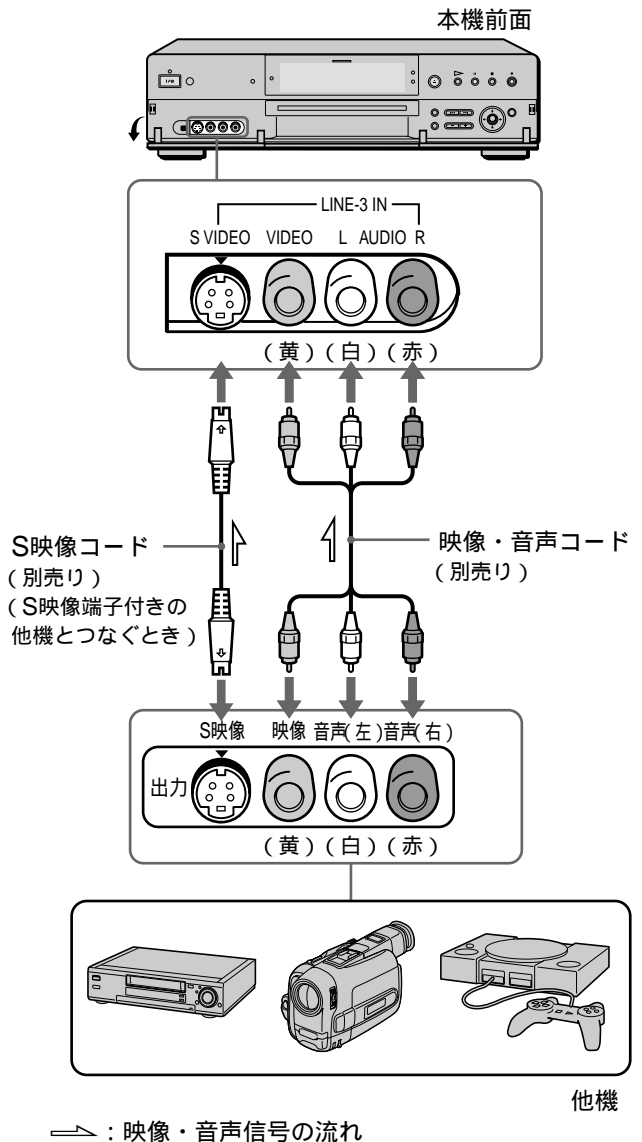
ご注意

- 編集画面を終了したあとでも、再び編集画面を表示して、操作を取り消すことができます。ただし、以下の操作を行った場合、取り消しはできません。
  - 新たに録画を行った場合
  - 本機の電源を切った場合
  - ディスクを取り出した場合
  - ディスク、タイトルの保護の状況が変わった場合
  - 初期化、ファイナライズ（または解除）を行った場合
  - 録画モードを変更した場合
  - 録画映像の画質を調整してプレビューを行った場合

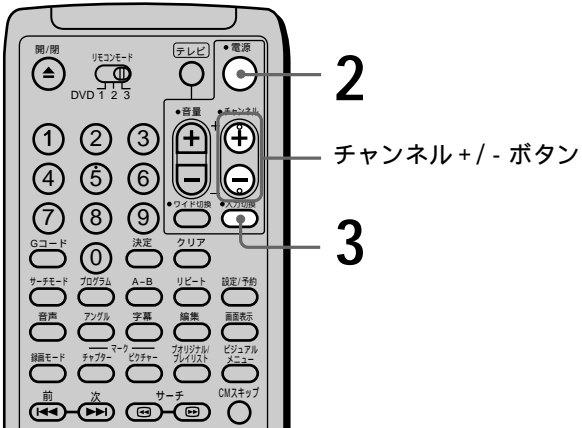
他機をつないで行う操作

ここでは、本機にいろいろな機器をつないでできる操作について説明します。
デジタルビデオカメラでとった画像を見たり、ゲームをするときは、本機の前面入力端子を使うと便利です。また、本機に他のビデオデッキやデジタルビデオカメラをつないで、テープの内容をディスクにダビングすることができます。
以下の機器の接続については別冊「接続と準備」をご覧ください。
- BSデコーダー（WOWOW）
- ケーブルテレビ（CATV）
- デジタルBSやCSチューナー

ビデオ機器をつないで見る・ゲームをする

テレビに映像・音声入力端子がなかったり、端子が後面にしかない場合、本機前面のLINE-3 IN端子にビデオカメラやゲームなどをつなぐと便利です。

接続する

ご注意

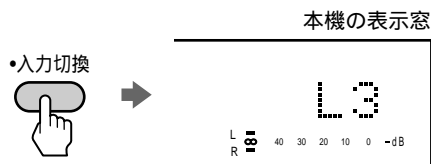
- 本機の入力端子につないだ機器がモノラルのときは、モノラルの音声を音声右/左から出力できる音声コード（別売り）をお使いください。

ビデオを見る・ゲームをする

1 **テレビの電源を入れて、本機をつないだ入力(「ビデオ」など)に切り換える。**

2 **電源スイッチを押して、本機の電源を入れる。**

3 **入力切換ボタンを押して「L3」を選ぶ。**
入力切換ボタンを押すたびに次のように切り換わります。

VHF/UHFチャンネル(1、3、…)/BSチャンネル(BS1、BS3、…)/CATVチャンネル(C1、C2、…) → 入力1(L1) → 入力2(L2) → 入力3(L3) → DV

本機の表示窓

4 **本機の入力端子につないだ機器の電源を入れて、その機器の再生をする。**

ちょっと一言

- 手順**3**でチャンネル+/−ボタンを押しても、「L3」を選ぶことができます。

ご注意

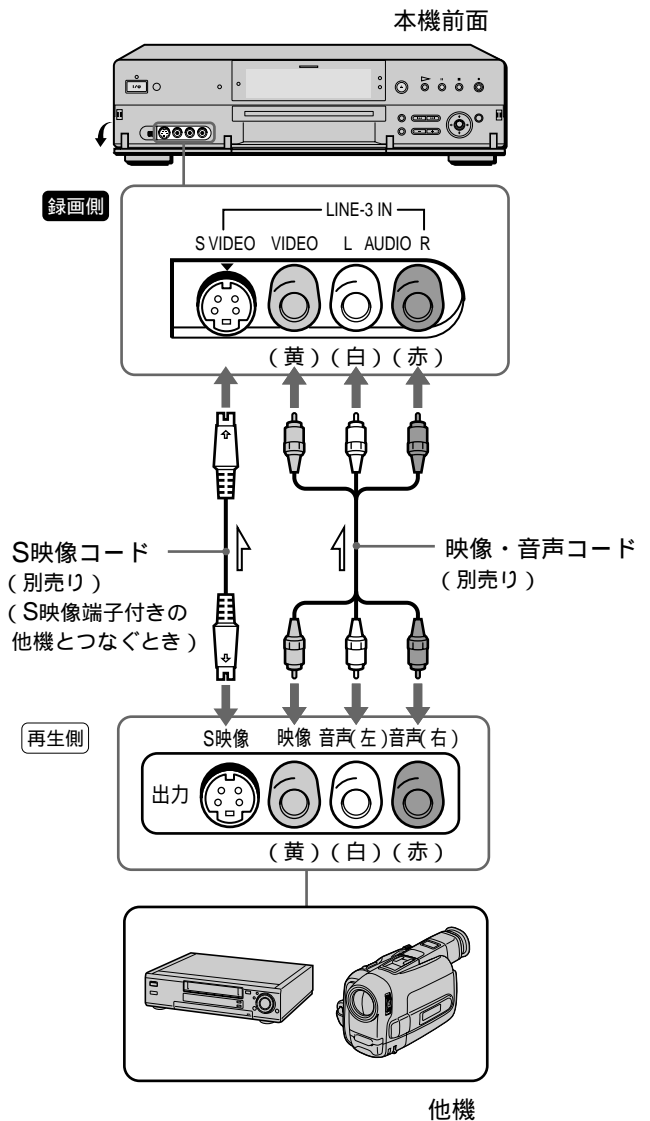
- ゲームの画面を録画すると、画像が乱れることがあります。

ビデオ機器をつないでダビングする

本機で録画したタイトルを別のビデオデッキで録画したり、アナログカメラで録画した内容を本機に録画するときは、次のように接続します。つないだ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

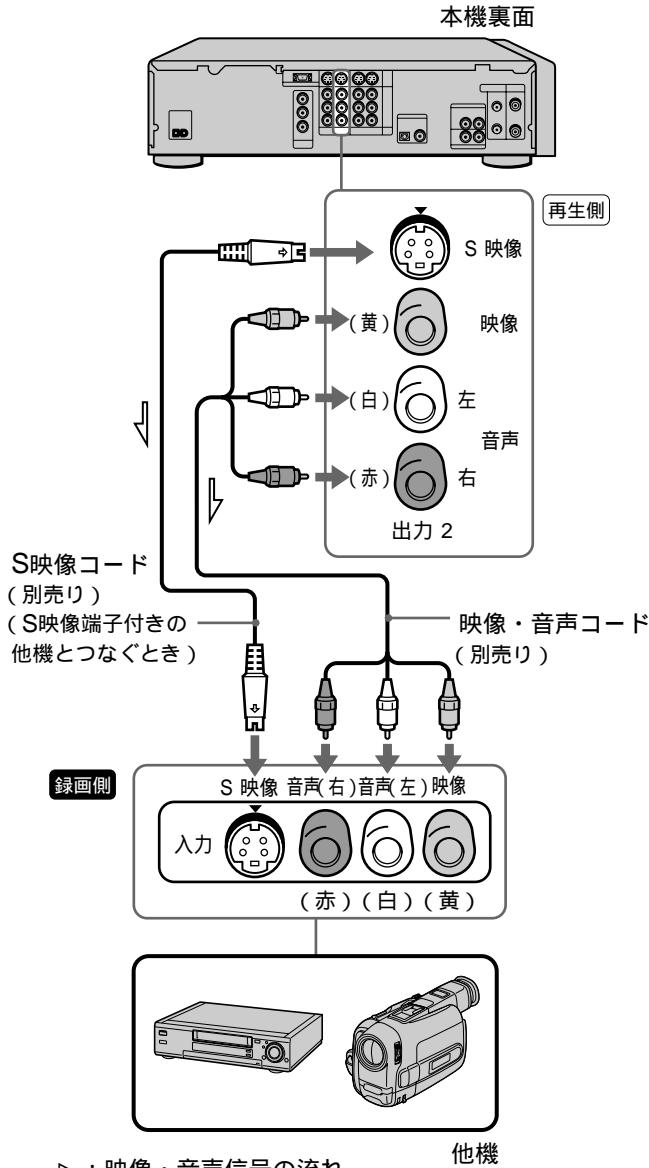
接続する

テレビを録画側の機器につなぐと録画する画像を見ることができます。

本機で録画するとき

⟶:映像・音声信号の流れ

他機をつないで行う操作

次のページにつづく

本機で再生するとき

ちょっと一言

- 接続する他機がモノラルのときは、モノラルの音声を音声右/左から出力できる音声コード（別売り）をお使いください。
- 本機で録画するときに、本機後面の入力1または2端子を使うこともできます。
- S映像コードでつないだときは、映像・音声コードの映像端子（黄）はつなぎません。

ご注意

- 本機の出力端子を他機の入力端子へつないだまま、その機器の出力端子を本機の入力端子へつながないでください。ブーンという音が出ることがあります。
- 「録画禁止」のコピー制御信号が含まれている映像は、録画することができません。

ダビングする

タイトルやテープの内容をダビングすることができます。

1 **テレビの電源を入れて、入力を録画側の機器に切り換える。**

2 録画側　再生側

本機にディスクを入れる。つないだビデオデッキにカセットを入れる。

3 再生側

画面表示を消す。

画面表示を出したままにしておくと、画面表示もいっしょに録画されます。
本機が再生側のときは、本体設定の「オプション」の「画面表示」を「オフ」にします（☞97ページ）。

4 再生側

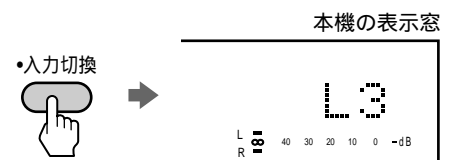
二カ国語放送などのテープからダビングするときは、録音したい音声を選ぶ。

再生側の機器は、あらかじめ再生し、音声切換ボタンを押して選びます。
音声切換ボタンが再生側の機器にないときは、この手順をとばします。
本機が録画側のときは、本体設定の「音声入力」の「外部音声」を「二カ国語」にします（☞93ページ）。

5 録画側

再生側の機器をつないでいる入力（「入力1」、「入力2」、「入力3」など）に切り換える。

本機が録画側のときは、再生側の機器をつないでいる入力端子を、入力切換ボタンで選びます。

- 入力1端子のときは「L1」
- 入力2端子のときは「L2」
- 入力3端子のときは「L3」

6 録画側

録画モードを選ぶ。

本機が録画側のときは、録画モードボタンボタンを押して選びます。録画モードについては、☞40ページをご覧ください。

7 録画側

録画一時停止にする。

再生側

再生一時停止にする。

8 録画側 再生側

両方の一時停止を解除する。

録画が始まります。

9 録画側 再生側

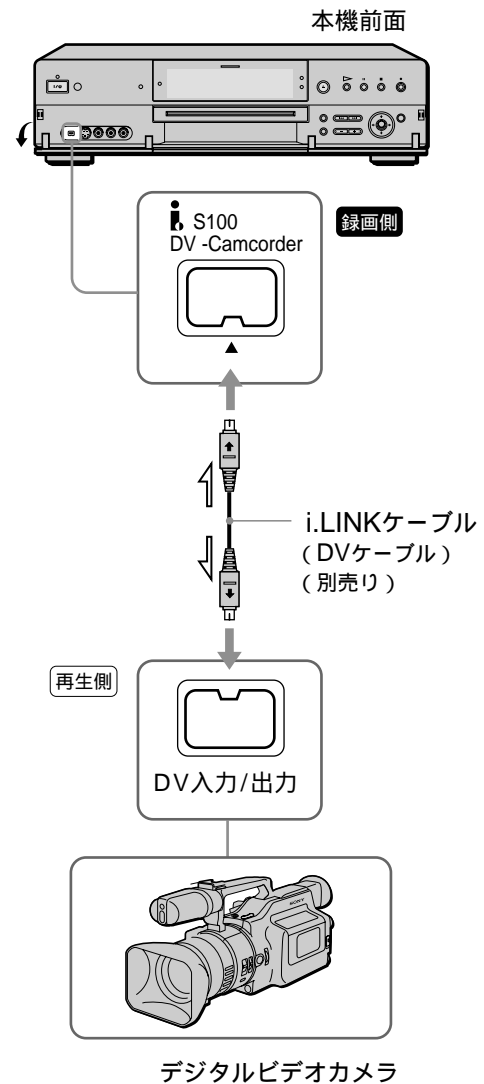
録画が終わったら、両方の停止ボタンを押す。

デジタルビデオカメラをつないでダビング・編集する

本機のデジタルビデオカメラ用 i.LINK 端子に接続したデジタルビデオカメラから映像を録画したり、本機で再生する映像をデジタルビデオカメラで録画できます。ビデオカメラの制御も本機のリモコンで操作できるので、簡単に録画することができます。本機とは、次のように接続します。つないだ機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。

デジタルビデオカメラ用 i.LINK 端子に接続する

⟶:映像・音声信号の流れ

次のページにつづく

デジタルビデオカメラをつないでダビング・編集する（つづき）

デジタルビデオカメラからダビング・編集する DVD-RW DVD-R

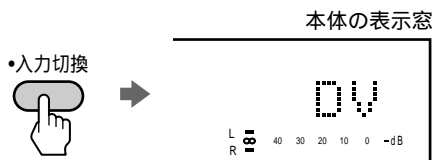
テープの内容をそのままダビングしたり、好きな場面だけ編集することができます。
本機のデジタルビデオカメラ用 i.LINK 端子からはDVC-SD方式の信号のみ入力することができます。

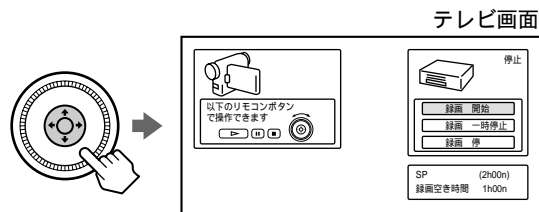
1 **テレビおよび本機の電源を入れて、本機をつないだ入力（「ビデオ」など）に切り換える。**

2 **本機に録画用のディスクを入れる。**
一度も録画していないDVD-RWディスクを入れた場合、VRモードで自動的に初期化されます。

3 **デジタルビデオカメラに再生するカセットを入れ、再生できる状態にする。**

4 **記録する音声を選ぶ。**
本体設定画面の「音声入力」で「DV入力音声」を「ステレオ1」または「ステレオ2」に設定します（☞93ページ）。

5 **本機の入力切換ボタンで「DV」に切り換える。**

6 **編集ボタンを押す。**
編集画面が表示されます。

7 **←/↑/↓で「DV取り込み」を選び、真ん中を押しこんで決定する。**

VRモードのとき
オリジナル/プレイリストボタンを押して、オリジナルの編集画面に切り換えてください。

8 **本機のリモコンでデジタルカメラを操作し、録画を開始したい場面を探して、一時停止にする。**
次のボタンが使えます。
- 再生▷ボタン：再生します
- 停止■ボタン：再生などを停止します
- サーチ⏩ボタン：早送り再生します
- サーチ⏪ボタン：巻戻し再生します
- 一時停止❚❚ボタン：再生一時停止します
- クリックシャトル：再生速度を変更します

停止中にサーチボタンを押すと、早送り/巻戻しします。

9 **↑/↓で「録画 開始」を選び、真ん中を押しこんで決定する。**
デジタルビデオカメラの再生を開始し、本機は録画を開始します。
本機で取込中、デジタルビデオカメラの再生に録画のない部分があったり、再生停止をすると録画は一時停止になります。再生が始まると、一時停止は解除されます。

10 **↑/↓で「録画 停止」を選び、真ん中を押しこんで決定する。**
- **VRモードのとき**
  本機の録画およびデジタルビデオカメラの再生を停止します。
- **ビデオモードのとき**
  停止した時点での静止画面が最大30秒間記録されます。その後、本機の録画およびデジタルビデオカメラの再生を停止します。

取り込みを一時停止するには

DV取込画面表示中に↑/↓で「録画 一時停止」を選び、真ん中を押しこんで決定する。
一時停止を解除するには、↑/↓で「録画 開始」を選び、真ん中を押しこんで決定する。

DV取り込み画面を終了するには

DV取込み停止中に、VRモードのときはビジュアルメニューボタン、ビデオモードのときはトップメニューボタンを押します。
ビジュアルメニュー画面またはタイトルメニューに戻るには↶リターンボタンを押します。

ご注意

- 接続について
  - デジタルビデオカメラをデジタルビデオカメラ用i.LINK端子に接続していると本機の動作が若干遅くなります。ダビングや編集をしない時はケーブルを抜いておくことをお勧めします。
  - 本機と接続できるデジタルビデオカメラは1台のみです。
  - 本機とパソコンを接続して編集することはできません。
- 操作について
  - デジタルビデオカメラがビデオ再生モードになっていないとDV取り込みはできません。カメラ撮影モードの映像を取り込む場合は、録画●ボタンを押して通常の録画をしてください。
  - 映像を取り込み中にデジタルビデオカメラで無記録部分や録画禁止部分を再生すると、本機の録画は一時停止します。その部分を過ぎると録画を再開します。
- その他
  - デジタルビデオカメラによっては、本機で操作できないことがあります。
  - 他の機器から本機を操作することはできません。本機同士を接続してもう一方を操作することもできません。
  - 日付け・時刻情報及びカセットメモリーの内容を記録することはできません。
  - 本機では16 bit（44.1 kHzおよび32 kHz）の入力音声は扱えません。
  - 録画モードをVRモードのMNのレベル32に設定しても、リニアPCMでは録画されません。
  - 録画モードをVRモードのMNのレベル1〜8に設定しても、レベル9で録画されます。
  - 16 bit（48 kHz）音声と12 bit（32 kHz）音声の両方が記録されているデジタルビデオテープを再生して本機で録画した場合、音声が切り換わる部分を再生すると音が途切れます。
  - デジタルビデオカメラ用i.LINK端子に他機をつないで入力する場合、入力信号がない状態から信号が入力されても、映像・音声がしばらく本機から出力されないことがあります。その間録画もできません。

デジタルビデオカメラに映像を出力する DVD-RW DVD-R

DVケーブルで本機をデジタルビデオカメラに接続して、本機で再生する映像をデジタルビデオカメラで録画します。本機でDVDを再生するとデジタルビデオカメラ用i.LINK端子から再生信号が出力されます。

1 **デジタルビデオカメラを本機のデジタルビデオカメラ用i.LINK端子に接続する（☞83ページ）。**

2 **デジタルビデオカメラで録画したい映像を本機で再生する。**

3 **デジタルビデオカメラで録画の操作をする。**

ちょっと一言

- デジタルビデオカメラには、一般的に2種類の音声モードがあります。
  - 16 bit（48 kHz）：高音質ですが1組のステレオ音声のみです。
  - 12 bit（32 kHz）：2組のステレオ音声を持っています。ステレオ2にアフレコすることができます。

ご注意

- 本機のデジタルビデオカメラ用i.LINK端子からは、DVD-RW及びDVD-Rの再生時のみ映像と音声を出力します。テレビ放送・外部入力・CDとビデオCDの映像・音声は出力できません。
- 「録画禁止」または「1回だけ録画可」の部分を再生している時は映像・音声は出力されません。
- 本機から出力される音声モードは16 bit（48 kHz）のみです。

次のページにつづく

デジタルビデオカメラをつないでダビング・編集する（つづき）

i.LINK（アイリンク）について

本機のデジタルビデオカメラ用i.LINK端子はi.LINKに準拠したデジタルビデオカメラ用DV入出力端子です。ここでは、i.LINKの規格や特長について説明します。

i.LINKとは？

i.LINKはi.LINK端子を持つ機器間で、デジタル映像やデジタル音声などのデータを双方向でやりとりしたり、他機をコントロールしたりするためのデジタルシリアルインターフェースです。
i.LINK対応機器は、i.LINKケーブル1本で接続できます。多彩なデジタルAV機器を接続して、操作やデータのやりとりができることが考えられています。
複数のi.LINK対応機器を接続した場合、直接つないだ機器だけでなく、他の機器を介してつながれている機器に対しても、操作やデータのやりとりができます。
ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作のしかたが異なったり、接続しても操作やデータのやりとりができない場合があります。

ちょっと一言

- i.LINK（アイリンク）はIEEE1394の親しみやすい呼称としてソニーが提案し、国内外多数の企業からご賛同いただいている商標です。
  IEEE1394は電子技術者協会によって標準化された国際標準規格です。

ご注意

- i.LINKは、すべての対応機器での接続動作を保証するものではありません。i.LINK対応機器間でデータやコントロール信号がやりとりできるかどうかは、それぞれの機器の機能によって異なります。
- i.LINKケーブル（DVケーブル）で本機と接続できる機器は通常1台だけです。複数接続できるDV対応機器と接続するときは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

i.LINKの転送速度について

i.LINKの最大データ転送速度は機器によって違い、以下の3種類があります。

　S100（最大転送速度　約100Mbps*）
　S200（最大転送速度　約200Mbps）
　S400（最大転送速度　約400Mbps）

転送速度は各機器の取扱説明書の「主な仕様」欄に記載され、また、機器によってはi.LINK端子周辺に表記されています。
本機の最大転送速度は「S100」です。
最大データ転送速度が異なる機器と接続した場合、転送速度が表記と異なることがあります。

* Mbpsとは？
「Mega bits per second」の略で「メガビーピーエス」と読みます。1秒間に通信できるデータの容量を示しています。100Mbpsならば100メガビットのデータを送ることができます。

本機でのi.LINK操作は

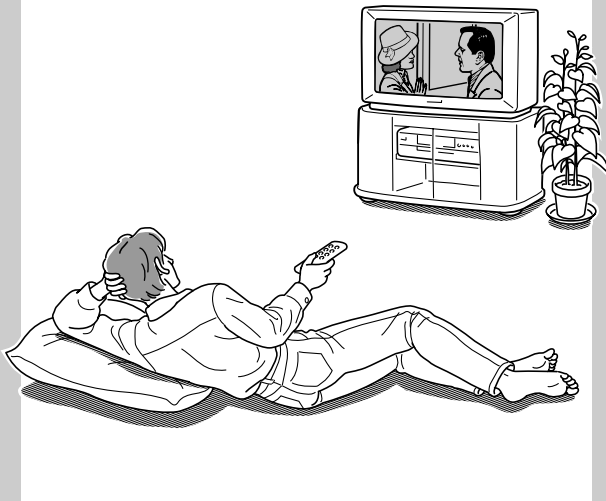
本機のi.LINK端子は、DV方式のデジタルビデオカメラ、デジタルビデオデッキのDV端子と接続してご使用になれます。使用方法および、接続の際のご注意については☛83ページをご覧ください。
接続の際のご注意及び、本機に対応したアプリケーションの有無などについては、接続する機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。

必要なi.LINKケーブル

ソニーのi.LINKケーブルをお使いください。
4ピン←→4ピン（DVダビング時）

i.LINKはIEEE1394-1995とIEEE1394a-2000を示す呼称です。i.LINK、i™は商標です。

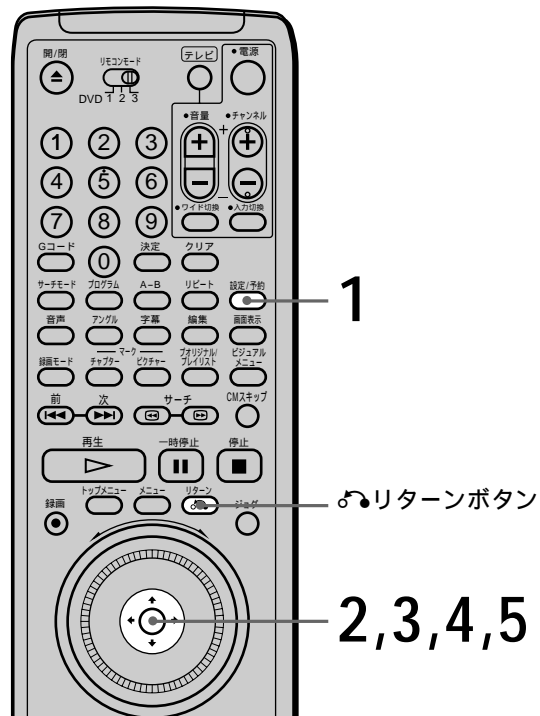
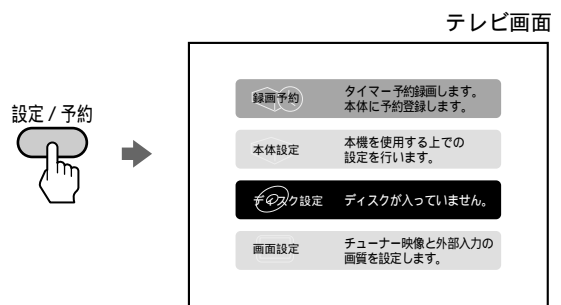
設定と調整

ここでは、再生や録画に必要な設定について説明します。
接続方法により異なる設定があります。別冊「接続と準備」でご確認ください。

本体設定画面を使う

本体設定画面を使って、画質や音声などさまざまな設定ができます。また、DVDの字幕の言語やメニューの表示言語の設定などもできます。本体設定画面の項目の一覧は117ページをご覧ください。各項目については、☞89～98ページをご覧ください。

本体設定画面の使い方

1 **停止中に設定/予約ボタンを押す。**
設定画面が表示されます。

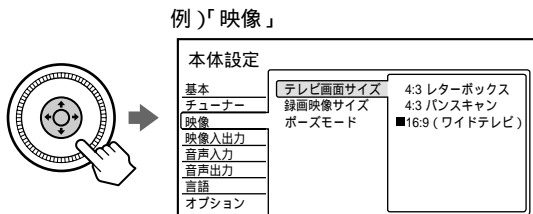
次のページにつづく

本体設定画面を使う（つづき）

2 **↑/↓で「本体設定」を選び、真ん中を押しこんで決定する。**

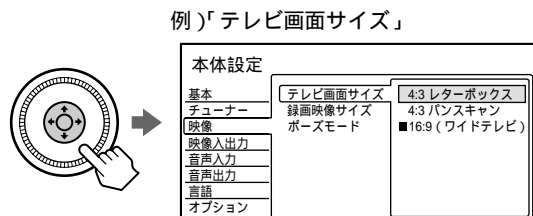
「本体設定」の設定項目が表示されます。

3 **↑/↓で「基本」、「チューナー」、「映像」、「映像入出力」、「音声入力」、「音声出力」、「言語」、「オプション」から、設定したい項目を選び、真ん中を押しこんで決定する。**

選択した画面が表示されます。

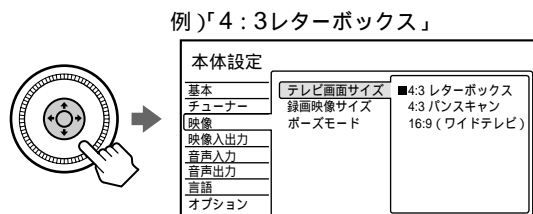
例）「映像」

4 **↑/↓で項目を選び、真ん中を押しこんで決定する。**

項目の設定できる内容が一覧表示されます。

例）「テレビ画面サイズ」

5 **↑/↓で設定内容を選び、決定ボタンを押す。**

設定が終了します。

選ばれている内容には「■」がつきます。

例）「4：3レターボックス」

1つ前の画面に戻るには

リターンボタンを押します。

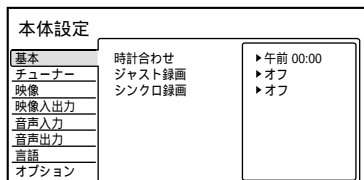
設定画面を消すには

設定/予約ボタンを押します。

ちょっと一言

- すべての設定をお買い上げ時に戻すことができます（☞103ページ）。

本機の基本的な設定
（基本設定）

本機を使うための基本的な設定をします。
お買い上げ時の設定は、下線の項目です。
本体設定画面で「基本」を選びます。操作は、「本体設定画面を使う」（☞87ページ）をご覧ください。

時計合わせ

時計を合わせます。時計を補正するジャストクロックの設定をすることもできます。詳しくは、☞別冊「接続と準備」の「手順9：時計を合わせる」をご覧ください。

ジャスト録画

ディスクの空き時間不足で本体予約（☞42ページ）やGコード予約（☞48ページ）、ディスク予約（☞45ページ）の番組が最後まで録画できないとき、予約録画開始前に自動的に録画レートレベルを変更し、できるだけその番組が録画できるようにします。そのため、録画する際に画質が落ちる場合があります。

項目	内容
オン	ジャスト録画する
オフ	ジャスト録画しない

ご注意

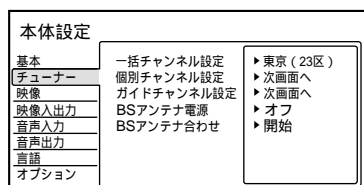
- シンクロ録画のときは、ジャスト録画機能は使用できません。
- 「録画レートレベル1」でも空き時間が足りない場合は、「レベル1」で可能なところまで録画します（DV入力の場合はレベル9で可能なところまで録画します）。
- 予約録画をすべて録画する機能ではありません。予約した順に録画し、次に予約されている番組が設定されている録画レートでは録画しきれないときにジャスト録画が働きます。その後に予約されている番組は最後まで録画されない場合があります。
- ビデオモードでは、ジャスト録画機能は使用できません。

シンクロ録画

本機に接続したチューナーの電源に連動して録画が始まります。詳しくは☞52ページをご覧ください。

項目	内容
オン	電源を切ると、つないだチューナーからの電源に連動して録画が始まる
オフ	シンクロ録画しない

受信に関する設定
（チューナー設定）

接続したVHF/UHFアンテナやBSアンテナからの受信状態を設定します。各設定内容は、別冊「接続と準備」の各項目をご覧ください。
お買い上げ時の設定は、下線の項目です。
本体設定画面で「チューナー」を選びます。操作は、「本体設定画面を使う」（☞87ページ）をご覧ください。

一括チャンネル設定

本機にVHF/UHF放送とBS放送の受信チャンネルを自動設定します。一括チャンネル設定（☞別冊「接続と準備」の「手順**8**：チャンネルを自動で合わせる」）を正常に行ったときは、すでに設定されています。

個別チャンネル設定

「一括チャンネル設定」で設定できなかったケーブルテレビなどのチャンネルを追加したり、自動設定されたチャンネルに変更を加えたい場合に設定します。詳しくは、☞別冊「接続と準備」の「チャンネルを追加する・番号をテレビに合わせる」をご覧ください。
表示チャンネルを変えたときや新しくチャンネルを追加した場合、ガイドチャンネルの設定も合わせて行ってください。

ガイドチャンネル設定

「個別チャンネル設定」で表示チャンネルを変えたときや新しくチャンネルを追加した場合、その設定に合わせてガイドチャンネルを変更します。ガイドチャンネルを設定しないと、Gコード予約ができなくなります。詳しくは、☞別冊「接続と準備」の「チャンネルを追加する・番号をテレビに合わせる」をご覧ください。

BSアンテナ電源

BSアンテナへ電源を供給する方法を設定します。
詳しくは、☞別冊「接続と準備」の「手順**4**：BSアンテナをつなぐ」をご覧ください。

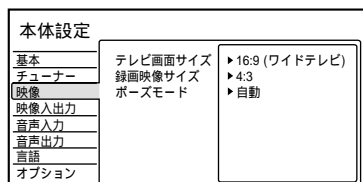
項目	内容
オン	BSアンテナを本機に直接つないだ場合に、常に本機からBSアンテナに電源を供給する
オフ	マンションなどの共同受信システムにBSが混合されていて、壁のアンテナ端子と本機をつないだとき
連動	BSアンテナを本機に直接つないだ場合、本機がBSを受信したときおよび本機のBSアンテナ出力に接続した他のBS機器から電源が供給されたときのみ、アンテナに電源を供給する。 「オン」に比べて消費電力を節約することができる

BSアンテナ合わせ

本機に直接接続したBSアンテナの向きを調整します。詳しくは、☞別冊「接続と準備」の「BSアンテナの向きを調整する」をご覧ください。

画像に関する設定

（映像設定）

接続するテレビや録画する映像に合わせて設定します。
お買い上げ時の設定は、下線の項目です。
本体設定画面で「映像」を選びます。操作は、「本体設定画面を使う」（☛87ページ）をご覧ください。

テレビ画面サイズ

接続するテレビの画面の種類（ワイドテレビまたは従来の4:3画面テレビ）を設定します。

項目	内容
4:3レターボックス	4:3画面のテレビとつなぐとき。ワイド画像は横長のまま表示し、画面の上下は黒く表示する
4:3パンスキャン	4:3画面のテレビとつなぐとき。ワイド画像は映像の左右を自動的にカットしてテレビ画面全体に表示する
16:9（ワイドテレビ）	ワイドテレビまたは、ワイドモードのあるテレビとつなぐとき

DVDビデオによっては、「4:3レターボックス」あるいは「4:3パンスキャン」に設定しても、自動的にどちらかで再生されることがあります。

録画映像サイズ

ビデオモードで録画するとき、録画する画面の種類（ワイドまたは従来の4:3画面）を設定します。

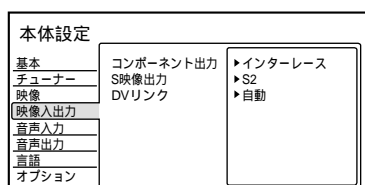
項目	内容
4:3	4:3画面の映像を録画するとき
16:9	ワイドモードのある映像を録画するとき
自動	録画開始時の映像に合わせて、4:3または16:9のどちらかに自動切り換えする。 映像によって、判断できない場合もあり、その場合「4:3」または「16:9」を選ぶ

ポーズモード

一時停止にしたときの静止画の見え方を設定します。

項目	内容
フィールド	大きく動きのある画像がぶれずに見られる
フレーム	動きの少ない画像を鮮明に見ることができる。ただし、画像がぶれることがある
自動	再生しているディスクに合わせて、フィールドまたはフレームのどちらかに自動切り換えする

接続した機器に関する設定（映像入出力設定）

接続する機器に合わせて設定します。
お買い上げ時の設定は、下線の項目です。
本体設定画面で「映像入出力」を選びます。操作は、「本体設定画面を使う」（☞87ページ）をご覧ください。

コンポーネント出力

本機のコンポーネント映像出力Y、P_B/C_B、P_R/C_R 端子およびコンポーネント映像出力D1/D2端子から出力される映像信号の方式を選びます。映像信号の方式については、「用語解説」（☞114 ページ）をご覧ください。

項目	内容
インターレース	インターレース方式で映像を出力する。本機を通常のテレビ（インターレース方式）につないでいるときはこの設定を選ぶ
プログレッシブ	プログレッシブ（525p）方式で映像を出力する。本機をプログレッシブ（525p）方式に対応したテレビにつないでいるときはこの設定を選ぶ

ご注意

- プログレッシブ（525p）方式に対応していないテレビにつないでいるときに、「プログレッシブ」を選ばないでください。映像が映らないことがあります。その場合、本体の❚❚（一時停止）ボタンを押しながら、DIMMER/FL OFFボタンを押すと、「インターレース」に設定されます。

S映像出力

S映像出力端子から出力する映像信号（輝度信号に重なるワイドモード制御信号）を設定します。
本機とテレビをS映像端子で接続している時に映像が横方向に伸びる場合は、「S1」を選んでください。

項目	内容
S1	16:9（ワイドテレビのサイズ）の映像がテレビに送られたとき、テレビの画面が自動的にフルモードに切り換わる
S2	S1の機能に加えて、4:3のレターボックス（従来のテレビのサイズに上下に黒帯が入っている）映像がテレビに送られた時に、テレビの画面が自動的にズームモードに切り換わる

ご注意

- この機能に対応していないテレビもあります。
- 誤った動作をする場合は、テレビのワイドモード自動検出機能を「切」にして、手動で切り換えてください。

DVリンク

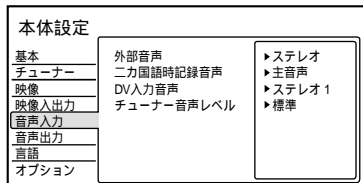
i.LINKケーブルで接続された1台のデジタルビデオカメラを特定して通信する機能（リンク機能）を設定します。デジタルビデオカメラ用i.LINK端子に接続された機器からの映像・音声がテレビに出力されない場合や、DV取り込みが正しく動作しない場合は、この設定を「オフ」にしてください。

項目	内容
自動	リンク機能の有効/無効を接続したデジタルビデオカメラとの通信により、自動的に決定する
オフ	リンク機能を無効にする。リンク機能に対応していない機器をつなぐ場合に選ぶ

ご注意

- デジタルビデオカメラによっては「オフ」に設定していても、正しく動作しない場合があります。

録画時の音声に関する設定（音声入力設定）

接続した機器から録画する場合など、外部からの音声を設定します。
お買い上げ時の設定は、下線の項目です。
本体設定画面で「音声入力」を選びます。操作は、「本体設定画面を使う」（☞87ページ）をご覧ください。

外部音声

本機につないだ外部機器から入力される音声を選びます。
外部機器から二カ国語放送などの二重音声（主音声・副音声）付きの映像を録画する場合、必ず「二カ国語」を選んでください。「ステレオ」で録画すると、再生時に2つの音声が重なって聞こえます。「二カ国語」で録画すると、VRモードでは再生時に主音声と副音声に切り換えることができます。また、ビデオモードとVRモードのMNのレベル32（DV入力時を除く）では「二カ国語時記録音声」で設定している方の音声のみが記録されます。

項目	内容
ステレオ	左右のスピーカーから音声を出力する
二カ国語	主音声、副音声を切り換えることができる

デジタル出力の場合、再生時に二カ国語放送の音声を切り換えることはできません。

二カ国語時記録音声

ビデオモードとVRモードのMNのレベル32（DV入力時以外）を使う場合に設定します。
録画する番組が二カ国語放送の場合、主音声または副音声のどちらかの音声を記録するか設定します。
録画時にはここで設定した音声のみが記録され、再生時に音声の切り換えはできません。

項目	内容
主音声	主音声で録画する
副音声	副音声で録画する

DV入力音声

デジタルビデオカメラの映像を取り込むときの音声を設定します。
ビデオカメラの音声がサンプリング周波数32kHz、12 bitの場合のみ設定できます。
接続した機器によっては、設定時にノイズが入ることがあります。

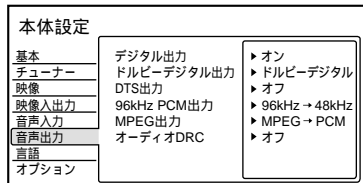
項目	内容
ステレオ1	録画したときの音声を取り込む
ステレオ2	アフレコなどあとから追加した音声を取り込む

チューナー音声レベル

チューナーからの音声の大きさを調整します。

項目	内容
標準	普通の音声の大きさ
小	音声を小さくする

再生時の音声に関する設定（音声出力設定）

再生するときの音声の設定を、再生や接続などの条件に合わせて設定します。
お買い上げ時の設定は、下線の項目です。
本体設定画面で「音声出力」を選びます。操作は、「本体設定画面を使う」（☛87ページ）をご覧ください。

デジタル出力

デジタル音声出力光端子および同軸端子から音声信号を出力するか、しないかを選びます。

項目	内容
オン	デジタル音声出力光端子および同軸端子から音声信号を出力する。この設定を選んだら、「ドルビーデジタル出力」および「DTS出力」を設定する
オフ	デジタル音声出力光端子および同軸端子から音声信号を出力しない。デジタル回路がアナログ回路に与える影響を最小限に抑えられる

ドルビーデジタル出力

デジタル音声出力光端子および同軸端子から出力するドルビーデジタル信号の方式を選びます。

項目	内容
ドルビーデジタル	ドルビーデジタルデコーダー内蔵のオーディオ機器を接続しているときに選ぶ。 ドルビーデジタルデコーダーを内蔵していないオーディオ機器を接続したときは、この設定にしない。誤って設定すると、音が出なかったり異音が出て耳に悪影響を及ぼしたりスピーカーを破損したりすることがある
ダウンミックスPCM	ドルビーデジタルデコーダーを内蔵していないオーディオ機器を接続しているときに選ぶ。ドルビーデジタル信号をリニアPCM信号に変換して出力する

DTS出力

デジタル音声出力光端子および同軸端子からDTS信号を出力するか、しないかを選びます。

項目	内容
オン	DTSデコーダー内蔵のオーディオ機器を接続しているときに選ぶ。DTSデコーダーを内蔵していないオーディオ機器を接続したときは、この設定にしない。誤って設定すると、音が出なかったり、異音が出て耳に悪影響をおよぼしたり、スピーカーを破損することがある
オフ	DTSデコーダーを内蔵していないオーディオ機器を接続したときに選ぶ

96kHz PCM出力

デジタル音声出力光端子および同軸端子から出力するPCM信号を選びます。

項目	内容
96 kHz→48 kHz	96kHz PCMに対応していないオーディオ機器に接続しているときに選ぶ。音声は常に48kHz PCMで出力される
96 kHz	96kHz PCM対応のオーディオ機器を接続しているときに選ぶ

MPEG出力

デジタル音声出力光端子および同軸端子からMPEG信号を出力するか選びます。

項目	内容
MPEG	MPEG信号対応のオーディオ機器を接続しているときに選ぶ
MPEG→PCM	MPEG対応していないオーディオ機器を接続しているとき、MPEG信号をリニアPCM信号に変換して出力する

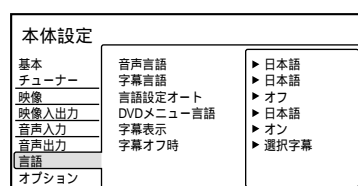
オーディオDRC（Dynamic Range Control）

（ダイナミック レンジ コントロール）

大きい音を小さく、小さい音を大きくして再生する機能の設定をします。
この機能は、DRC機能のあるDVDビデオにのみ効果があります。

項目	内容
大	効果が最大になる
中	効果が得られる
小	多少の効果が得られる
オフ	オーディオDRCの効果をなくす

表示言語や音声言語の設定（言語設定）

言語設定画面では、画面や音声の言語を設定することができます。
お買い上げ時の設定は、下線の項目です。
本体設定画面で「言語」を選びます。操作は、「本体設定画面を使う」（☛87ページ）をご覧ください。
選べる画面や音声の言語はディスクによって異なります。また、ここで記録されている言語を設定しても、ディスクによっては自動的に言語が切り換わったり、字幕の表示/非表示や切り換えを禁止している場合があります。

音声言語

DVD再生時の音声を設定します。お買い上げ時には日本語に設定されています。
「その他」を選んだときは、言語コード一覧表（☛116ページ）から言語コードを選び、数字ボタンで入力します。

字幕言語

DVD再生時の字幕を設定します。お買い上げ時には日本語に設定されています。
「その他」を選んだときは、言語コード一覧表（☛116ページ）から言語コードを選び、数字ボタンで入力します。

設定と調整

表示画面や音声言語の設定（つづき）

言語設定オート

音声と字幕の言語を自動変更にするか、「音声言語」と「字幕言語」で選んだ言語に設定するかを選びます。
「音声言語」と「字幕言語」に同じ言語が選ばれていて、「字幕表示」が「オン」のときのみ、この機能は有効です。

項目	内容
オン	ディスクによって自動的に設定する（一般的な洋画の場合：オリジナル音声および日本語字幕、邦画の場合：オリジナル音声として日本語および字幕なし）
オフ	「音声言語」および「字幕言語」で選んだ言語に設定する

ご注意

• ディスクによっては、「オン」に設定していても、自動的に設定されない場合があります。

DVDメニュー言語

DVD のディスクに記録されているDVDメニューの言語を切り換えます。
「字幕言語に連動」を選ぶと（お買い上げ時の設定）、字幕の言語に合わせてDVDメニューの言語が切り換わります。
「その他」を選んだときは、言語コード一覧表（☛116ページ）から言語コードを選び、数字ボタンで入力します。

字幕表示

字幕を表示するかどうかを選びます。
また、ディスクによっては、耳の不自由な方のために場面を解説した字幕（アシスト字幕）が記録されていることがあり、アシスト字幕を表示させることもできます。

項目	内容
オン	字幕表示する
オフ	字幕表示しない
アシスト字幕	アシスト字幕を表示する

字幕オフ時

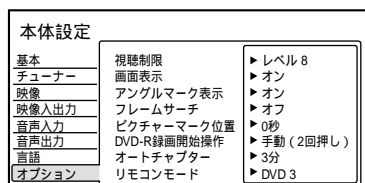
「字幕表示」の設定を「オフ」にしても強制的に表示される字幕を選びます。

項目	内容
音声連動	再生されている音声の言語で字幕を表示する
選択字幕	「字幕言語」で選択されている言語で字幕を表示する

視聴やその他に関する設定（オプション設定）

視聴年齢制限や画面の表示などの設定をします。
お買い上げ時の設定は、下線の項目です。
本体設定画面で「オプション」を選びます。操作は、「本体設定画面を使う」（☞87ページ）をご覧ください。

本体設定

基本	視聴制限	▶ レベル 8
チューナー	画面表示	▶ オン
映像	アングルマーク表示	▶ オン
映像入出力	フレームサーチ	▶ オフ
音声入力	ピクチャーマーク位置	▶ 0秒
音声出力	DVD-R録画開始操作	▶ 手動（2回押し）
言語	オートチャプター	▶ 3分
オプション	リモコンモード	▶ DVD 3

視聴制限

暗証番号を登録して、視聴年齢制限のあるDVDの再生を制限する設定をします。詳しくは、「ディスクの再生を制限する（視聴年齢制限）」（☞35ページ）をご覧ください。

画面表示

画面表示ボタンを押して、再生や録画など状態を表示することができます。詳しくは、「ディスクの情報や残り時間を見る」（☞26ページ）をご覧ください。

項目	内容
オン	画面表示する
オフ	画面表示しない

アングルマーク表示

アングルを切り換えるときに、画面にマークを表示させることができます。詳しくは、「アングルを切り換える（マルチアングル）」（☞29ページ）をご覧ください。

項目	内容
オン	アングルマークを表示する
オフ	アングルマークを表示しない

フレームサーチ

タイムサーチ（☞22ページ）を使用するとき、時、分、秒のほかにフレームの情報を表示します。
「オン」に設定すると、フレームでサーチすることができます。

項目	内容
オン	フレームサーチする
オフ	フレームサーチしない

ピクチャーマーク位置

ビジュアルメニューのタイトル画面に、録画後のどの場面を表示させるかを設定します。ビジュアルメニュー画面がいつもCMになってしまう場合、「30秒」や「3分」を選んでおくと便利です。

項目	内容
０秒	録画を開始した時点の場面を表示する
30秒	録画後30秒経過した時点の場面を表示する
3分	録画後3分経過した時点の場面を表示する

DVD-R録画開始操作

DVD-Rディスクに録画する場合、録画をはじめるときに押すボタンの回数を設定します。

項目	内容
手動（２回押し）	録画●ボタンを押した後もう一度録画●ボタンを押すか、一時停止❚❚ボタンをおして録画を始める
自動（１回押し）	録画●ボタンを1度押して、すぐに録画を始める。 録画●ボタンを押すと録画準備の動作を行うため、その間の画像は録画されない

次のページにつづく

視聴やその他に関する設定（つづき）

オートチャプター

ビデオモードで録画中に、一定間隔でチャプターを自動的に区切ります。
DVD-RWディスクのVRモードの場合、チャプターを手動で区切ることができます（☞23ページ）。

項目	内容
区切りなし	録画中にチャプターを区切らない
3分	録画中、3分経過ごとにチャプターを区切る
5分	録画中、5分経過ごとにチャプターを区切る
10分	録画中、10分経過ごとにチャプターを区切る

リモコンモード

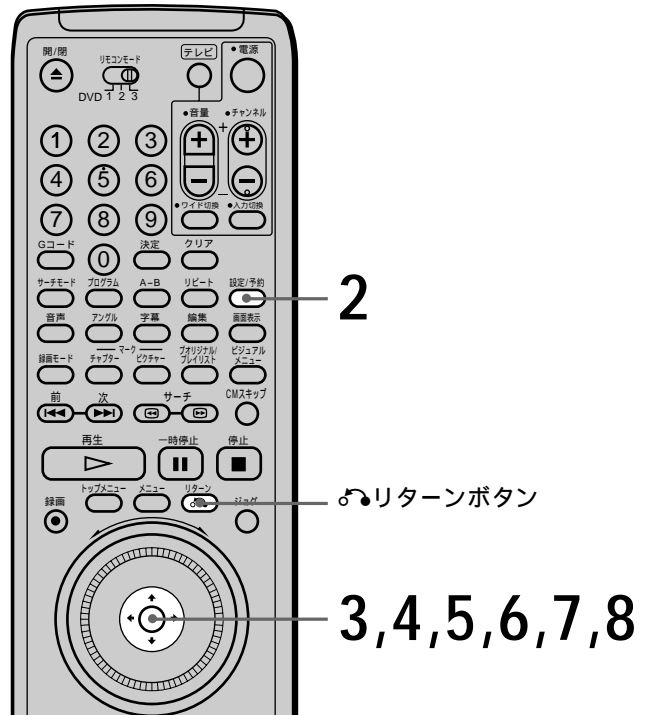
本機と他のソニー製DVDプレーヤーなど、複数台の機器をお使いの場合、本機とリモコンを対応させて、他のプレーヤーが誤作動しないようにします。
詳しくは、☞別冊「接続と準備」の「手順2：リモコンを準備する」をご覧ください。

項目	内容
DVD1	通常のソニー製DVDプレーヤーの設定
DVD2	他のソニー製DVDプレーヤーを操作するとき
DVD3	お買い上げ時に設定されてる本機のリモコンモード

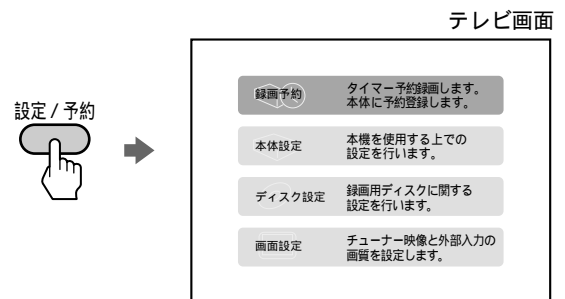
ディスクに関する設定

ディスク名を入力・変更する

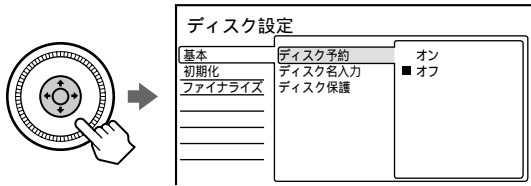
DVD-RW DVD-R

ディスク名を入力・変更することができます。

1 ディスク名を入力または変更するディスクを入れる。

2 停止中に設定/予約ボタンを押す。

テレビ画面

3 ↑/↓で「ディスク設定」を選び、真ん中を押しこんで決定する。

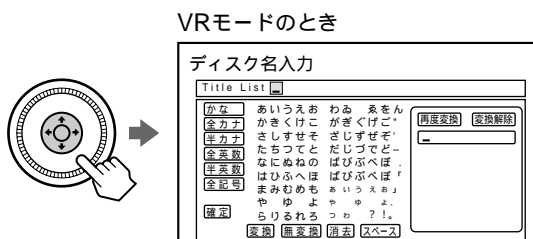
ディスク設定画面が表示されます。

4 **↑/↓で「基本」を選び、真ん中を押しこんで決定する。**

5 **↑/↓で「ディスク名入力」を選び、真ん中を押しこんで決定する。**

「次画面へ」が選ばれます。

6 **もう一度決定する。**

ディスク名入力画面が表示されます。
入力できる文字数は、VRモードのときは最大全角32文字、半角64文字で、ビデオモードのときは最大全角12文字、半角24文字までです。

VRモードのとき

7 **←/↑/↓/→でディスク名を入力する。**

詳しくは、「文字の入力のしかた」（☞62ページ）をご覧ください。

8 **←/↑/↓/→で「確定」を選び、真ん中を押しこんで決定する。**

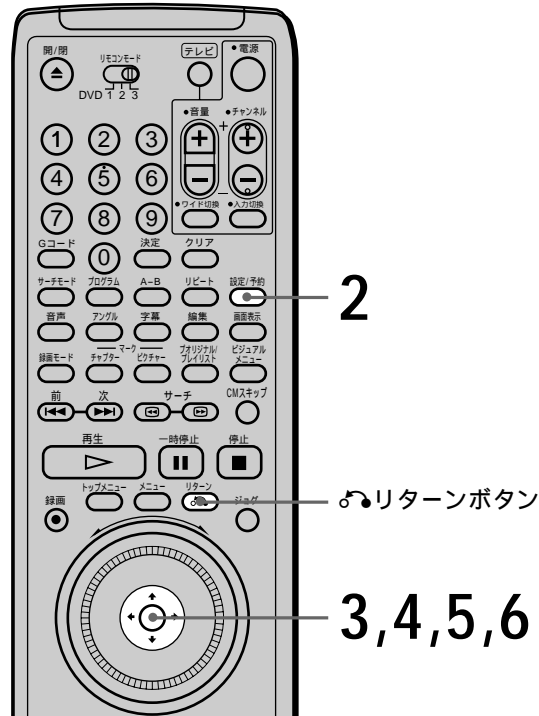
1つ前の画面に戻るには

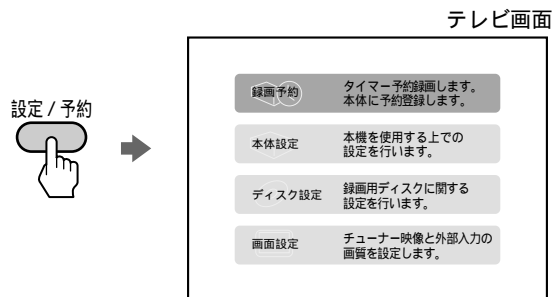
リターンボタンを押す。

設定画面を消すには

設定/予約ボタンを押します。

ディスクを保護する DVD-RW(VR)

オリジナルのタイトルが誤って消去されたり、編集されたりしないように、ディスクを保護することができます。
ディスク保護を設定している場合でも、ディスクを初期化すると、すべて消去されますのでご注意ください。

1 **ディスク保護するVRモードのDVD-RWディスクを入れる。**

2 **停止中に設定/予約ボタンを押す。**

設定画面が表示されます。

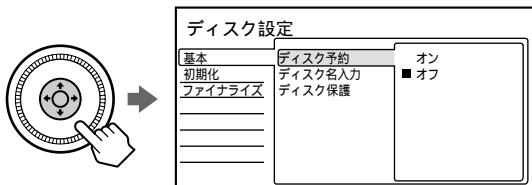
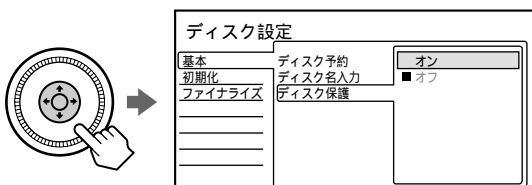
3 **↑/↓で「ディスク設定」を選び、真ん中を押しこんで決定する。**

「ディスク設定」の設定項目が表示されます。

設定と調整

次のページにつづく

ディスクに関する設定（つづき）

4 **↑/↓で「基本」を選び、真ん中を押しこんで決定する。**

5 **↑/↓で「ディスク保護」を選び、真ん中を押しこんで決定する。**

6 **↑/↓で「オン」を選び、真ん中を押しこんで決定する。**
ディスクが保護されます。

1つ前の画面に戻るには

リターンボタンを押します。

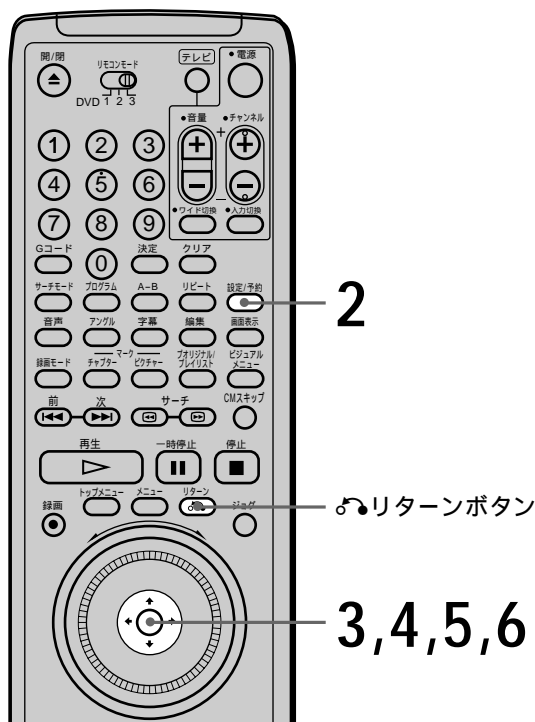
設定画面を消すには

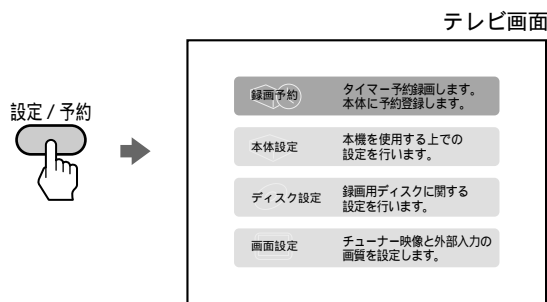
設定/予約ボタンを押します。

ディスク保護を解除するには

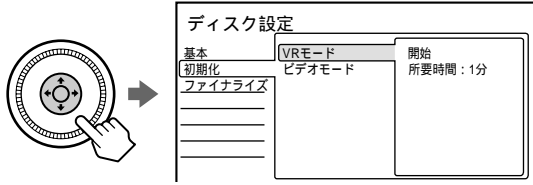
手順**6**で「オフ」を選び、決定します。

ディスクを初期化する DVD-RW

ディスクの内容をすべて消去します。保護（☞99ページ）しているディスクやディスク予約（☞45ページ）の情報も消去されます。消去した内容を復元することはできません。大切な内容を消去しないように中身を確認してから行ってください。

1 **初期化するDVD-RWディスクを入れる。**

2 **停止中に設定/予約ボタンを押す。**
設定画面が表示されます。

3 **↑/↓で「ディスク設定」を選び、真ん中を押しこんで決定する。**

ディスク設定項目が表示されます。

4 **↑/↓で「初期化」を選び、真ん中を押しこんで決定する。**

5 **↑/↓で「VRモード」または「ビデオモード」を選び、真ん中を押しこんで決定する。**

「開始」が選ばれます。

6 **もう一度決定する。**

初期化が始まります。

1つ前の画面に戻るには

リターンボタンを押します。

設定画面を消すには

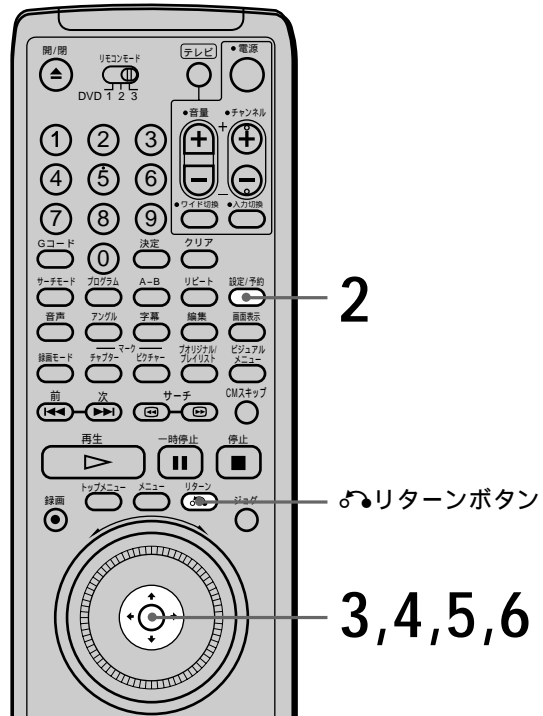
設定/予約ボタンを押します。

ご注意

- ディスク保護を設定している場合でも、ディスクを初期化すると、そのディスクに記録されている内容がすべて消去されます。
- DVD-RW Ver.1.0のディスクは、ビデオモードでの初期化ができません。

ディスクをファイナライズする/解除する DVD-RW DVD-R

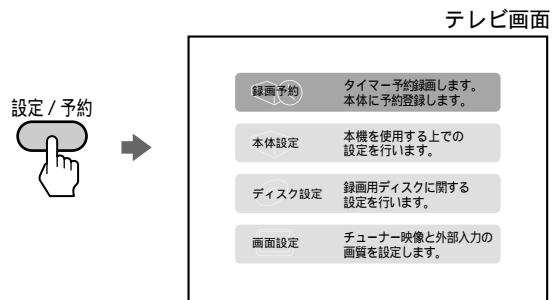
ビデオモードで録画したディスクを他のDVDプレーヤーで再生するときや、VRモードで録画したディスクを他のDVD-RW対応プレーヤーで再生できない場合、ファイナライズをして、再生できるようにします。

DVD-Rディスクは、一度ファイナライズすると録画や編集などで、ディスクの内容を変更することができません。ご注意ください。

1 **ファイナライズするディスクを入れる。**

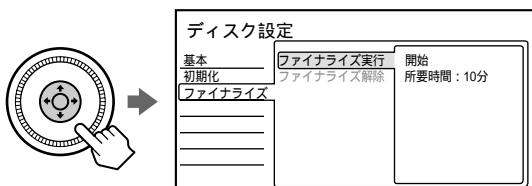
2 **停止中、設定/予約ボタンを押す。**

設定画面が表示されます。

設定と調整

次のページにつづく

ディスクに関する設定（つづき）

3 **↑/↓で「ディスク設定」を選び、真ん中を押しこんで決定する。**
ディスク設定画面が表示されます。

4 **↑/↓で「ファイナライズ実行」を選び、真ん中を押しこんで決定する。**
ファイナライズする所要時間が表示されます。

5 **↑/↓で「ファイナライズ実行」を選び、真ん中を押しこんで決定する。**
「開始」が選ばれます。

6 **もう一度決定する。**
ファイナライズが始まります。
ディスクや録画した時間、タイトル数によっては、数分から1時間かかることがあります。未録画部分が多いと、ファイナライズに時間がかかります。

1つ前の画面に戻るには

リターンボタンを押します。

設定画面を消すには

設定/予約ボタンを押します。

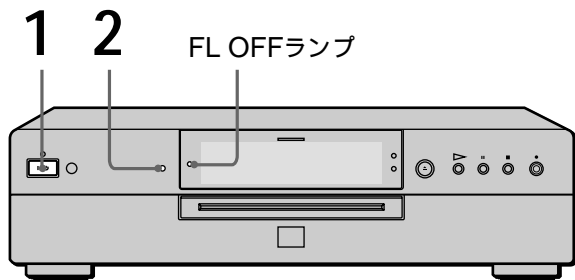
ちょっと一言

- 本機で一度ファイナライズしたディスクは再びファイナライズする必要はありません。
- 本機でファイナライズしたVRモードのディスクは、通常どおり録画や編集などをすることができます。
- 本機でファイナライズしたビデオモードのディスクは、自動的にディスクのメニューが作成されます。
- ファイナライズ実行中、「中止」が表示されているときは、「中止」を選んで決定すると、ファイナライズを途中で止めることができます。
- 他機でファイナライズされたDVD-RWディスクをセットしたときに、「ファイナライズ解除してください」と表示されることがあります。手順**5**で「ファイナライズ解除」を選んで決定すると、本機で録画や編集ができるようになります。

ご注意

- 本機でファイナライズしたビデオモードのディスクは、録画や編集などをすることができません。
- DVD-RW対応でないDVDプレーヤーでは、VRモードのディスクは再生できません。
- ビデオモードで録画したディスクをファイナライズしても、DVDプレーヤーによっては再生できないものがあります。

本体表示窓の明るさを調整する

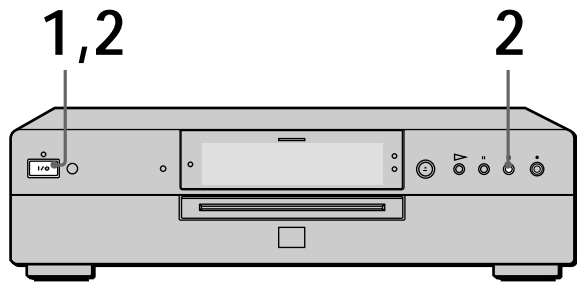
本体表示窓の明るさを2段階で調整することができます。また、表示窓の表示をすべて消灯することもでき、電源を切ったときの消費電力を減らすことができます。

1 **I/⏻（電源）スイッチを押して、電源を入れる。**

2 DIMMER/FL OFF**ボタンを押す。**
ボタンを押すたびに、明るさが切り換わります。本体表示窓を見ながら明るさを調整してください。
本体表示窓をすべて消灯すると、本体のFL OFFランプが点灯します。

ちょっと一言

- 消灯しているときでも、再生などの操作を行うと、約3秒間表示が点灯します。

すべての設定をお買い上げ時に戻す

すべての設定をお買い上げ時に戻します。チャンネル設定や時計合わせ、予約設定なども消去されます。ご注意ください。

1 **I/⏻（電源）スイッチを押して、電源を入れる。**

2 **本体の■（停止）ボタンを押しながら、I/⏻（電源）スイッチを押す。**
すべての設定がお買い上げ時に戻ります。

その他

ここでは、本機をご使用になる上でのご注意や、本機が正常に動かないときに解決する方法などについて説明します。
また、各部のなまえや索引を使って、知りたい情報を探すこともできます。

故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう1度点検してください。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、お客様ご相談センターにお問い合わせください。
保証期間中の接続・操作・故障に関するお問い合わせは、テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

電源

電源が入らない。
- → 電源プラグをコンセントからはずす。約1分後、もう1度コンセントに電源プラグを差し込み、電源を入れる。

画像

画像が映らない。
- → 接続コードのプラグがしっかり差し込まれているか確認する。
- → 接続コードが断線している。
- → 設定画面が出ている。設定/予約ボタンを押して消す。
- → テレビの入力端子を確認する（☞ 別冊「接続と準備」）。
- → テレビを本機を接続している入力（「ビデオ」など）に切り換える。
- → ハイビジョンテレビ専用のコンポーネント入力端子（Y/P_B/P_R）に本機を接続している。S映像コードまたは映像コードで接続する。
- → プログレッシブ（525p）方式に対応しているテレビでも、「コンポーネント出力」で「プログレッシブ」を選ぶと映像が乱れることがある。この場合は、「コンポーネント出力」を「インターレース」にする。

画像が乱れる。
- → ディスクに汚れや傷がある。
- → 本機の映像出力をビデオデッキを経由してテレビに接続していると、一部のDVDプログラムに使用されているコピー制御信号が画質に悪影響をおよぼす可能性がある。本機をテレビに直接接続していても画質に問題が生じる場合は、テレビのS映像入力端子へ接続する（☞ 別冊「接続と準備」）。

	➔ プログレッシブ（525p）方式に対応していないテレビとつないでいるときに、「コンポーネント出力」で「プログレッシブ」を選んでいる。 ➔ プログレッシブ（525p）方式に対応しているテレビでも、「コンポーネント出力」で「プログレッシブ」を選ぶと映像が乱れることがある。この場合は、「コンポーネント出力」を「インターレース」にする。
本機で受信しているテレビ放送が映らない。	➔ 本体設定画面の「チューナー」の「個別チャンネル設定」で、チャンネルを合わせる（☞別冊「接続と準備」）。 ➔ 外部入力になっている（本体の表示窓に「L1」または「L2」、「L3」、「DV」が表示されている）。チャンネル＋/－ボタンを押して、テレビのチャンネルを表示させる。
本機で受信しているテレビ放送の画像が汚い。	➔ 電波が弱い。別売りアンテナブースターで電波を増幅する。 ➔ アンテナの向きを調節する。 ➔ 画像を微調整する（☞別冊「接続と準備」）。 ➔ 本機とテレビを離して設置する。 ➔ 本機から離してアンテナ線をたばねる。
本機で受信しているテレビ放送の画像が汚い。BSが映らない。	➔ BSアンテナやBSデコーダーを正しくつなぐ（☞別冊「接続と準備」）。 ➔ BSアンテナの向きを調節する（☞別冊「接続と準備」）。 ➔ BSアンテナのごみや雪を取り除く。 ➔ 受信契約をして、BSデコーダーを正しくつなぐ（☞別冊「接続と準備」）。
WOWOWが映らない。	➔ BSデコーダーの電源を入れる。
テレビのチャンネルを変えられない。	➔ テレビを「テレビ」の入力に切り換える。 ➔ アンテナ線を正しく接続する（☞別冊「接続と準備」）。
本機の入力端子につないだ機器の画像が映らない。	➔ チャンネル＋/－ボタンを押して、入力1端子につないでいるときは「L1」を、入力2端子につないでいるときは「L2」を、入力3端子につないでいるときは「L3」を、デジタルビデオカメラ用i.LINK 端子につないでいるときは「DV」を本体の表示窓に出す。
本機につないだ他機で再生・受信している画像がゆがむ。	➔ DVDプレーヤーやビデオデッキなどで再生しているソフトや、別売りのチューナーなどで受信している信号に、著作権保護のための信号が含まれている。プレーヤーやチューナーなどの機器を本機からはずして、テレビに直接つなぐ。
本体設定画面の「映像」の「テレビ画面サイズ」で設定した画像の形で再生できない。	➔ 画像の形が固定されているディスクを再生している。

音声

音が出ない。	➔ ディスクに汚れや傷がある。 ➔ 接続コードのプラグがしっかり差し込まれているか確認する。 ➔ アンプの入力端子を確認する。 ➔ アンプの入力切換で本機の音声が出るようにしていない。 ➔ 一時再生、スロー再生になっている。 ➔ 早送りまたは早戻しになっている。 ➔ デジタル音声出力光または同軸端子から音声が出ないときは本体設定の「音声出力」で確認する（☞94ページ）。
雑音が多い。	➔ ディスクに汚れ、傷がある。 ➔ CDのDTS音声を再生しているとき、出力1または2の音声端子から雑音が出る（☞別冊「接続と準備」）。
二カ国語の音声が切り換えられない。	➔ ビデオモードのディスクを使用しているか、またはVRモードのディスクを使用してMNのレベルが32になっている（DV入力以外）。本体設定画面、音声入力の「二カ国語時記録音声」で「主音声」と「副音声」を切り換える（☞93ページ）。 ➔ 外部入力（L1またはL2、L3、DV）のときは、基本設定画面、音声入力の「外部音声」を「二カ国語」に設定する。

次のページにつづく

故障かな？と思ったら（つづき）

症状	原因と処置
	➔ ステレオモードで録画されたディスクを再生している。録画する前に基本設定画面、音声入力の「外部音声」を「二カ国語」に設定する（☞93ページ）。 ➔ ビデオモードまたはVRモードのMNのレベル32で録画された（DV入力以外）ディスクには、主音声か副音声のどちらかしか記録されていないため、切り換えできない。

再生

症状	原因と処置
再生が始まらない。	➔ ディスクが入っていない。 ➔ 録画されていないディスクが入っている。 ➔ ディスクが裏返しに入っている。再生面を下にする。 ➔ ディスクが斜めにずれて入っている。 ➔ CD-ROMなどの再生できないディスクを入れている（☞8ページ）。 ➔ 本機で再生できない地域番号のDVDを入れている（☞8ページ）。 ➔ 結露している。ディスクを取り出して、電源を入れたままの状態で、約30分放置し、再び電源を入れ直してから再生する（☞3ページ）。
再生がディスクの最初から始まらない。	➔ プログラムまたはリピート、A-Bリピート再生になっている（☞23、25、26ページ）。 ➔ リジューム再生になっている。 停止中に、本体またはリモコンの停止■ボタンを押してから再生を始める（☞17ページ）。 ➔ 自動的にタイトルメニュー、DVDメニュー、PBCのメニューの画面が表示されるディスクを入れている。
再生が自動的に始まる。	➔ 自動的に再生が始まるDVDを入れている。
再生が自動的に止まる。	➔ ディスクによってはオートポーズ信号が記録されているものがある。このようなディスクを再生すると、オートポーズ信号のところで自動的に再生が止まる。
停止、スキャン、スロー、リピート再生、プログラム再生などの操作ができない。	➔ 操作を禁止しているディスクを再生している。ディスクに付属の説明書もあわせて見る。
音声言語を変更できない。	➔ 再生しているDVDに複数の音声言語が記録されていない。 ➔ 音声言語の切り換えを禁止しているDVDを再生している。
字幕を変更できない。	➔ 再生しているDVDに複数の字幕が記録されていない。 ➔ 字幕の変更を禁止しているDVDを再生している。
字幕を消すことができない。	➔ 字幕表示を消すことを禁止しているDVDを再生している。
アングルを変更して見ることができない	➔ 再生しているDVDに複数のアングルが記録されていない。 ➔ アングルマークが表示されていない場面で、アングルを切り換えている（☞29ページ）。 ➔ アングルの変更を禁止しているDVDを再生している。

録画・予約・編集

症状	原因と処置
録画●ボタンを押すと、メッセージが出てくる。	➔ ディスクが録画できない状態になっている。録画したいときは録画できる状態にする（☞37ページ）。
裏番組録画中、テレビでチャンネルを変えられない。	➔ テレビを「テレビ」の入力に切り換える。
録画●ボタンを押しても、すぐに録画が始まらない。	➔ 録画されていないDVD-RWのディスクを入れたとき、VRモードに自動的に初期化するため。
予約したのに録画されていない。	➔ 予約待機中に48時間以上の停電があり、時計が止まったため。時計を合わせ直す（☞「接続と準備」の「手順9：時計を合わせる」）。 ➔ 予約した後で、予約したチャンネルをとばしたため（☞「接続と準備」の「不要なチャンネルをとばす」）。 ➔ 電源プラグをコンセントからはずし、もう一度差し込む。

予約した内容が途中で切れている。	→ 予約録画中に停電が起きて電源が切れたため。48時間以内に停電が回復すれば時計は止まらず、回復時から終了時刻まで録画される。48時間以上の停電で時計が止まったときは、時計を合わせ直す（☞「接続と準備」の「手順9：時計を合わせる」）。 → 予約が重なっていた（☞44ページ）。 → ディスクの空き容量がない。
予約した内容が途中から始まっている。	→ 予約録画が始まる前に停電があり、回復時から録画が行われたため。

Gコード

Gコードが入力できない。予約内容が違う。	→ 間違ったGコードが入力されている。正しいGコードを入力する。 → 日付がずれている。日付・時計を正しく合わせる（☞別冊「接続と準備」の「手順9：時計を合わせる」）。 → 間違った地域名または地域番号が設定されている。正しい地域名または地域番号を設定する（☞別冊「接続と準備」）。 → 受信している放送局が登録されていない。受信チャンネルを追加し、そのチャンネルのガイドチャンネルを設定する（☞別冊「接続と準備」）。 → ケーブルテレビ（CATV）は、Gコードで予約できないことがある。時刻指定予約をする。

チューナーからの録画

シンクロ録画予約したのに録画されていない。	→ チューナーの電源を切り忘れたため。チューナーの電源を切ってシンクロ録画予約待機にする（☞52ページ）。
シンクロ録画予約した内容が途中で切れている。	→ 本機とつないだチューナーの予約が本体の予約と重なっている（☞54ページ）。 → シンクロ録画中に停電が起きて電源が切れたため。
チューナーの電源を入れると、本機が自動的に録画を始めてしまう。	→ シンクロ録画機能が働いている。チューナーの電源を切ってから、本体設定画面の「基本」の「シンクロ録画」を「オフ」にする。

表示

メニューや設定画面表示が画面に出ない。	→ テレビを本機を接続した入力（「ビデオ」など）に切り換える。
本体に「－：－－」表示が点灯している。	→ 時計を合わせる（☞別冊「接続と準備」の「手順9：時計を合わせる」）。 → 48時間以上の停電で時計が止まっている。時計を合わせ直す（☞別冊「接続と準備」の「手順9：時計を合わせる」）。
本体のTIMER RECランプが、予約待機中に点滅している。	→ ディスクの空き容量がないか、録画されているタイトル数が99タイトルになっているため。続けて録画する場合は、録画するディスクを入れ、電源を切る。
本体のSYNCHRO RECランプが、シンクロ録画予約待機中に消えている。	→ ディスクの空き容量がないか、録画されているタイトル数が99タイトルになっているため。続けて録画する場合は、録画するディスクを入れる。

次のページにつづく

故障かな？と思ったら（つづき）

リモコン

症状	対処
リモコンが働かない。	→ 乾電池が消耗している（☞別冊「接続と準備」）。 → 乾電池が入っていない（☞別冊「接続と準備」）。 → 乾電池を交換すると、テレビのメーカー設定はお買い上げ時の設定に戻る。リモコンのメーカー番号を合わせ直す（☞別冊「接続と準備」）。 → 本体の電源を入れる。 → リモコンを本体に向けて操作する（☞別冊「接続と準備」）。 → 本体とリモコンのリモコンモードが違っている。同じリモコンモードにする（☞別冊「接続と準備」）。
本機のリモコンで操作したら、本機と他のソニーのDVDプレーヤーが同時に動いてしまった。	→ 本機と他機のリモコンモードが同じになっている。本機のリモコンモードを変える（☞別冊「接続と準備」）。
リモコンの数字ボタンでチャンネルを選ぶことができない。	→ チャンネルは、チャンネル+/−ボタンで選ぶ。数字ボタンはGコード予約をするときに使う。

その他

症状	対処
正常に動作しない。	→ 静電気などの影響で正常に動作しなくなったときは、本体の電源スイッチを押して電源を切り、再び電源を入れる。
表示窓に何も表示されない。	→ FL OFFのランプが点灯している。DIMMER/FL OFFボタンを押して、FL OFFランプを消灯する。

保証書とアフターサービス

本機は日本国内専用です。電源電圧や放送規格の異なる海外ではお使いになれません。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際にお買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
「故障かな？と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかを点検してください。

それでも具合の悪いときはサービスへ
お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社ではDVDレコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

部品の交換について
この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

ご相談になるときは、次のことをお知らせください。
●型名：RDR-A1
●故障の状態：できるだけ詳しく
●購入年月日：

テクニカルインフォメーションセンターのご案内

お買い上げいただいたDVDレコーダーは、お買い上げ日より1年間、テクニカルインフォメーションセンターでも保証サービスを行っております。
製品の品質には万全を期しておりますが、万一、故障などの不具合が生じた場合や、接続や操作の方法がわからない場合は、まず、裏表紙のフリーダイヤルにお問い合わせください。
また、製品に対するご意見なども、お気軽にお寄せください。よりよい製品作りに生かしていきたいと考えております。

あらかじめ以下のことをお調べいただくと、対応が円滑に進むこともあります。
お手数をおかけしますが、ご協力をお願いいたします。

●型名：　RDR-A1
●ディスクの種類：　DVDビデオ、DVD-RW、DVD-Rなど
●接続しているアンテナ：VHF/UHF、BS、VHF/UHF/BS混合、CATV
●つないでいるテレビやアンプのメーカーと型名

今後とも、ソニー製品をご愛用くださいますようお願い申し上げます。

主な仕様

システム

形式	DVDレコーダー
信号方式	JEITA標準、NTSCカラー方式
記録可能ディスク	DVD-ReRecordable（リレコーダブル） DVD-Recordable（レコーダブル）
記録フォーマット	DVD-VideoRecording DVD-VIDEO
映像サンプリング周波数	13.5MHz
映像圧縮方式	MPEG
音声サンプリング周波数	48kHz
音声圧縮方式	Dolby Digital/リニアPCM（非圧縮）
記録時間	
DVD-RW（VR）	標準：約2時間 マニュアルレート：約1〜6時間
DVD-RW（**ビデオ**）	
DVD-R	V1：約1時間 V2：約2時間
[チューナー]	
受信チャンネル	VHF：1〜12チャンネル UHF：13〜62チャンネル CATV：C13〜C38チャンネル BS：1、3、5、7、9*、11、13、15チャンネル * BS9のハイビジョン放送は受信できません。
[タイマー]	
プログラム数	1カ月 8プログラム
時計方式	クォーツロック、 12時間デジタル表示
停電補償期間	約48時間

入出力端子

アンテナ入出力	VHF/UHF1軸、 75Ω F型コネクター BS-IF: 75Ω F型コネクター （コンバーター用電源出力DC15V 最大4W）、 （本体電源スイッチと非連動）
映像入力	入力1/入力2/入力3（フロント）の3系統、 ピンジャック、 1Vp-p（75Ω不平衡）
映像出力	出力1/出力2の2系統、 ピンジャック、 1Vp-p（75Ω不平衡）
S映像入力	入力1/入力2/入力3（フロント）の3系統、 4ピンミニDIN、 Y=1Vp-p（75Ω不平衡） C=0.286Vp-p（75Ω不平衡）
S映像出力	出力1/出力2の2系統、 4ピンミニDIN、 Y=1Vp-p（75Ω不平衡） C=0.286Vp-p（75Ω不平衡）
音声入力	入力1/入力2/入力3（フロント）の3系統、 ピンジャック 入力レベル：2Vrms （入力インピーダンス：22kΩ以上）
音声出力	出力1/出力2の2系統、 ピンジャック 出力レベル：2Vrms （1kHz 0dB、出力インピーダンス：1.5kΩ以下）
デジタル音声出力	光：角型光ジャック1系統、 ピンジャック：0.5Vp-p（75Ω不平衡）
検波入力	ピンジャック、75Ω、0.67Vp-p
検波出力	ピンジャック、75Ω、0.67Vp-p
ビットストリーム入力	ピンジャック、75Ω、0.5Vp-p
ビットストリーム出力	ピンジャック、75Ω、0.5Vp-p
コンポーネント映像出力	
ピンジャック	Y：1Vp-p（75Ω不平衡）、 PB/CB：0.7Vp-p（75Ω不平衡）、 PR/CR：0.7Vp-p（75Ω不平衡）
D端子（D1/D2）	Y：1Vp-p（75Ω不平衡）、 PB/CB：0.7Vp-p（75Ω不平衡）、 PR/CR：0.7Vp-p（75Ω不平衡）
DV**入出力**	i.LINK 4ピン S100 DV-Camcorder 1系統（フロント）

電源部・その他

電源部	AC100V、50/60Hz
消費電力	60W （コンバーター用電源「入」時）
待機消費電力	1.7W（FL OFF時）
許容動作温度	5℃〜 35℃
許容動作湿度	5%〜 85%（結露のないこと）
最大外形寸法	幅 430×高さ 115×奥行き 367mm （最大突起含む）
本体質量	約 7.2kg
付属リモコン	RMT-D201J 電源：DC 3V 単3形（R6）乾電池2個付属
付属品	別冊「接続と準備」参照

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

各部のなまえ

各部の説明は（　）内のページをご覧ください。

本体

本体のボタンはリモコンの同じ名前のボタンと同じ働きをします。

前面

1 I/⏻（電源）スイッチ（11）

2 電源ランプ

3 ▣（リモコン受光部）（☞別冊「接続と準備」）

4 DIMMER/FL OFFボタン（103）

5 FL OFFランプ（103）

6 表示窓

7 DOLBY DIGITALランプ

8 SYNCHRO REC（シンクロ録画）ランプ（52）

9 TIMER REC（タイマー録画）ランプ（42、45、48）

10 ≜（開/閉）ボタン（11）

11 ▷（再生）ボタン（11）

12 ❚❚（一時停止）ボタン（14）

13 ■（停止）ボタン（11）

14 REC●（録画）ボタン（12）

15 VISUAL MENUボタン（13）

16 ←/↑/↓/→/ENTER（決定）ボタン（13）

17 ⏮/⏭（前/次）ボタン（16）

18 CHANNEL＋/－ボタン（12）

19 REC LEVEL（録画レベル）ボタン（38）

20 REC MODE（録画モード）ボタン（40）

21 ディスクトレイ（11）

22 i.S100 DV-Camcorder/LINE-3 IN端子（83）

次のページにつづく

各部のなまえ（つづき）

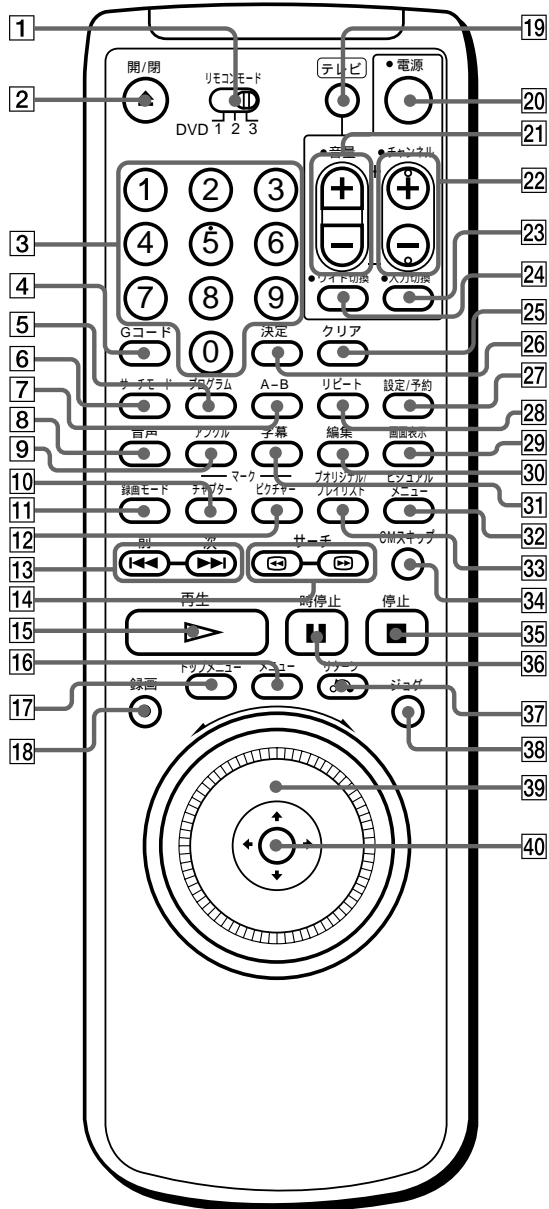
表示窓

1 ディスク走行表示
2 タイトル/トラック/チャプター経過/残量時間表示
　タイトル/トラック/チャプター番号表示
　録画時経過時間表示
　現在時刻表示
　チャンネル表示
3 アングル表示（29）
4 プレイリスト表示（55）
5 入力音声レベル表示（38）
6 BS受信中A音声/B音声表示
7 ステレオ/二重音声表示（93）
8 ファイナライズ表示（101）
9 ディスク予約表示（45）
10 ディスク表示
11 リモコンモード表示（☞別冊「接続と準備」）
12 経過時間残量表示

裏面（各部の説明は、☞別冊「接続と準備」をご覧ください）

1 コンポーネント映像出力D1/D2端子
2 出力1S映像端子
3 出力2S映像端子
4 入力1/デコーダー入力S映像端子
5 入力2S映像端子
6 BSテレビ検波入力端子
7 BSテレビビットストリーム入力端子
8 BS-IFアンテナ入出力端子
9 VHF/UHFアンテナ入出力端子
10 BSデコーダビットストリーム出力端子
11 BSデコーダ検波出力端子
12 デジタル音声出力同軸端子
13 デジタル音声出力光端子
14 入力2映像/音声左/右端子
15 入力1/デコーダー入力映像/音声左/右端子
16 出力2映像/音声左/右端子
17 出力1映像/音声左/右端子
18 コンポーネント映像出力Y、P_B/C_B、P_R/C_R
19 AC IN端子

リモコン

リモコンのボタンは本体の同じ名前のボタンと同じ働きをします。

1 リモコンモードスイッチ（☞別冊「接続と準備」）
2 開/閉⏏ボタン（14）
3 数字ボタン（14）
4 Gコードボタン（48）
5 プログラムボタン（23）
6 サーチモードボタン（22）
7 A-Bボタン（26）
8 音声ボタン（14、28）
9 アングルボタン（29）
10 チャプターマークボタン（23）
11 録画モードボタン（40）
12 ピクチャーマークボタン（18）
13 前⏮/次⏭ボタン（16）
14 サーチ⏪/⏩ボタン（19）
15 再生▷ボタン（14）
16 メニューボタン（14）
17 トップメニューボタン（14）
18 録画●ボタン（40）
19 テレビボタン/ランプ（☞別冊「接続と準備」）
20 電源スイッチ（14）
21 音量＋/－ボタン（☞別冊「接続と準備」）
22 チャンネル＋/－ボタン（40）
23 入力切換ボタン（40）
24 ワイド切換ボタン（☞別冊「接続と準備」）
25 クリアボタン（22）
26 決定ボタン（35）
27 設定/予約ボタン（30）
28 リピートボタン（25）
29 画面表示ボタン（18）
30 編集ボタン（57）
31 字幕ボタン（30）
32 ビジュアルメニューボタン（18、57）
33 オリジナル/プレイリストボタン（18、56）
34 CMスキップボタン（21）
35 停止■ボタン（14）
36 一時停止❚❚ボタン（14）
37 ↶リターンボタン（16）
38 ジョグボタン/ランプ（20）
39 クリックシャトル（20）
40 ←/↑/↓/→/決定ボタン（14）

用語解説

五十音順

ア行

インターレース（飛び越し走査）
映像の1フレーム（コマ）を2つのフィールド画像で半分ずつ表示する方式で、従来のテレビの表示方法。奇数フィールドでは奇数番号の走査線、偶数フィールドでは偶数番号の走査線を交互に表示するようになっている。

カ行

ガイドチャンネル
ジェムスター社が各放送局に割り当てている識別番号。

検波
放送衛星から送られてくるFM電波を復調すること。

コピーガード
複製防止機能のこと。著作権者等によって複製を制限する旨の信号が記録されているソフトおよび放送番組は録画することができない。

サ行

視聴年齢制限
国ごとの規制レベルに合わせて、視聴年齢制限に対応したディスクの再生を制限する、というDVDの機能。制限のしかたはDVDによって異なり、全く再生のできない場合や過激な場面をとばしたり、別の場面に差し換えて再生する場合などがある。

受信チャンネル
ビデオが放送局を受信したときのチャンネル。通常は新聞や雑誌のテレビ欄に掲載されている各放送局の番号と同じ。本機では、チャンネルの設定を自動で行ったときに設定される。

タ行

タイトル
DVDに記録されている映像や曲のいちばん大きな単位。通常は映像ソフトでは映画1作品、音楽ソフトではアルバム1枚（または1曲）にあたる。

ダイナミックレンジ
ダイナミックレンジとは、ディスクに記録されている音声レベルの最大値と最小値の差。デシベル（dB）単位で測定される。圧縮すると最小の信号レベルが上がり、最大の信号レベルが下がる。

地域番号（リージョンコード）
著作権保護を目的に設けられた制度。販売地域によって、DVDプレーヤーやDVDディスクには地域番号が割り当てられていて、本体やディスクのパッケージに、それぞれの地域番号が表示されている。本体とディスクの地域番号が一致していると再生できる。ALL表示のあるディスクは、どの機器でも再生できる。なお、地域番号の表示がないDVDでも、地域制限されている場合がある。

デジタルCS放送
通信衛星を使ったCS放送の一種。従来のアナログCS放送とは違い、映像や音声をデジタル化することにより、大量の情報を扱うことができる。これにより、多チャンネルの放送を高画質・高音声で楽しむことができる。デジタルCS放送を受信するには、専用のチューナーとアンテナが必要。
CSはCommunication Satellite（コミュニケーション・サテライト）の略。

チャプター
DVDに記録されている映像や曲の区切りで、タイトルよりも小さい単位。1つのタイトルはいくつかのチャプターで構成される。チャプターが記録されていないディスクもある。

トラック
ビデオCDやCDに記録されている映像や曲の区切り（1曲分）。

ドルビーデジタル
ドルビーラボラトリーズの開発した音声の圧縮技術。5.1チャンネル・サラウンドに対応している。リアチャンネルはステレオになり、サブウーファーチャンネルは独立して出力される。ドルビーデジタルシネマ音声方式のような高水準のデジタル音声を5.1チャンネルで楽しむことができる。全チャンネルが完全に分離した状態で記録されるのでチャンネル間セパレーションが良く、すべてデジタルで受け渡しされるので劣化しにくいという特長がある。

ハ行

ビットストリーム
放送衛星から送られてくる電波のデジタル信号（音声信号とデータ信号）のこと。データ信号は、文字放送や静止画放送、ファクシミリ放送などが開始したときに送られてくる信号を指す。

ビットレート
DVDに圧縮して記録されている画像と音声の、1秒あたりの情報量を示す値。単位は画像の場合Mbps（Mega bit per second）で、1Mbpsは1秒あたりの情報量が1,000,000,000ビットであることを表す。音声の場合の単位はkbps（kilo bit per second）。この値が大きいほど情報量は多くなるが、必ずしも画質や音質とは直接関係しない。

ビデオ素材

DVDの映像素材には、大きく分けてビデオ素材とフィルム素材があり、このうちビデオ素材はテレビドラマやテレビアニメーションなどのテレビ放送された番組（1秒30フレーム、60フィールド）をDVDに記録したもの。

フィルム素材

DVDの映像素材には、大きく分けてビデオ素材とフィルム素材があり、このうちフィルム素材は映画フィルム（1秒24コマ）をDVDに記録したもの。

表示チャンネル

本機で放送局を選ぶとき表示されるチャンネル。変更することもできる。

プログレッシブ（順次走査）

映像の1フレーム（コマ）を2つのフィールド画像で半分ずつ表示するインターレース方式に対して、1フレームを1つの画像で表示する方法。従来のインターレース方式が1秒を30フレーム（60フィールド）で構成するのに対して、はじめから1秒を60フレームで構成するなどで高品質な映像を再現できる。

アルファベット順

BSコンバーター

放送衛星から送られてくる高周波数の電波を、BSチューナーで受信できるよう低周波数に変換する機器。BSコンバーターは、BSアンテナに内蔵されている。本機とBSアンテナを直接つないだときは、本機のコンバーター用電源で、電源を供給する。

BSデコーダー

民間BS（WOWOWなど）のスクランブルのかかった電波を解読する機器。

CATV

契約者と放送局をケーブルで直接結んで番組を提供する有線放送のこと。通常のテレビ番組やBS放送に加え、スポーツや映画の専門チャンネル、地域情報番組や文字放送などを見ることができる。

CATVはCable Television（ケーブル・テレビジョン）の略。

D映像信号

D映像付きデジタルビデオと1本のケーブルで簡単にコンポーネント映像信号を接続できるため、より高画質な画像となる。D端子に対応する信号フォーマットによってD1、D2とD3端子がある。

- D1端子：525i（480i）の信号に対応
- D2端子：525i（480i）と525p（480p）の信号に対応
- D3端子：525i（480i）と525p（480p）、1125i（1080i）の信号に対応

* iはインターレース、pはプログレッシブの略。カッコ内の数字は有効走査線数で数えたときの別称。

DVD

CDと同じ直径で最大8時間までの動画が記録できるディスク。片面1層で4.7GB（Giga Byte）とCDの7倍の情報が記録でき、片面2層で8.5GB、両面1層では9.4GB、両面2層では17GBが記録できる。

画像の記録はデジタル圧縮技術の世界標準規格のひとつ、「MPEG2」を採用し、映像データを約1/40（平均）に圧縮して記録する。また画像の状態に合わせて割り当てる情報量を変化させる可変レート符号化技術も採用されている。音声情報はPCMの他、ドルビーデジタルを用いて記録でき、より臨場感のある音声が楽しめる。

またマルチアングル、マルチランゲージ、視聴年齢制限などさまざまな付加機能も用意され、より高度な楽しみかたができる。

DTS

デジタルシアターシステムズ社の開発した音声のデジタル圧縮技術。5.1チャンネル・サラウンドに対応している。リアチャンネルはステレオになり、サブウーファーチャンネルは独立して出力される。高水準のデジタル音声を5.1チャンネルで楽しむことができる。全チャンネルが完全に分離した状態で記録されるのでチャンネル間セパレーションが良く、すべてデジタルで受け渡しされるので劣化しにくいという特長がある。

Gコード

一部の新聞や雑誌のテレビ欄で、各番組の末尾にのっている番組を予約するための番号。

言語コード一覧表

詳しくは、95、96ページをご覧ください。

コード	言語
1001	Japanese (ja)
0514	English (en)
0618	French (fr)
0405	German (de)
0920	Italian (it)
0519	Spanish (es)
1412	Dutch (nl)
1821	Russian (ru)
2608	Chinese (zh)
1115	Korean (ko)
0512	Greek (el)
0101	Afar (aa)
0102	Abkhazian (ab)
0106	Afrikaans (af)
0113	Amharic (am)
0118	Arabic (ar)
0119	Assamese (as)
0125	Aymara (ay)
0126	Azerbaijani (az)
0201	Bashkir (ba)
0205	Byelorussian (be)
0207	Bulgarian (bg)
0208	Bihari (bh)
0209	Bislama (bi)
0214	Bengali (bn)
0215	Tibetan (bo)
0218	Breton (br)
0301	Catalan (ca)
0315	Corsican (co)
0319	Czech (cs)
0325	Welsh (cy)
0401	Danish (da)
0426	Bhutani (dz)
0515	Esperanto (eo)
0520	Estonian (et)
0521	Basque (eu)
0601	Persian (fa)
0609	Finnish (fi)
0610	Fiji (fj)
0615	Faroese (fo)

コード	言語
0625	Frisian (fy)
0701	Irish (ga)
0704	Scots-Gaelic (gd)
0712	Galician (gl)
0714	Guarani (gn)
0721	Gujarati (gu)
0801	Hausa (ha)
0809	Hindi (hi)
0818	Croatian (hr)
0821	Hungarian (hu)
0825	Armenian (hy)
0901	Interlingua (ia)
0905	Interlingue (ie)
0911	Inupiak (ik)
0914	Indonesian (in)
0919	Icelandic (is)
0923	Hebrew (iw)
1009	Yiddish (ji)
1023	Javanese (jw)
1101	Georgian (ka)
1111	Kazakh (kk)
1112	Greenlandic (kl)
1113	Cambodian (km)
1114	Kannada (kn)
1119	Kashmiri (ks)
1121	Kurdish (ku)
1125	Kirghiz (ky)
1201	Latin (la)
1214	Lingala (In)
1215	Laothian (lo)
1220	Lithuanian (lt)
1222	Latvian (lv)
1307	Malagasy (mg)
1309	Maori (mi)
1311	Macedonian (mk)
1312	Malayalam (ml)
1314	Mongolian (mn)
1315	Moldavian (mo)
1318	Marathi (mr)
1319	Malay (ms)
1320	Maltese (mt)
1325	Burmese (my)
1401	Nauru (na)
1405	Nepali (ne)
1415	Norwegian (no)
1503	Occitan (oc)
1513	Oromo (om)
1518	Oriya (or)
1601	Panjabi (pa)

コード	言語
1612	Polish (pl)
1619	Pashto, Pushto (ps)
1620	Portuguese (pt)
1721	Quechua (qu)
1813	Rhaeto-Romance (rm)
1814	Kirundi (rn)
1815	Romanian (ro)
1823	Kinyarwanda (rw)
1901	Sanskrit (sa)
1904	Sindhi (sd)
1907	Sangho (sg)
1908	Serbo-Croatian (sh)
1909	Sinhalese (si)
1911	Slovak (sk)
1912	Slovenian (sl)
1913	Samoan (sm)
1914	Shona (sn)
1915	Somali (so)
1917	Albanian (sq)
1918	Serbian (sr)
1919	Siswati (ss)
1920	Sesotho (st)
1921	Sundanese (su)
1922	Swedish (sv)
1923	Swahili (sw)
2001	Tamil (ta)
2005	Telugu (te)
2007	Tajik (tg)
2008	Thai (th)
2009	Tigrinya (ti)
2011	Turkmen (tk)
2012	Tagalog (tl)
2014	Setswana (tn)
2015	Tonga (to)
2018	Turkish (tr)
2019	Tsonga (ts)
2020	Tatar (tt)
2023	Twi (tw)
2111	Ukrainian (uk)
2118	Urdu (ur)
2126	Uzbek (uz)
2209	Vietnamise (vi)
2215	Volapük (vo)
2315	Wolof (wo)
2408	Xhosa (xh)
2515	Yoruba (yo)
2621	Zulu (zu)

言語名表記はISO639:1988（E/F）に準拠

設定画面項目一覧表

下線の項目は、お買い上げ時の設定です。

本体設定

基本

時計合わせ	
ジャスト録画	オン オフ
シンクロ録画	オン オフ

チューナー

一括チャンネル設定	
個別チャンネル設定	
ガイドチャンネル設定	
BSアンテナ電源	オン オフ 連動
BSアンテナ合わせ	

映像

テレビ画面サイズ	4:3レターボックス 4:3パンスキャン 16:9（ワイドテレビ）
録画映像サイズ	4:3 16:9 自動
ポーズモード	フィールド フレーム 自動

映像入出力

コンポーネント出力	インターレース プログレッシブ
S映像出力	S1 S2
DVリンク	自動 オフ

音声入力

外部音声	ステレオ 二カ国語
二カ国語時記録音声	主音声 副音声
DV入力音声	ステレオ１ ステレオ２
チューナー音声レベル	標準 小

音声出力

デジタル出力	オン オフ
ドルビーデジタル出力	ドルビーデジタル ダウンミックスPCM
DTS出力	オン オフ
96kHz PCM出力	96 kHz → 48 kHz 96 kHz
MPEG出力	MPEG MPEG → PCM
オーディオDRC	大 中 小 オフ

言語

音声言語	日本語 英語 その他
字幕言語	日本語 英語 その他
言語設定オート	オン オフ
DVDメニュー言語	字幕言語に連動 日本語 英語 その他
字幕表示	オン オフ アシスト字幕
字幕オフ時	音声連動 選択字幕

次のページにつづく

設定画面項目一覧表（つづき）

オプション設定

視聴制限	レベル変更
	暗証番号変更
画面表示	オン
	オフ
アングルマーク表示	オン
	オフ
フレームサーチ	オン
	オフ
ピクチャーマーク位置	0秒
	30秒
	3分
DVD-R録画開始操作	手動（2回押し）
	自動（1回押し）
オートチャプター	区切りなし
	3分
	5分
	10分
リモコンモード	DVD1
	DVD2
	DVD3

ディスク設定

基本

ディスク予約	オン
	オフ
ディスク名入力	
ディスク保護	オン
	オフ

初期化

VRモード
ビデオモード

ファイナライズ

ファイナライズ実行
ファイナライズ解除

画質設定

（再生時）

テレビ	
プロフェッショナル	
メモリー1	プログレッシブ補間
メモリー2	フィルム処理
メモリー3	YNR
	CNR
	QNR
	シャープネスHigh
	シャープネスMid
	ディテール
	白レベル
	黒レベル
	黒セットアップ
	色あい
	色の濃さ
	クロマディレイ

（録画時）
ビデオイコライザー

テレビ番組	
ビデオ	
メモリー1	プログレッシブ補間
メモリー2	3次元YC分離
メモリー3	ディテール
	白AGC
	白レベル
	黒レベル
	黒セットアップ
	色あい
	色の濃さ

録画時NR設定

録画時YNR
録画時CNR

索引

五十音順

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

ヤ行

ラ行

アルファベット/数字順

その他

保証期間中の接続・操作・故障に関するお問い合わせは
テクニカルインフォメーションセンターへ

フリーダイヤル　0120-37-8154

受け付け時間　午前9時～午後5時（年末、年始、土日、祝日を除く毎日）

ソニー株式会社　〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

- ナビダイヤル……………… 0570-00-3311
  （全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます）
- 携帯電話・PHSでのご利用は…… 03-5448-3311
- Fax ………………………………… 0466-31-2595

受付時間：
月～金
9:00～20:00
土・日・祝日
9:00～17:00

http://www.sony.co.jp/

この説明書は100%古紙再生紙とVOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

Printed in Japan